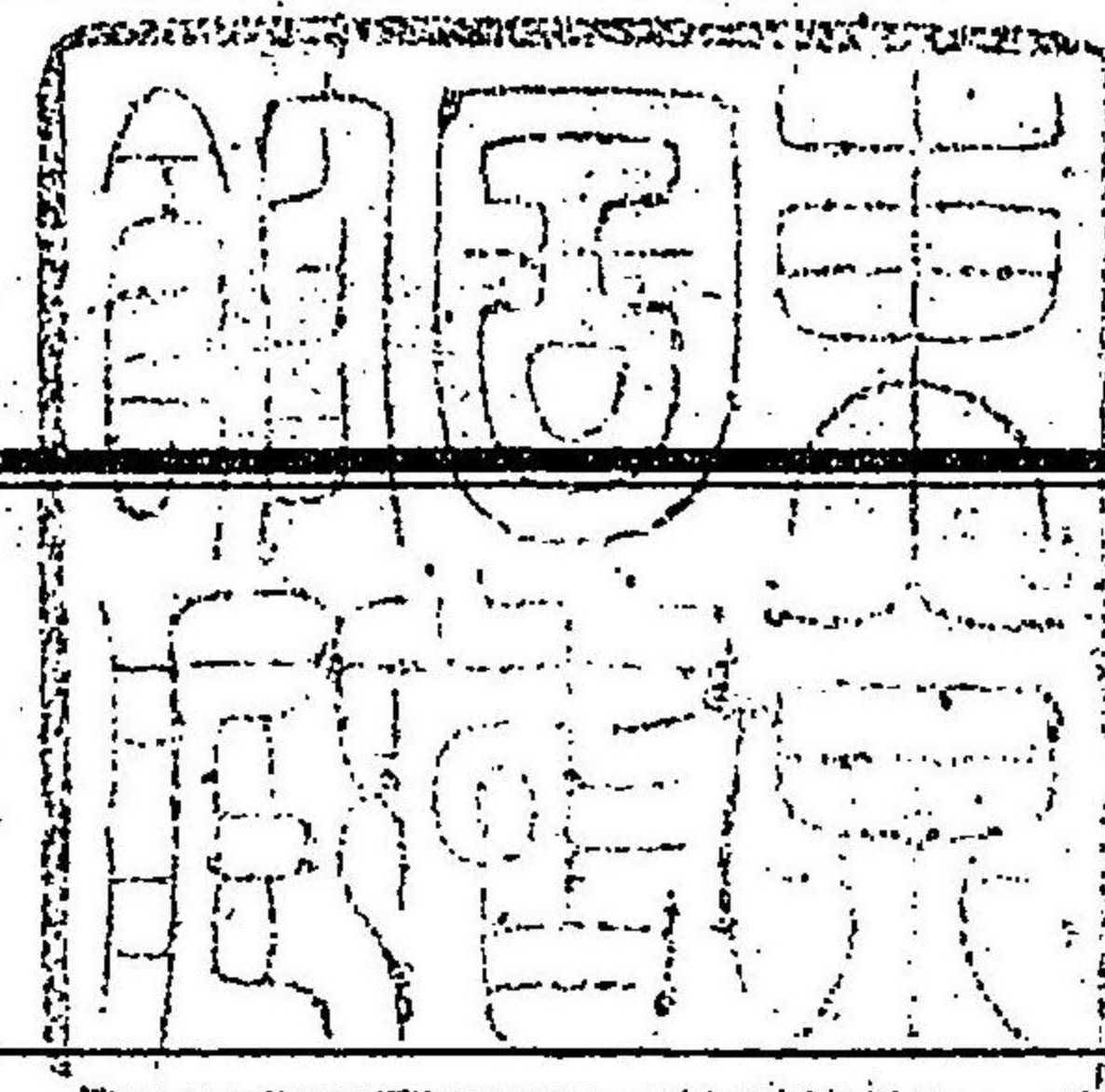


10-485



英國憲法史

エルスキン、メー、原著

嶋田三郎

同譯

乗竹孝太郎

第五編

上院○其議員ノ常ニ増加スルヲ○シヨトシ三世ノ
 時及ビ其後ニ於テ貴族ノ爵位ヲ濫與スルヲ○蘇格
 蘭及ヒ愛蘭ノ代議貴族○貴族ニ代議士タルノ性質
 アルヲ○一世貴族○僧正○上院ノ政治上ノ位置○
 上院ノ議員ヲ増加スルハ其權力ヲ増加スルノ泉源
 トナルヲ○議院改革條例案ヲ通過セシメンガ爲メ
 ニ貴族ヲ増加セントセシヲ○貴族及ビ是ト親和ス

英國政制各部
局ノ不減ナル

ル所ノ諸階級ノ人民

我國ノ政府ヲ組成スル所ノ各部局ノ政制ハ其權力特許威
勢ニ關シテハ絶ヘズ非常ノ變遷ヲ受ルト雖モ尙ホ其政制
ノ各々不減ナルコトハ我憲法歷史上ニ最モ著明ノ事ナリト
ス前篇既ニ記述セシ如ク國王ノ特權ハ古來一モ減ズルコ
トナク其權勢ノ泉源ハ大ニ増加セリ然レモ其大權力ハ責任
宰相ノ手ヲ經テ之ヲ施行スル者ニシテ漸次ニ議院及ビ興
論ノ管制ヲ受ル所トナリ現今ニ至ルニ及ビテハ行政上及
ビ立法上ニ於テ國王ノ權力ハチュードル家及ビスチュアート
家諸王ノ權力ニ似ザルコト猶ホ其ノルイ十四世ノ權力ニ似
ザルガ如キナリ

上院

上院ノ如キモ亦之ト同シク古來國王ニ次ギ國家ノ最高位

上院議員ノ絶
ヘズ増加スル

チ占メ來リテ現今ト雖モ昔時ニ於テ有セシ所ノ特權ノ大
分ハ尙ホ之ヲ保有セリ然レモ重大ノ變更ヲ受ルコト上院ノ
如キハ他ノ政制ニ之ヲ見ザル所ニシテ其議員ノ數其組織
及ビ權力ヲ見ルキハ之ヲ昔時ノ大會議ト同一ノ者ナリト
認ムルコト能ハザルナリ然レモ上院ガ此ノ如ク受タル變遷
ハ夫ノ歲月ノ經過スルニ從ヒ齊ク變化スル所ノ政制ノ他
ノ局部及ビ社會ノ事情ニ上院ヲシテ適應セシムルニ至レ
リ
議院ニ席ヲ有スル所ノ俗貴族ノ數ノ絶ヘズ増加スルコトハ
極テ著明ノ事實ニシテ之ガ爲メニ上院ノ制度及ビ性質ヲ
悉ク變更セシムルニ至レリヘンリト八世ノ時ノ第一回ノ
國會ニ於テ召集ヲ受タル俗貴族ノ數ハ二十九人ニ過キザ

蘇格蘭ノ代議貴族

リキ然ルニ女王エリザベスノ死スル時ニ及ビテハ俗貴族ノ數ハ増加シテ五十九人トナレリ爾後スチユアト家ノ諸王ハ貴族ノ爵位ヲ濫與セシテ以テ其數約ソ一百五十人トナリウヰリアム三世及ビ女王アンノ時ニ於テ更ニ之ヲ増加シテ一百六十人トナセリ而シテアンノ時代ニ於テハ故カラニ朝廷党ノ爲メニ多數ヲ得ンガ爲メニ一時ニ十二人ニ下ラザル貴族ヲ造リシヨアリテ此等ノ貴族ハ始テ議院ニ出デタルノ日ニ於テ朝廷党ヲ贊助シテ之ニ多數ヲ得セシメタリ又此治世間ニ於テ蘇格蘭ト合併ノ事成リシヲ以テ更ニ該國ノ代議貴族十六名ヲ加ヘタリ蓋シ該國貴族ノ數ハ原ト英蘭ノ貴族ト殆ンド同數ニシテ殊ニ該國ハ「プレスビテリアン」宗派ノ主義ヲ行フ者ナリ（按）プレスビテリアントハ別ニ大僧正

一千七百十九年ノ貴族條例案

僧正等ヲ置カズ唯ク長老ヲ置テ教而シテ英蘭ノ上院ニハ務ヲ管理セシムルノ宗派ヲ云フ而シテ英蘭ノ上院ニハ該宗派ニ反對スル所ノ二十六名ノ僧正ノ出席スルアリテ蘇格蘭ニ關スルノ法律モ此上院ニ於テ討議スルヲナレバ今該國ヨリ纔カニ十六名ノ代議貴族ヲ出ダスモ以テ該國從前ノ貴族ノ全數ヲ代理スルニ足レリト云フ可カラザルナリ然ルヲ斯ク該國代議貴族ノ數ヲ十六名ニ定メタルハ不正ノ事ナリトス然レドモ此不正ハ後年ニ至リ十分ニ之ヲ匡正スルヲ得タリ而シテ此事ハ本篇ノ後段ニ論スル所ヲ見テ之ヲ知ル可キナリ

斯ク貴族ノ速カニ増加スルコトハ從來ノ貴族ノ痛シ之ヲ嫉惡スル所トナレリ何トナレバ貴族ノ數ノ増加スルニ從ヒ貴族各自ノ品格ト權勢トハ益々減ゼザルヲ得ザレバナリ

シヨトシ一世ノ在位ノ初年ニ於テ更ニ貴族ノ數ヲ増加セ
 シヲ以テ從來ノ貴族ハ愈々之ヲ懼ルハニ至レリ一千七百
 十九年ニ至リツメルセツト公ハ國王ソ貴族ヲ造ルノ權ヲ
 非常ニ制限スル所ノ議案ヲ上院ニ提出セリ其議案ノ目的
 トスル所ハ一ハ貴族ノ心ヲ満足セシメントスルニアリシ
 ト雖モ又一ニハ党派上ノ計畫ヲ達セシメントノ主意ニ出
 デシナラント思ハルハナリ而シテ王モ亦此議案ニ同意ヲ
 表スルニ至レリ此議案ニ於テハ國王ハ貴族ノ現數一百七
 十八人ノ外ニ更ニ六人以上ノ貴族ヲ造ルヲ得ズト雖モ
 若シ從來ノ貴族ノ家斷絶スルアルトキハ新貴族ヲ造リテ
 其缺ヲ補フノ權アル者トナシ又從前ノ如ク蘇格蘭ヨリ十
 六名ノ代議貴族ヲ出ダスノ法ヲ廢シテ二十五名ノ世襲貴

族ヲシテ上院ニ出席セシムルコトニ改メシテ掲ゲタリ此
 議案ハ速ニ第三讀會ヲ開クニ至リシト雖モ之ヨリ先キ下
 院及ビ國民ニ於テハ極メテ此議案ヲ非トセシテ以テ其原
 案者ハ自カラ之ヲ廢棄スルヲ良策ナリト思考スルニ至レ
 リ然レモ次回ノ國會ニ於テボッキンガム公ハ更ニ同一ノ議
 案ヲ出シ上院ノ決ヲ經テ之ヲ下院ニ回付シタリシニ下院
 議員就中リチャード、スチール氏、ロベルト、ウァルポール氏ノ如
 キハ此議案ノ憲法ニ背違スル者タルヲ論セシテ以テ終
 ニ百七十七人ニ對スル二百六十九人ノ多數ヲ以テ之ヲ廢
 棄スルニ至レリ實ニ此議案ノ如キハ國王ノ管制外ニ在リ
 テ又人民ニ責任ヲ有セザル所ノ固結セルニ依リ貴族ヲ永
 續セシメンガ爲メニ勳功ヲ賞ス可キ國王ノ權ヲ制限セン

一千七百六十
年上院ニ出席
スル所ノ貴族
ノ數

トスル所ノ驕傲ナル希望ナリト謂ハザル可ラズ
「ハノーヴル」家ノ初代ノ二王ハ時々貴族ヲ増加シ而シテジ
ョーシ三世ノ即位ノ時ニ於テ貴族ノ全數ハ百七十四人ニ
達シタリキ而シテ此中十三人ハ未丁年ニシテ十二人ハ羅
馬舊教党ナリシヲ以テ共ニ議院ニ出席シ且投票ヲ爲スノ
權ヲ有スルヲ能ハザル者ナリキ

ジョーシ三世
ノ在位間ニ於
テ濫リニ貴族
ヲ増加セシ

女王エリサベスノ時以來貴族ヲ増加セシコト既ニ大ナリ
ト雖トモジョーシ三世ノ時及ビ其後ニ於テ更ニ之ヲ増加
スルニ至レリ貴族ヲ造ルハ王權ヲ増加シ自党ヲ強ムルノ
手段ナルガ故ニ累代ノ諸相ニ於テ濫リニ此策ニ出デタリ
故ニジョーシ三世ノ即位以來十年間ニ於テ新タニ造リ若
クハ其階級ヲ進メン所ノ貴族ノ數ハ四十二人ノ多キニ至

ノルス公ガ貴
族ヲ増加セシ

レリ

ノルス公ハ宰相タル自家ノ位置ヲ鞏固ニシ又朝廷ノ政畧
ヲ遂ゲンガ爲メニ濫リニ貴族ヲ増加セリ一千七百七十六
年ニ於テ從來累積セシ所ノ王室ノ負債ヲ再ビ議院ニ通知
セントセシ時豫メ十二人ノ新貴族ヲ造リ一人ノ「パロン」貴
族ヲ「ワイカウント」貴族ニ登進シ又三人ノ「パロン」貴族ヲ「ア
ール」貴族ニ登進シタリ一千七百八十年ニ至リ公ハ更ニ七
人ノ新貴族ヲ造リ公ノ在職間ニ於テ公ガ新タニ造リ若ク
ハ登進シタル英蘭ノ貴族ノ總數ハ約ソ三十人ニ達シタリ
而シテ愛爾蘭ニ於テハ公ガ爵位ヲ濫與スルヲ更ニ甚ダシ
クシテ一千七百七十七年ニ於テ公ハ新ニ十八人ノ「パロン」
貴族ヲ造リ又七人ノ「パロン」貴族ト五人ノ「ワイカウント」貴

ピット氏が貴族ヲ増加セシ

一千七百八十九年ピット氏が攝政者ノ貴族ヲ造ルノ權ニ制限テ立ル

族トナ一層高等ノ貴族ニ登進シタリ
ピット氏ハ自家ニ於テハ爵位ヲ輕視シ敢テ之ヲ受ザリシト雖此之ヲ他人ニ授與スルニ至テハ氏以前ノ宰相中氏ノ如ク多ク之ヲ授與セシ者ハ未ダ之アラザルナリ氏ノ執政以來五年間ニ於テ氏ハ幾シド五十人ノ新貴族ヲ造リ以テ容易ニ自党ニ多數ヲ制スルヲ得タリ蓋シ氏ハ自家ノ党與ニ爵位ヲ配與シテ爲メニ自家ノ權勢ヲ加ヘタルヲ知ルガ故ニ攝政者ヲ立ツルニ及ビ氏ハ攝政者ガ此特權ヲ行フノ力ニ制限ヲ加ヘザル可カラズト思惟スルニ至レリ氏ハ攝政ノ期限ノ間ハ終始此制限ヲ置カンコトヲ主張シタリト雖此其攝政ノ期限ノ甚ダ久シカラザルコトハ氏ノ自カラ信ゼシ所ナリトス氏ハ自家ノ權力ヲ鞏固ニセンガ爲メニ貴

ノ議ヲ起シタル

族ヲ造リタリト雖モ氏ノ反對者ノ手ニ同一ノ利器ヲ與フルコトヲ欲セザリシナリ而シテ若シ氏ノ議ヲシテ實行セシメ且ツ攝政ノ期限ノ間終始此制限ヲ置クコトニ決セシナラシニハ此事ヤ甚ダ非難ヲ容ル可キ者ニシテ夫ノ一千七百八十九年ニ於テ攝政者ニ加ヘントセシ所ノ一層嚴密ナル制限ニ關シテ至當ノ論ナリト認メラレタル駁議ノ多クハ轉ジテ此事ニ適用スベキ者ナリトスピット氏嘗テ言ヘルアリ曰ク勳功ヲ賞シ又大地主及ビ其他ノ富豪ノ人々ヲ擧ゲテ貴族ノ缺ヲ補ヒ以テ現存ノ貴族ノ相比周シテ王權ヲ犯スニ至ルコトナカラシメンニハ國王ハ新貴族ヲ造ルノ特權ヲ施行セザル可カラズト而シテ此等ノ論ハ平常ノ時ニ於ケルガ如ク攝政ノ時ニ於テモ亦齊シク適合ス可キノ論ニ

シテ且大權ヲ有スル所ノ一宰相（按）ピット氏（指ス）ガ襲ニ自家ノ党友ヲ擧ゲテ以テ上院ノ議員ヲ増加シタルノ事實ハ今攝政者ニ加ヘントスル所ノ制限ノ非ナルヲ示スニハ最モ効力アルノ實証ナリトス何トナレバ攝政者ノ權ヲ制限スルキハ則チ爲ニ宰相ノ權ヲ保持スルヲ得セシムルノ効アルハナリ而シテ一千八百十年ニ於テモ同一ノ制限ヲ攝政者ニ加ヘタリト雖モ其制限ハ單ニ一年間ニ止リシヲ以テ駁議ヲ受ルヲ以前ニ於ケルガ如クニ甚ダシカラザリシナリ

ピット氏ノ就職以來八年ヲ經過シ即チ一千七百九十二年ニ於テ氏ハ更ニ六七十八ノ貴族ヲ造リタリ而シテ此等ノ貴族ノ多クハ議院ニ於テ宰相ヲ贊成シ若クハ下院議員ノ撰擧上ニ勢力ヲ有スルノ故ヲ以テ其爵位ヲ受クルヲ得タ

ピット氏が依然トシテ貴族ヲ増加セシメ

ル者トス一千七百九十六年及ビ同九十七年ノ二年間ニ於テ氏ハ更ニ三十五人ニ下ラザルノ貴族ヲ新造シ若クハ登進シタリ而シテ一千八百一年ニ至ルマデ氏ノ在職ノ十七年間ニ於テ氏カ世襲ノ權ニ因テ上院ニ出席スル所ノ貴族ヲ新造シ若クハ登進シタル總計ハ實ニ一百四十人以上ニ及ベリ氏ガ多ク爵位ヲ與ヘシヲ此ノ如シ故ニ此等ノ貴族中或ハ貴族タルノ價格ナキ者アルヲ見ルモ亦怪ムニ足ラザルナリ氏ハ又一千八百一年ニ於テ愛爾蘭ノ代議貴族及ビ僧正ヲ上院出席ノ貴族中ニ加ヘタリ此ノ如ク非常ニ貴族ノ數ヲ増加スルハ王及ビピット氏ニ於テモ全ク掛念ナキニアラザリシト雖モ朋友及ビ党人ノ懇願古舊ノ家門ト新興ノ家門トノ競争勳勞及ビ公務ノ正當ニ賞セザル可ラ

ザル者アルコ等ノ爲メニ勢止ムヲ得ズシテ斯ク多數ノ貴族ヲ造ラザル可カラザルニ至リシナリ而シテ當時上院ニ出席セシ保守党ノ貴族及び此等貴族ノ勢力ニヨリテ下院ニ出席セシ代議士ハ純バラ朝廷ニ志ヲ齊セテ其党與トナリタリキ

愛爾蘭ノ代議貴族

愛爾蘭ト合併ノ事成ルニ及ビ該國ノ貴族ヲ處シタルノ方法ハ蘇格蘭ノ貴族ヲ處シタルノ方法トハ稍々其主義ヲ異ニセリ蓋シ愛爾蘭ニ於テモ代議貴族ノ主義ヲ行ヒ二十八人ノ代議貴族ヲ選ミテ合同王國ノ議院ニ出席セシムルコトナシタリト雖モ愛爾蘭ノ代議貴族ハ蘇格蘭ノ代議貴族ノ如クニ其代議ノ期限ハ唯國會一期ノ間ニ止ラズシテ終身タルノ異ナルアルナリ又蘇格蘭ニ於テハ合併以後ハ一

モ新貴族ヲ造ルヲ得ズシテ特ニ在來ノ貴族ノミテ古來世襲セル唯一ノ貴族トシテ之ヲ永續セシムルコトナリシニ愛爾蘭ハ則チ然ラズシテ其方法ヲ異ニセリ抑愛爾蘭貴族ノ多キニ失スルコトハ世ノ知ル所ニシテ漸次ニ其數ヲ減ゼスンバアル可カラザルナリ即チ此目的ヲ以テ非常ニ國王ノ特權ヲ制限シ合併ノ時ニ於テ該國ニ現存セル貴族ノ絶家スルコト三人ニ及ブ毎トニ始テ一人ノ新貴族ヲ造ルヲ得ルコト定メタリ然レモ此條例ノ目的トスル所ハ議院ニ出席ス可キ世襲ノ權ヲ有セザル所ノ愛爾蘭貴族ノ數ヲ減シテ終ニ百人ニ至ラシメントスルニ在リシヲ以テ既ニ其數ノ百人ニ減シタル以上ハ一貴族ノ絶家シ若クハ一貴族ノ世系ニヨリ又ハ王命ニヨリテ合同王國ノ貴族ニ轉ズル者アル

愛爾蘭ノ貴族
ヲ下院ニ出席
スルヲ得セシ
メシ

愛爾蘭ノ代議
僧正

毎トニ新クニ一貴族ヲ造ルヲ得ルヲ定メタリ
愛爾蘭ノ合併ノ時ニ定メタル特異ノ方法別ニ一アリ即チ
該國貴族ヲシテ英國何レノ地方ノ爲メタルヲ問ハズ其代
議士トナリテ下院ニ出席スルヲ得セシメタルヲ是ナリ而
シ此特權ハ該國貴族ノ據テ以テ大ニ利スル所トナレリ
又之ト同時ニ愛爾蘭ノ「エピスコパシ」宗派ノ僧侶ヲ代理
センカ爲メニ四人ノ僧貴族ヲ上院ニ出席セシムルヲトナ
セリ（按）「エピスコパシ」トハ大僧正僧正ヲ置テ教務ヲ管
理シ教法ノ式等凡テ威嚴華麗ヲ裝フノ宗派ヲ云フ即
チ愛爾蘭ノ僧貴族中ヨリ順番ニ四人ヅ、ヲ每期ノ國會ニ
出スノ方法ナリト雖モ其四人ノ中ニ常ニ愛爾蘭教會ノ大
僧正ノ一人ヲ加ヘザル可カラザル者トス又該國合併ノ時
ニ於テ愛爾蘭教會中ニ僧正及ビ大僧正ノ數ハ各々二十人

合同王國ノ貴
族

貴族増加ノ概
計

アリシガ一千八百三十三年寺院歲入條例ヲ以テ其數ヲ兩
者ヲ合セテ十八ニ減ズルノ制ヲ立テタリ
愛、蘇、ノ英ニ合併セシ後ニ於テモ尙ホ常ニ合同王國ノ貴族
ノ數ヲ増加セリ而シテ現存ノ貴族ノ數ヲ解剖スルニ其
奇異ナル結果ヲ見ル可キナリ蓋シ一千八百六十年ニ於テ
上院ハ僧俗ヲ合セテ四百六十八ノ貴族ヨリ成レリ而シテ
合同王國ノ世襲貴族ノ總數ハ三百八十五人ニ増加シ此外
ニ尙ホ王家血統ノ貴族アリトス此等ノ貴族中一百二十八
人ハ「ジョージ」三世ノ長久ナル一治世間ニ之ヲ造リ四十二
人ハ「ジョージ」四世ノ在位間ニ之ヲ造リ一百十七人ハ「ウ」
「アム」四世ノ即位以來ニ之ヲ造リタル者ナリ即チ「ジョージ」
三世ノ即位以來貴族ノ新造ヒラレ若クハ現時ノ位階ニ登

進セシ者二百八十人ニシテ殆ド貴族全數ノ四分ノ三ニ及ベ
リ現時殘存セル貴族ノ數ノミニ就テ之ヲ見ルモ其増加ノ
著シキ斯ノ如シ况ンヤ此間ニ於テ貴族ノ絶家シ若クハ其
爵位ヲ併合セシ者多キヲ蓋シシヨリ三世ノ一治世間
ニ於テ現ニ貴族ヲ造リタルノ數ハ三百八十八人ニ達セリ
即チ現時貴族ノ總數ニ超過スルヲ見ル可キナリ

貴族ノ舊古ナル

一千八百六十年ニ於テ現存スル所ノ貴族中シヨリ三世
ノ即位前ノ授爵ニ係ル者ナリト稱シ得ベキハ纔ニ九十八
人ニ過ラザルナリ然レモ單ニ此一事實ノミヲ以テ我貴族
ノ舊古ナルト否トナ批判スルヲ能ハザルナリ何トナレバ
古代ノ爵位ヲ有スル者ニシテ更ニ高貴ノ位階ニ登進スル
ヲアレバ其舊古ノ爵稱ハ此一層高貴ニシテ而カモ漸近ナ

貴族ノ爵ヲ要
求スル者ノ多
キ

ル爵稱ノ爲メニ併合セラル、者ナレバナリ左レバ十五世
紀ノ「アール」貴族ハ變ジテ十九世紀ノ「マールクイス」貴族トナ
レリ又現時ノ貴族ノ家門ノ多クハ極テ舊古ノ者ニシテ其
貴族ノ爵ヲ得ザル前ニ於テ既ニ紳士ト仰ガレシ者ナリ又
合同王國ノ貴族トシテ現時貴族ノ名簿中ニ其名ヲ列スル
所ノ蘇格蘭ノ貴族ノ如キハ其爵位ヲ得タルハ稍近時ノ事
ニ係ルト雖モ尙ホ其祖先ノ尊貴ナリシヲハ此等ノ人々ノ
一身ニ付着シテ忘ル可カラザルナリ
斯ノ如ク貴族ヲ増加セシメ甚ダ多カリシト雖モ國王ノ恩
典ヲ要求スル者ノ數ハ更ニ多クシテ殆ンド比例ス可カラ
ザル者アルナリマルムスビュリ公ノ一千八百七年ノ日記
中ニ左ノ語ヲ載スルヲ見ル其文ニ曰クホウイトニス公及

ビヒースコート氏(ウィリアムノ子)ハ余ニ迫リテ爲メニ貴族ノ爵位ヲ王ニ奏請セシメテ求メタリ余ハ貴族クランテ要求スル者五十三人ニ下ラザルノ多キアリト雖モ王ハ一モ其要求ヲ聽許セザリシヲ二氏ニ語リタリト而シテ爾後ノ諸宰相ハ貴族ノ爵位ヲ一人ニ與ヘンコトヲ王ニ助言スル毎トニ必ズヤ十人ニ下ラザル熱心ナル要求者ノ懇願ニ抗セザルヲ得ザリシナルベシト思ハル、ナリグレイ公ガ一千八百三十二年ニ於テ殆ンド一百人ノ貴族ヲ造ラシメテ計畫セシト當時ノ事情ニ於テハ貴族ノ位ヲ得タレバトテ敢テ自カラ誇ル能ハズ又之ヲ得ルガ爲メニ世ノ非難ヲ免ル、能ハザルニモ拘ラス尙ホ之ヲ要求スル者決シテ乏シカラザリキ加之更ニ近時ニ至リ他ノ一宰相ハ自家ノ党中

貴族ノ性質ノ變化セシム

三十人以上ノ人々ガ宰相ヲ親愛シ宰相ノ党與ニ誠實ナルコトヲ証トシテ貴族ノ爵位ヲ望ミタルコトヲ發見セリ
 貴族ノ數ノ斯ク増加セシト同時ニ其性質及ビ組織ニ於テモ亦齊シク著大ノ變化ヲ生ズルニ至レリ蓋シ我現時ノ貴族ハ最早昔時ノ大貴族ノ集合ニモアラズ又領主貴族ノ集合ニモアラズ又之ヲ代表スル者ノ集合ニモアラズシテ漸々歲月ヲ經過スルニ從ヒ愈々人民的及ビ代理的ノ性質ヲ有スルニ至レリ戰爭及ビ外交ノ事ニ關シテ拔羣ノ功ヲ奏セシ者、審廳ニ於テ又ハ内閣ニ於テ非常ノ能ヲ顯ハセシ者、評議上ニ於テ最モ賢明ナル者、討論上ニ於テ最モ能辨ナル者等ハ凡テ顯赫ナル貴族ノ名簿中ニ其名ヲ列シ而テ此等ノ人々ノ名

ハ歴史上ニ存シテ此等ノ人々ヲ發セシメタル時代ノ光輝ヲ表示スル者ナリ又商業ニヨリ鉅萬ノ財ヲ蓄積セシ者及ヒ其祖先ガ自家ノ勤勉ニ因テ蓄積シタル財ヲ繼承セシ者ノ如キモ特許アル貴族ノ團界中ニ列スルヲ得ルナリ要スルニ最上等ノ智識熟達富資ヲ有スル所ノ人々ハ貴爵之ヲ引テ己レノ部内ニ入レ其第二位ニ立ツ所ノ人々ニ至テハ尙ホ之ヲ放テ人民ニ委セリ（按最上等ノ人々ハ貴族トナシ第二位ノ人々ハ人民ノ撰任ニ委スルヲ云フ）

貴族ニ代理ノ性質アルコト

貴族ノ數ノ常ニ増加シ且社會諸階級ノ人ヲ舉ゲテ之ヲ補フコト此ノ如クナルガ故ニ之ガ爲メ貴族ハ大ニ其固有スル所ノ世襲ノ性質ヲ失フニ至レリ即チ世襲ノ權ニ因テ上院ニ席ヲ占ル所ノ貴族ハ近時一身ノ功德ノ爲メニ上院ニ入

代理ノ主義ノ擴張

リシ所ノ新貴族ニ其特權ヲ割讓セシテ以テ世襲ノ貴族ハ獨リ權力ト光榮トヲ專占スルコト能ハザルニ至リタルナリ之ト同時ニ代理ノ主義ハ益々上院ノ組織上ニ行ハルニ至リタリ蘇格蘭ノ代議貴族ハ國會一期ノ間ヲ期限トシテ撰舉セラル、者ニシテ其數ハ十六人ナリ愛爾蘭ノ代議貴族ハ終身選舉ニシテ其數ハ二十八人ナリ故ニ此二者ヲ合スルトキハ其數ハヘンリー八世ノ時ノ貴族ノ全數ト相同シキナリ而シテ二十六人ノ英蘭ノ僧正ハ唯終身其職ヲ保ツ者ナルガ故ニ以上ノ數ニ之ヲ加ルトキハ世襲ノ權ニ因ラズシテ出席スル所ノ議員ノ全數ハ上院ノ組織上ニ於テ實ニ一大元素ヲ成ス者ト謂ハザル可カラズ然レモ此等ノ數ヲ解剖スルトキハ代議貴族ノ數ト世襲貴

代議貴族ノ數

ト世襲貴族ノ
數ト平均ヲ得
ザルコト

蘇格蘭ノ貴族
ヲ合同王國ノ
貴族トナスコト

族ノ數正次第ニ其平均ヲ失フニ至ルコトヲ明ニ見ルヲ得可
シ蓋シ蘇格蘭ノ十六人ノ代議貴族ハ女王アンノ時ニ於テ
既ニ該國往時ノ貴族ヲ代表スルニ不十分ナリシトセバ合
同王國ノ貴族ノ數ヲ三倍セル今日ニ至テハ其不平均益々
甚シカラザルヲ得ザルナリ然レモ此不平均ハ其甚シキ明
瞭蔽フ可ラザルカ故ニ終ニ蘇格蘭ノ貴族ヲシテ英國上院
ニ世襲ノ坐席ヲ占ムルヲ得セシメ以テ此不平均ヲ匡正ス
ルニ至レリ一千八百六十年ニ於テ蘇格蘭ノ貴族ノ數ハ七
十八人ニシテ此中該國ノ合併以來合同王國ノ貴族トナリ
テ爲メニ議院ニ坐席ヲ占メタル者ハ其半數以上即チ四十
人ニ下ラザリキ

蘇格蘭貴族參

初メ蘇格蘭ノ貴族ヲ大英國貴族ノ列ニ入ルコトニ關シ合

院ノ權ヲ拒ミ
シコト

蘇格蘭貴族ノ
權ヲ承認スル
コト

同王國ノ貴族ガ之ヲ嫉妬セシコトハ實ニ甚シカリキ一千七
百十一年ニ於テハミルトン公ガブランドン公ノ爵位ニ選
リテ合同王國ノ貴族トナリシ時上院ハ五人ノ多數ヲ以テ
公言シテ曰ク合同王國ノ貴族中ニテ蘇格蘭合併ノ時ニ於
テ該國ノ貴族タリシ者ハ仮令ヒ如何ナル爵位ヲ得ルモ之
カ爲メニ上院ニ出席シ若クハ投票ヲ爲スノ權ヲ有スル者
ニアラズ又貴族ヲ裁判スルノ席ニ臨ムノ權ヲ有スル者ニ
アラズト斯クノ如ク上院ハ反對ノ決議ヲ爲シ以テ一時國
王ノ疑フ可カラザルノ特權ヲ妨ゲタリ

蘇格蘭貴族ノ
權ヲ承認スル
コト

クインズベリー公ハ蘇格蘭合併後ニ合同王國ノ貴族トナ
リシ人ニシテ以上ノ議決ヲ爲セシキ公ハ合同王國ノ貴族
タルノ資格ヲ以テ上院ニ席ヲ占メタリ然レモ上院ノ此決

議ノ爲ニ爾後多年ノ間ハ新タニ蘇格蘭ノ貴族ヲ直接ニ
 合同王國ノ貴族トナスコト妨ケタリ然レモ蘇格蘭貴族ノ
 長子ヲ合同王國ノ貴族トナスコト屢々行ハレ而シテ此等ノ
 長子ハ爲メニ上院ニ坐席ヲ占メ其父ノ死スルニ及ビ又蘇
 格蘭貴族タルノ爵位ヲ繼續シタルガ爲メニ巧ミニ以上ノ
 禁制ヲ避ルヲ得タリ終ニ一千七百八十二年ニ至リ蘇格蘭
 ノ貴族ハ合同王國ノ貴族タルノ特許ヲ受ル能ハザルヤ否
 ヤノ疑問ヲ判事ニ回付シテ之ニ諮問タリシニ判事ハ皆其
 說ヲ一ニシテ曰ク英蘇合併ノ條例ハ決シテ蘇ノ貴族ヲシ
 テ此權ヲ失ハシメタル者ニアラズト故ニ上院ハ一千七百
 十一年ノ決議ヲ廢棄シ爾後蘇格蘭ノ貴族ハ合同王國ノ貴
 族トナルヲ得ルコトナレリ

蘇ノ貴族ニシ
 テ合同王國ノ
 貴族トナル時
 ハ代議貴族タ
 ルノ權ハ爲メ
 ニ消滅スルコト

一千七百八十七年ニ於テ蘇格蘭貴族ノ權ニ關シテ他ノ緊
 要ナルニ疑問起レリ抑蘇格蘭ノ貴族ハ各自大英國ノ議院
 ニ坐席ヲ占ムルノ權ヲ有セザル者ナリト雖モ自家ト同一
 ノ政治上ノ制限ヲ受ル所ノ他ノ貴族ノ選舉ヲ得ルトキハ
 代議貴族トシテ議院ニ出席スルヲ得ルコトニシテ是レ實ニ
 英蘇合併條例ノ明ニ其目的トスル所ナリ而シテ國王ハ蘇格
 蘭ノ貴族ヲ合同王國ノ貴族トナスノ權アルコトハ曩ニ終ニ
 公認セラレシ所ナルヲ以テ國王ハ此權ヲ實行シ當時蘇格
 蘭ノ代議貴族トシテ上院ニ坐席ヲ占メシ所ノアベルコル
 ン公及ビクインスベリ公ヲ合同王國ノ貴族トナシタリ今
 ヤ此二公ハ合同王國ノ貴族トシテ其ノ世襲ノ權ニ因テ議
 院ニ坐席ヲ占ルコトナリタレバ從前ノ如ク蘇格蘭ノ代議

貴族タルノ性質ヲ依然トシテ存有スルハ憲法上不當ノ事ニシテ代議貴族タルノ性質ヲ存有スル者ナリトノ説ハ容易ニ之ヲ維持ス可ラザルナリ若シ此説ヲ可ナリトスル以上ハ下院議員ノ登進ノ上院ニ席ヲ占ルニ至リシ者ノ如キモ尙ホ依然トシテ自家ヲ撰擧セシ所ノ撰擧人ヲ代表スル者也ト云フヲ得ベキ也蓋シ一千七百三十六年ニ於テアソル公ハストランジノ「バロン」ノ領地ヲ繼續シタルニモ拘ハラズ尙ホ代議貴族トシテ議院ニ坐席ヲ占メタリシニ當時上院ハ此事ニ關シテ如何ナル決議ヲモ爲スヲナク又公ノ法律上ノ位置如何ノ點ニ關シテ毫モ疑問ヲ生ズルヲナカリキ然レモ今回ノ場合ニ於テハストルモント公ハ此事ニ關シテ明瞭ニシテ抗ス可カラザルノ議ヲ上院ニ提出セシニ

サルロウ公ハ果敢ニモ之ヲ攻撃シタリト雖モ終ニ上院ハアベルコロン公及ビクインスベリー公ハ蘇格蘭ノ代議貴族タルノ資格ヲ失ヒタル者ナリト決議シタリ右二公ハ斯クノ如ク代議貴族トシテ議院ニ席ヲ占ルノ權ヲ失ヒタルヲ以テ二公ハ直ニ一千七百九年ノ上院ノ決議ニ反シテ蘇格蘭ノ貴族タルノ資格ヲ以テ自家ニ續ク所ノ代議貴族撰擧ノ投票ヲ爲サントセリ而シテ二公ハ此撰擧ノ權アルヲ辨護シ又上院ノ前回ノ決議ニ難疑ヲ生ゼシメント勉メタリト雖モ到底上院ヲ動かスヲ能ハズシテ上院ハ一千七百八年ヨリ九年ニ涉レル會議ニ於テセル一月二十一日ノ決議ノ寫ヲ蘇格蘭ノ記録官ニ回付シ之ト共ニ此決議ヲ遵奉ス可キ旨ヲ該官ニ命ジタリ此命令ハ一時ノ

蘇ノ貴族ノ現時ノ有様

問之ヲ遵守シタリト雖モ一千七百九十年ニ至リ更ニ他ノ
 決議ヲ以テ此命令ヲ廢止シタリ而シテ爾來ハ蘇格蘭ノ貴
 族ガ總テ其代議貴族ヲ選舉スルノ權ヲ有スルコトハ公認セ
 ラルハニ至レリ
 然ルニ蘇格蘭ノ貴族ヲシテ上院ニ世襲ノ坐席ヲ保タシム
 ルコトヲ許シタルガ爲メニ將サニ奇異ノ結果ヲ生セントス
 ルノ傾向アリトス蓋シ今後久シカラスシテ蘇格蘭ノ貴族
 ハ悉ク合同王國ノ貴族ニ混入ス可シト思ハルハナリ現時
 既ニ該國貴族ノ半數ハ合同王國ノ貴族ニ混入シ又今後合
 同王國ノ貴族トナリテ上院ニ席ヲ占ムルニ至ル者多カル
 可シ而シテ更ニ蘇格蘭ノ貴族ヲ新造スル能ハザルノ制ヲ
 ルヲ以テ終ニ合同王國ノ貴族ニ變ゼザル十六人ノ蘇格蘭

愛爾蘭ノ貴族ノ現時ノ有様

貴族ヲ除クノ外ハ該國ノ貴族ハ悉ク絶ユルニ至ランコト
 豫言スルヲ得ルナリ而シテ茲ニ至レハ此等ノ十六人ノ貴族
 ハ自カラ代議貴族ヲ撰擧スルノ制ヲ廢シテ多分ハ世襲貴
 族ノ位格ヲ得テ議院ニ出席スルコトナル可キナリ果シテ
 然ランニハ英蘇合併ノ條例ハ實行セラレ二國議院合併ノ
 事十分ニ成就スルニ至ル可キナリ蓋シ合併ノ事ノ斯クノ
 如ク十分ニ成就スルハ初メ最モ二國ノ合併ヲ主張シタル
 者ト雖モ將來ヲ察スルニ於テ豫メ前見セザリシ所ナラン
 愛爾蘭ノ貴族ハ英愛合併條例ニ據レバ一百人ノ數ヲ維持
 ス可キノ制ナリト雖モ亦漸次ニ合同王國ノ貴族ニ
 混入スルノ狀アルコト見ル可キナリ一千八百六十年ニ於
 テ愛爾蘭貴族ノ數ハ一百九十三人ニシテ内七十一人ハ合同

王國ノ貴族トシテ議院ニ坐席ヲ占メタリ故ニ該國ノ代議
貴族ヲ合算スルトキハ議院ニ席ヲ占ムル所ノ愛爾蘭貴族
ノ總數ハ九十九人ナリトス

三王國ノ貴族
ノ混合

三王國ノ貴族ノ斯ク混合セルガ爲メニ上院ハ一層ノ國民
的及ヒ代理的ノ性質ヲ有スルニ至レリ上院ニ於テハ社會
諸階級ノ人民ヲ代表スルニ至リシト同ジク又各自國民ノ
情ヲ代表スルコト更ニ其區域ヲ廣ムルニ至レリ且蘇格蘭
及ヒ愛爾蘭ノ平民ニシテ國家ニ勳勞アリ若クハ其他卓絶
ナル特功アリシガ爲メニ貴族ノ爵位ニ登進セシ者多クシ
テ之ガ爲メニ更ニ二國ノ利益ヲ上院ニ代表スルヲ得ルコ
トハ是レ亦容易ニ看過ス可カラサルノ事實ナリトス
然レモ俗貴族ハ其英蘭貴族タリ蘇格蘭貴族タリ愛爾蘭貴

貴族ニ世襲ノ

性質アルコト

族タルヲ問ハズ又世襲貴族タリ撰擧貴族タルヲ論ゼズ悉
ク皆高貴ノ血統ニシテ其格位ヲ子孫ニ傳ル者ナリ故ニ世
襲ハ貴族ノ固有ノ性質ニシテ僭正ヲ除クノ外ハ實ニ又上
院組織ノ固有ノ性質ナリト云フ可キナリ

上院カ其最高
裁判權ヲ行フ
ノ方法宜シキ
ヲ得ザリシコト

然ルニ一千八百五十六年ニ至リ我女王陛下ハ我國ノ世襲
貴族中ニ一代貴族ノ一新階級ヲ加フベシトノ助言ヲ受タ
リ蓋シ上院ガ其最高裁判權ヲ行フノ方法ニ於テ宜キヲ得
ザル者アルコトハ世ノ歎詆セシ所ニシテ是レ實ニ當然ノ歎
詆ナリトス最高裁判所タル上院ハ法律ニ通ゼザル貴族ノ
滿ツル所トナリ往々判事ハ一人モ之レナキコトアリ而シテ
此等ノ貴族ハ最高裁判所ノ判員トシテ其席ニ臨ミナガラ恬
然トシテ其裁判ニ與ルノ外觀ヲモ裝ハザルナリ此事ヤ敢

近時ニ初マリシニアラズシテ實ニ古來ノ弊害ナリト雖
 近時ニ至リテ始メテ訴訟者及ビ公衆ノ大ニ着目スル所ト
 ナレリ革命以後數年ノ間上院ニ一ノ法律家アルナカリシ
 ナ以テソノメルス公ハ國璽官トシテ上訴ヲ聽キタリ而シ
 後終ニ此高名ナル法律家ノ上院ノ議員トナルヤ上院中法
 律家タル者ハ公一人ノミナリキジヨージ二世及ビシヨ
 ジ三世ノ朝ニ於テハ多年ノ間ハドウツク公マンズフル
 ド公サルロウ公ニルドン公等獨リ訴ヲ聽キ而シテ上院全
 體ノ智識ヲ代表スル所ノ噤黙セル無學ノ貴族二人其後面
 ノ左右ニ列セリ後代ニ至リ輿論ニ刺激セラレテ裁判ヲ行
 フノ外觀稍々整肅スルノ狀ヲ見ルヲ得タルノミナラズ又
 内閣ノ更迭屢々ナリシガ爲メニ一タビ大法官トナリテ其

一代貴族

職ヲ退キシ者多カリシカバ隨テ上院中法律ニ通ズル貴族
 ハ以前ニ比スレバ其數ヲ増加セリ然レモ裁判ノ執行法ヲ
 改良スルヲ以テ立法上ノ一大要務トナシ人民ノ大ニ此事
 ニ熱心セル時代ニ於テハ此最高裁判所ノ組織上ニ變革(假
 令其變革ハ單ニ理論上ニ止ルトスルモ)ヲ行フニアラザレ
 ハ満足セザルナリ
 故ニ永久ニ議員ノ數ヲ増加スルヲナクシテ而モ上院ノ裁
 判權ヲ鞏固ニセンガ爲メノ策トシテ最モ卓越ナル判事ニ
 唯一生ノ間上院ニ出席スルノ特許ヲ與ヘントノ議起リタ
 リ蓋シ一代貴族ヲ造ルノ事ハ憲法上敢テ新奇ノ事ニアラ
 スト雖モ此事ハ久シク中世ヨリ廢絶ニ歸シタリキリチャ
 ード二世ノ朝ヨリヘンリー六世ノ朝ニ至ルマデノ間ニ於テ

婦女ニ一代貴族ノ爵ヲ與フ

一代貴族ヲ造リタルノ先例少ナシトセザルナリ然レモ此等ノ貴族中或ハ當時ノ他ノ貴族モ多クハ然ルガ如ク國會三局部ノ一致ヲ以テ之ヲ與ヘタル者アリ或ハ既ニ世襲ノ權ニ因テ議院ニ出席スルノ權ヲ有スル所ノ貴族ヘ新ニ一代貴族ノ特許ヲ與ヘタル者アリ或ハ一代貴族ノ爵ヲ得タル者ニシテ決シテ上院ニ出席セザリシ者アリ或ハ一代貴族ノ爵ヲ得タル者外國人タルヲ以テ爲メニ上院ニ出席スルノ權ヲ求ムル能ハザル者アリ而シテ一代貴族トシテ上院ニ坐席ヲ占ムルヲ得タル者ニ至テハ四百餘年ノ間一モ其先例ノ記録上ニ存スル者アルヲ見ザルナリ然レモ更ニ近時ニ至リ婦女ニ一代貴族ノ爵ヲ與ヘタルノ例ハ多ク之レアリトスチーレス二世ハ美女ルウニス、デケル、アイルニ

豫メ相續人ヲ定メテ授與スル所ノ貴族ノ

一代ポルツマウス女公タルノ爵ヲ與ヘゼームス二世ハカゼリン、セッドリ、ニ一代「パロン」ノ爵ヲ與ヘジョーシ一世ハマダム、デ、シユレムベルグニ一代ケンダル女公タルノ爵ヲ與ヘ又ジョーシ二世ハマダム、ウアルモテンニ一代ヤーマウス女公タルノ爵ヲ與ヘタリ而シテゼームス一世ノ朝ヨリジョーシ二世ノ朝ニ至ルマデノ間ニ於テ婦女ニ一代貴族ノ爵ヲ與ヘシト十八人ニ下ラザリキ然レモ婦女ハ議院ニ出席スルヲ能ハザルヲ以テ此等ノ先例ニ根據シテ國王ハ一代貴族ヲ上院ニ出席スルヲ得セシム可キ特權ヲ有スル者ナリトノ説ヲ辨護スルヲ能ハザルナリ然レモ別ニ一種ノ貴族アリテ此等ノ貴族ハ國王ニ以上ノ特權アリトノ説ヲ支持スルニ最モ強固ナル論據ヲ與フル

モノトス蓋シ之ヲ概言スルトキハ貴族ノ爵位ハ世襲ノ性質ヲ有シ地面ト同シク世々貴族ノ長子ニ之ヲ譲ル者ナリト雖モ尙ホ長子以外ノ人ニ其爵位ヲ譲ラシムル如キ方法ヲ以テ貴族ノ爵位ヲ與フルト往々之レアリテ此等ノ貴族ハ其爵位授與狀ニ定ル所ニ從ヒ或ハ自家ノ支系ノ親族ニ其爵位ヲ譲ラザルヲ得ザルアリ或ハ其後妻ノ擧ゲタル長子ニ其爵位ヲ譲ラザルヲ得ザルアリ或ハ自家ノ弟ノ子ニ其爵位ヲ譲ラザルヲ得サルアリ又其他自家ノ正系ノ親族ニアラズシテ法律上ニ於テ其相續者ナリト認メザル所ノ人々ニ其爵位ヲ譲ラザルヲ得サルヲアルナリ此類ノ爵位ハ世襲相續ノ通常ノ理ニ由ル者ニアラズシテ爵位授與狀ノ特別ノ制限ニ從フ者ナレハ固ヨリ之ヲ以テ世襲相續ノ

理ノ例外ニ置カザル可カラズ蓋シ右爵位ノ相續者ハ唯其爵位ヲ子孫ニ傳ルノ方法ニ從ヒテ貴族トナル者ニ外ナラズト雖モ第一ノ拜受者ニ至テハ實ハ一代貴族タルニ異ナラサルナリ(按)何トナレハ爵位授與狀ニ定ムル所ノ制限レト尙ホ此類ノ貴族ト一代貴族トノ間ニ明瞭ナル區別ノ存スル者アリトス何トナレバ此類ノ貴族ハ世襲ノ方法ニ從テ其爵位ヲ長子ニ譲ルヲ得ズシテ其相續ノ方法通常ノ例ニ異ナル者アリト雖モ尙ホ其爵位ハ第一ノ拜受者ノ死後ニ永存スル者ナレバナリ而シテ此類ノ爵位ハ常ニ之テ與ヘテ毫モ異論ヲ招クトナカリシト雖モ一代貴族ヲ造ルトハ數百年間毫モ其例ナカリシヲ以テ此類ノ爵位ノ行ハルハトハ却テ一代貴族ノ不法ナルトテ証スルノ事實ナリ

一代貴族ヲ造
ルノ權アリト
スルノ說

ト論スルモフアリキ
 以上ノ先例及ビ類例ハ陳腐無効ノモノナリトスルモ又ハ
 茲ニ論スル場合ニ適合スルヤ否ヤノ判明ナラザル者アリ
 トスルモ尙ホ一代貴族ヲ造ルノ不可ナラサルコトハ憲法ニ
 通曉セル諸大家ノ殆ント皆承認スル所ナリトスコトハ公
 ハ屢々論シテ曰ク國王ハ讓與權ニ制限アルト否トテ問ハ
 ズ各種ノ一代貴族ノ爵位ヲ造ルヲ得可シト博學ナルセル
 デン氏ハ此昔時ノ習慣ヲ記述スルニ於テ別々之ニ解説ヲ
 付セザリキ（按古昔ノ習慣トハ國王カ一代貴族ヲ造ルヲ云
 付セザリキ者ニシテセルデン氏カ別々之ニ解説ヲ付セ
 サルヲ見レハ氏ハ國王ニ此權アルハ又上等裁判官ナルコ
 無論ノ事ナリト思惟セシナルヘシ
 ミンス氏及ビクルイス氏ノ如キハコトク氏ノ說ヲ認メテ
 疑フ可カラザルノ法律ナリトセリ又人望アルブラツクス

ト一ノ氏ノ如キモ此說ヲ採リテ之ヲ布衍セリ一千八百二
 十二年貴族ノ格位ノ事ヲ調査センガ爲メニ任命セラレタ
 ルレデスダル公ノ長タリシ委員ノ如キモ亦猶豫スルコトナ
 ク此說ヲ公認シタリ而シテ卓越ナル記者中ニ於テ此事ニ關
 シテ疑ヲ述ベシ者ハ唯一人ノブトラ氏アルノミナリトス
 又以上ノ說ハ政治家及ビ法律家ニ於テモ一般ニ之ヲ承認
 セリリヴァトプール公ノ内閣ハ上院ノ最高裁判權ノ執行ヲ
 改良セザル可カラザルノ必要ニ迫マラレ一時ハ内閣員悉
 ク一代貴族ヲ造ルノ議ニ同意セシコトアリ又一千八百五十
 一年ジョンスラスセル公ノ政府ハ當時發行シタル一法令ノ
 爲メニ下院ニ出席スルノ權ヲ失ヒシ所ノ海軍裁判所ノ高
 名ナル法官ドクトルルシントンニ一代貴族ノ爵位ヲ與ヘ

タリ又世三「テウラン」ノ訴訟ト稱スル所ノ貴族ニ關スル一
 訴訟ノ起リシ時ブルーム公ハ大法官ノ席ニアリテ明言
 シテ曰ク國王ハ拜受者自身ノ生命ヲ期限トシテ之ニ貴族
 ノ爵ヲ與フルノ權ヲ有スルノミナラズ又他ノ人ノ生命ヲ
 期限トシテ貴族ノ爵ヲ與ルノ權ヲモ有セリト而シテ更ニ
 近時ニ至リカムベル公ハ討論ノ際論ジテ曰ク國王ハ其特
 權ニ據リ一代貴族ヲ造ルヲ得可シ然レモ或ル人ノ官位ヲ
 有スル間ニ期限トシテ貴族ノ爵位ヲ與ルガ如キハ國會ノ
 三局部ノ制定ヲ得ルニアラザレバ能ハズト
 以上ノ先例ト諸大家ノ説トニ根據シ一千八百五十六年ノ
 國會ノ會合前ニ諸宰相ハ勅狀ヲ發シテ曩ニ出納事件裁判
 所ノ卓越ナル判事タリシゼームスパーク氏ニ一代ウエンス
 ゼームスパー
 ク氏ニ貴族ノ
 爵ヲ與ル

レトテ「ブルーム」公ハ此時病ニ罹リシヲ以テ議院會合ノ初
 助言セリ而シテ其勅狀ヲ發シタリシニ貴族ハ一代貴族ノ世
 襲貴族中ニ侵入スルノ非ナルヲ喋々論難セリ然ルニウ
 ンスレーデル公ハ此時病ニ罹リシヲ以テ議院會合ノ初
 日ニ於テ其召集狀ヲ携ヘテ議場ニ出席スルヲ得サリキ
 而シテ二月七日ニ至リリンドホルスト公ハ巧ミナル演説
 ヲ爲シ夫ノウエンスレーデル公ノ例外ノ特許ノ當否ヲ特
 許調査委員ニ付シテ討議セシメントシテ主張セリ
 之ニ次デ起リシ所ノ討論中ニ於テ國王ガ一代貴族ヲ造ル
 ノ特權ヲ有スルヲ殆ンド之ヲ疑フ者アラザリシト雖モ
 此等ノ貴族ハ爲メニ議院ニ出席スルノ權アリトノ説ハ大
 ニ拒否セラレタリ蓋シ此ノ如キノ爵位ハ單ニ其拜受者ニ

一代貴族ノ當否ノ討論

尊稱ト格式トヲ與フルニ過ギズシテ決シテ世襲貴族ヨリ成ル所ノ立法院中ニ坐席ヲ占ルノ權ヲ與ル者ニアラズトナセリ而シテ一代貴族ノ不當ナラザルコトヲ証センガ爲メニ引出セシ所ノ先例ト諸大家ノ說トハ反對者之ニ向テ綿密ニ論難シタリト雖モ昔時ニ於テ國王ガ一代貴族ヲ上院ニ出席セシメシコアリトノ說ハ終ニ之ヲ破ルコト能ハザリキ然レモ斯ノ如キノ例ハ四百年餘ノ間曾テ之アラザリシコハ各党ノ共ニ許ルセシ所ナリ是ニ於テ憲法上實ニ至難ノ疑問ヲ生スルニ至レリ即チ國王ガ昔時ニ有セシ所ノ特權ト雖モ久シク之ヲ行ハザリシガ爲メニ終ニ此特權ヲ失ハザルヲ得ザル乎或ハ假令ヒ一旦之ヲ失フトモ女王ニ於テ之ヲ回復スルヲ適當ナリト思惟セバ之ヲ回復スルヲ得

ベキ者ナル乎ノ疑問是レナリ諸宰相ハ歲月ハ王權ヲ失ハシムル者ニアラズト云ヘル格言ニ根據シテ國王ハ歲月ヲ經過スルモ之カ爲メニ其特權ヲ失フ者ニアラズトノ說ヲ主張シタリ之ニ反シ政府反對党ハ痛論シテ曰ク國王ハ國家ノ定制ヲ變ズル能ハザル者ナリ蓋シ昔時我國ノ制度ノ未ダ法律ト習慣トノ力ニ因リテ定立セザリシ以前ニ在テハ國王ハ彼ノ世襲ノ位置ニ由リ明ニ議院ニ出席ス可キノ權ヲ有スル貴族ト雖モ尙ホ之ニ召集狀ヲ拒ミシコアリ又國王ハ自家ノ特權ヲ以テ舊城市ノ許免ヲ奪ヒシコアリ又詔狀ヲ發シテ新城市ニ免許ヲ與ヘシコアリ抑現今ニ於テ此ノ如キノ特權ヲ施行スルハ將々之ヲ何ト云フベキ乎既ニ法律タルノ効力ヲ有スル所ノ憲法上ノ習慣ニ從フトキ

ハ數百年來上院ハ國王ノ世襲ノ評議者ヨリ組成スル所ノ
 議局ニシテ下院ハ則チ法律上ノ資格ヲ有スル所ノ撰舉者
 ノ撰舉シタル議員ヨリ成ル者ナリ故ニ國王ガ一代貴族ヲ
 シテ議院ニ坐席ヲ有セシメ以テ上院ノ組織ヲ變更スルソ
 權ナキコトハ猶ホ國王ガ議員召集ノ令狀ヲビルケンヘツド
 及ヒステイリーブリッジニ發シ若クハ撰舉者ノ權限ヲ廣
 メ以テ人民代議ノ制度ヲ變更スルノ權ヲ有セザルガ如キ
 ノミト
 一代貴族ヲ非ナリトスルノ党ハ國王特權ノ有無ヲ論ズル
 ソ外ニ二代貴族ヲ上院ニ入ル、トキハ爲メニ危險ナル結
 果ヲ生ズルニ至ルコトヲ詳論シタリ曰ク此等ノ一代貴族ハ
 果シテ法律家ニノミ之ヲ與フルコトヲ必ス可キ乎若シト

タヒ此等ノ一代貴族ヲ造ルノ權ヲ是認スルトキハ時ノ宰
 相ガ上院ニ入ル、ヲ便利ナリト思惟スル人ハ其何人タル
 ヲ問ハズ之ニ一代貴族ノ爵ヲ與ルニ至ラザル乎國家ニ勳
 勞アリシニアラズ又別ニ國王ノ恩典ヲ受クベキ權アルニ
 非サル人々ニシテ唯宰相ノ推薦ニヨリテ其爵位ヲ受ケ而
 ノ此ノ如ク行政部ニテ造ラレ且容易ニ宰相ノ命ニ服従ス
 ル所ノ新貴族ノ爲メニ俄ニ世襲ノ貴族ヲ壓倒スルニ至ル
 コトナキ乎加之國王ハ今後全ク世襲貴族ヲ造ルコトヲ廢シ上
 院ヲシテ世襲貴族ノ集會所タラシメズシテ漸次ニ變シテ
 從屬ナル一代貴族ノ集會所タラシム可シトノ助言ヲ受ル
 ナキヲ保スベキ乎ト且又更ニ左ノ如キ巧辦ナル反對說ヲ
 立ル者アリキ其說ニ曰ク斯ク一代貴族ノ爵位ヲ新設シ卓

越ナル俊傑ノ國家ニ殊勳ヲ立ル者アルモ之ヲ賞スルニ世襲貴族ノ爵ヲ以テセスシテ一代貴族ノ爵ヲ以テスルニ於テ此等ノ俊傑ハ自己ト優劣ナキ人ノ嘗テ世襲貴族トナリテハ榮ヲ子孫ニ傳フルニモ拘ラス自己ハ其望ム所ノ世爵ヲ得ル能ハザル也此ノ如クニシテ一代貴族タルノ俊傑ハ世襲貴族ニ比スレバ劣等ノ位置ニ立テ議院ニ席ヲ占ムルコトナレハ此等ノ俊傑ハ世襲貴族ヲ稱スルニ我同列貴族ノ語ヲ以テスル能ハスシテ異種ノ尊稱ヲ用非ザルヲ得ズ故ニ之ヲシテ此ニ至ラシメタル新法即チ一代貴族ヲ造リテ俊傑ヲシテ其當サニ受ク可キノ榮譽ヲ受クサラシムルノ無用ノ變革ヲ非難スルニ至ルハ固ヨリ當然ノコト謂フ可シト

上院ノ決議

ウエンスリトデハル公ノ特許ヲ攻撃スル所ノ議論ハ右ニ述ブルガ如クナリ而シテ諸宰相ハ有力ニ此等ノ議論ニ抵抗シ國王ヨリ其旨ヲ命テ受ケザルニ於テハ上院ハ一議員ノ自院ニ出席シテ投票ヲ爲シ得ルヤ否ヤヲ判決スルノ權ヲ有スル者ニアラズトマテ論ズルニ至レリ然レモ終ニ決テ起立ニ取リシニ三十三名ノ多數ヲ以テ以上特許ノ當否ヲ特許委員ニ付スルコトナレリ委員ハ先例ヲ探究シ一層博涉且精巧ナル討論ヲ爲シ終ニ其意見ヲ報告シテ曰ク特許狀及ビ此特許狀ニ從テ發シタル召集狀ノ如キハ何レモ議院ニ出席シ且投票ヲ爲スノ權ヲ其拜受者ニ與ル者ニアラズト而シテ上院ハ委員ノ此說ヲ採用シタリ

此決議ニ同意セル世襲貴族中或ハ其祖先ガ一千七百十一

年ニ於テ蘇格蘭貴族ヲ上院ニ入ラシム可キ國王ノ權ヲ非認シ又一千七百十九年ニ於テ王權ノ制限ニ一層ノ廣キヲ加ヘシトテ主張シタルト同一ノ嫉惡ノ情ニ刺勵セラレシ者蓋シ多カリシナル可シ然レモ此決議ハ獨リ大法官以上ノ特許狀ハ大法官ノ助言ニ因テ發セシ者ナリテ除クノ外ハ兩政黨ノ法律家ノ共ニ贊助セシ所ニシテ爾後世人ハ一般ニ此決議ヲ以テ憲法ヲ實行スルノ正確ヲ得タル者ナリト認メタリ蓋シ久來ノ習慣ニ據テ制度ヲ定立シタル以上ハ國會ノ最高ノ立法權ヲ以テスルノ外ハ之ヲ變ズル能ハザラシムルハ安全ノ主權ナリト謂フ可シ故ニ女王ハ終ニ上院ノ決ニ從ハザルヲ得ザルニ至レリ而シテウェンズリトテール公ハ其後直チニ世襲貴族タルノ特許ヲ得テ上院ニ

一代貴族ノ疑問ノ更ニ起リ

席ヲ占ルコトナシリ
然レモ一代貴族ノ疑問ハ尙ホ前議ト共ニ終リテ告ズシテ上院ノ最高裁判權ノ實狀ヲ調査セシガ爲メニ選任セラレタル上院ノ委員ハ說ヲ立テ、曰ク五年間判事ノ職ヲ奉シタル者ノ中ヨリ二名ヲ撰ビテ之ニ一代貴族ノ爵ヲ授クルノ權ヲ法律ヲ以テ女王陛下ニ與フ可シ而シテ此二名ノ一代貴族ヲシテ大法官ト共ニ上訴ヲ聽カシメ又代理議長ノ職ヲ務メシム可シト委員ノ此意見ニ根據シテ立案セシ所ノ議案ハ上院ヲ通過シタリト雖モ下院ニ於テハ討議ヲ久ラセシ後終ニ破レタリ
上院ニ席ヲ有スル所ノ俗貴族ノ速ニ増加セシコト見ルトキハ俗貴族ガ僧貴族ニ對スル割合ニ往時ニ比シテ大ニ變

僧貴族

シタルコトヲ感ゼザルヲ得ザルナリ一千五百三十九年ヘン
 リト八世ガ寺院ヲ破滅セシ前ハ寺長及ビ庵長ノ如キモ僧
 正ト共ニ議員ニ出席シ僧貴族ノ數ハ俗貴族ノ數ニ超ヘタ
 リキ又僧貴族ハ最高ノ位格ヲ占メ學識藝能ニ富ミ重要ノ
 委任ト廣大ノ權カトナ行ヒシヲ以テ政治上ノ勢力ニ於テ
 モ其協同結合スル所ノ俗權ノ大貴族ニ比シテ劣ル所アラ
 ザリキ寺長及ビ庵長ヲ議院ヨリ除キタル後ト雖モ僧正ノ
 ミニシテ殆ト上院ノ三分ノ一ヲ成セリ然ルニ此時以來俗
 貴族ハ絶ヘズ増加シテ約ソ當時ニ八倍スルニ至リシト雖
 議院ニ席ヲ有スル所ノ英蘭ノ僧正ノ數ハ僅カニ三十一人
 ヲリ二十六人ニ増加セシニ止リテ一時ハ之ニ四名ノ愛爾
 蘭ノ僧正ヲ加ヘタルコトアリシノミ故ニ我立法院中ニ含ム

所ノ宗教上ノ元素ハ甚ダ微小ニシテ且軟弱ナルコトヲ見ル
 可シ往時ノ如ク宗教上ノ元素ハ上院ノ三分ノ一ヲ組成セ
 ズシテ今ヤ其十五分ノ一ニモ及バザルナリ又今後ト雖宗
 教上ノ元素ハ其勢力ヲ増加スベシトモ思ハレザルナリ而
 シ教會ニ急迫ノ必要アリシガ爲メニ議院ニ於テ新ニマシ
 ンテ^{チエスタ}トノ寺領ヲ與ス^トヲ許諾シタル時ト雖モ現存ノ數
 ノ外ニ一人タリト僧貴族ヲ増加セザラシメントニ注意セ
 リ蓋シ新僧正ヲシテ議院ニ席ヲ有スルヲ得セシムルノ主
 義ハ實ニ之ヲ許ルサマルニアラズト雖モ舊來ノ僧正ノ滅
 絶シテ其員減ゼシトキニアラサレバ新僧正ハ議院ニ出席
 スルノ特許ヲ得ルコト能ハザルナリ即チカンターブリ
 ー、ク、ロンドン、ダルハム、ウインチェスターノ寺領ニ屬スル所ノ

僧正ヲ除クノ外ハ最後ニ職ニ就キタル新僧正ハ他ニ欲位
 アル時マテハ國王ヨリ議院ニ出席スルヲ召集狀ヲ受ルコ
 能ハザルナリ斯ノ如ク一時新僧正ニ議院ノ席ヲ拒ムノ主
 義ハ當初ニ於テハ教會ニ於テ痛ク之ニ反對シタリト雖モ
 後ニ至リ此事ハ却テ利益ナキニテザルコトヲ發見シタリ何
 トナシハ斯ク一時議院ニ出席スル能ハザルカ爲メニ新任
 ノ僧正ハ間斷ナク寺領ノ事務ニ一身ヲ委スルヲ得ルソミ
 ナラズ又其最モ費用ニ堪ユルノ力ニ乏シキ時ニ當テ倫敦
 ニ滞在スルノ費用ヲ避クルヲ得レバナリ
 然ルニ僧正ノ數ノ寡少ニシテ其權力ノ微弱ナルコト此ノ如
 キニモ拘ラズ尙ホ僧正ノ議院ニ出席スルカ爲メニ往々之
 ヲ非トスルノ議論ヲ喚起スルコトアリ憶フニ斯ク僧正ノ議

上院ヨリ僧正
 ナ除カントセ
 シ

院ニ出席スルヲ非ナリトスル所以ノ者ハ幾分カハ僧正ノ
 國家ノ立法事務ニ與ルヲ非トスルノ理論ニ出ツ可シト雖
 モ多クハ「ニピスコパシ」宗派ヲ憎ムノ情ニ出ツル者ノ如
 シ蓋シ僧正ハ「プロスピテリアン」宗派ヲ奉スル所ノ蘇格蘭
 ニ於テハ嚴禁セラレ又往時英蘭ノ「ピユーリタン」宗派ノ爲
 メニ國會ヨリ驅逐セラレ又更ニ近時ニ至リ各派ノ非國教
 黨ノ爲メニ擯斥セラレ又自家教會ノ諸員ニ對シテモ十分
 ノ歡心ヲ博スルコト能ハズ又其威嚴盛大ニ過ギ外部ニ華麗
 ナキ裝フノ故ヲ以テ一般世人ノ嫉惡ヲ受ルガ故ニ僧正タル
 者ハ常ニ世人ノ非難ト偏心トニ對抗セザルヲ得ザルノ位
 置ニ居レリ又僧正ノ政治上ノ舉動ノ如キモ之ヲ概言スル
 所ハ公衆ノ愛ヲ得ズキ者ニアラザルナリ僧正ハ通常時ノ

政府ニ左袒シ最モ不人望ナル處置ト雖モ尙ホ之ヲ贊成シ
 常ニ權力ニ必シ傾テ宗教者タルヲ以テ變革ニ抗シ又其位
 置ニ於テ人民ヲ好遇スルヲ能ハザル者アルナリ故ニ往々
 僧正ヲ攻撃スルノ聲ヲ激起シ之ヲシテ光榮ノ位置ヲ失ハ
 シメント勉ムルコアルヲ見ルモ亦驚クニ足ラザルナリ
 一千八百三十四年僧正ヲシテ上院ノ立法上及ヒ裁判上ノ
 義務ヲ免ゼシメントノ議案ヲ下院ニ提出セントシタル者
 アリシト雖モ下院ハ一ニ對スルニ多數ヲ以テ此議案ヲ
 提出スルノ許可ヲ拒ミタリ又一千八百三十六年ニ於テ下
 院ハ僧正ノ議院ニ出席スルハ宗教ノ爲メニ有害ナリトノ
 議案更ニ一層ノ多數ヲ以テ非決セリ又其翌年下院ハ僧正
 ノ議院ニ出席スルトキハ國教之ガ爲メニ人民ノ愛ヲ失フ

僧正ニ利益アル事情

ニ至ルノ傾向アリトノ議案同一ノ氣勢ヲ以テ否決セリ此
 時以來ハ議院ニ於テ僧正ヲ攻撃スルノ議案ヲ出ダセ
 シトナク又議院外ニ於テモ僧正ノ議院ニ出席スルノ特許
 ナ有スルコトニ關シテ敵對ノ論難ヲ下ダセシトハ甚ダ稀シ
 ナリトス
 我貴重ス可キ憲法制度中ニ僧正ガ位置ヲ占ルコトハ從來各
 政治家及ビ各政黨ノ共ニ之ヲ可トセシ所ナリ且往時ニ於
 テハ世人國教ニ對シテ宗教上ノ怨恨心ヲ懷キ而シテ僧正
 ハ國教ノ最モ勢力アル代理者タルヲ以テ隨テ世ノ怨恨ヲ
 受ケサルヲ得ザリシト雖モ立法院ニ於テ羅馬舊教及ビ
 非國教黨ニ對シテ寛大ナル政畧ヲ施セシ以來ハ僧正ハ大
 ニ世ノ怨恨ヲ免ルヲ得タリ又過ル三十年間ニ於テ我國

教寺院に非常之熱心ト勵精トシテ其宗教上ノ勤務ニ從
 事セシメテ以テ其道德上ノ權勢大ニ人民中ニ擴張シ異教者
 ノ攻撃ノ勢力ヲ殺クテ得タリ故ニ國教寺院ノ勢力ヲ増加
 スルニ從ヒ僧正ノ位置ヲ鞏固ニスルコトヲ得ルナリ而シテ
 世襲相續ハ上院固有ノ性質ナルニ獨リ僧正ノミハ上院ノ
 成分ニテアリナガラ尙ホ世襲相續ノ例外ニ居ル者ニシテ
 此ノコトハ亦一利ナキニ非ストノ説ヲ爲ス者多シトスル
 以上畧叙セシ如ク上院ノ組織ニ於テ種々ノ變化ヲ受ケル
 ナリ以テ爲メニ上院ノ政治上ノ位置ト權勢トニ大ニ影響ス
 ルニ至レリ蓋シ古系ノ貴族ガ自家ト同一ノ特許ヲ有スル
 階級ノ絶ヘズ増加スルヲ見テ之ヲ惡ミシコトハ固ヨリ怪ム
 ニ足ラザルナリ何トナレハ其特許ヲ有スル者ノ益々増加

上院ノ政治上ノ位置

大ニ從ヒ古系ノ貴族ガ往時ニ有シタリシ特出ノ威嚴ハ
 漸次ニ其光輝ヲ失ハザルヲ得ザレバナリ又此等ノ貴族ガ
 社會ニ對スルノ光榮及ビ議院内ニ於テ各自投票ノ勢力ヲ
 如キモ國王ノ恩典ニ因テ自家ト同一ノ特許ヲ得ル者ノ増
 加スルニ從ヒ共ニ減ゼザルヲ得サレバナリ然レモ此等ノ
 結果ハ社會ノ疆界ヲ廣ムルト又一切ノ政治上ノ事ニ關シ
 テ政黨ノ力ノ行ハル、トノ故ヲ以テ豫期ス可キ程ノ甚ダ
 シキニハ至ラザルナリ
 上院ノ議員ノ數ノ増加セルガ爲メニ貴族各自ノ特許ハ減
 スルト雖モ政治ノ一局部トシテ上院全体ノ權力ハ之ガ爲
 メニ増加スルヤ疑フ可カラザルナリ試ミニ吾人ヲシテ貴
 族ノ嫉惡ノ爲メニ夫ノシニシ一世ノ時ニ於テ提出シタ

上院議員ノ増加スルニ從ヒ其全体ノ權勢ヲ増加スルコト

ル如キ制限ヲ國王ノ特權ニ加ヘ若クハ國王ガ特權ヲ行テ
 貴族ヲ造ルコト極メテ吝ニシテ「ハノ」（イギリス）家ノ君臨以來貴
 族ノ數ハ大ニ増加セシコトナカリシト想像セシメヨ果シテ
 然ラバ此ノ如ク寡少ノ員數ト閉拒ノ性質トチ有スル所ノ
 一階級ニシテ果シテ能ク立法上ニ十分ノ權勢ヲ占ルチ得
 ル上思惟ス可キ乎蓋シ變革ヲ忌ムハ閉拒シテ他人ヲ入レ
 ズル所ノ社團ニ固有スルノ性質ナルガ故ニ若シ以上ノ想
 像ノ如クナラシメバ貴族ハ傲然トシテ人民的ノ政局（按）下
 院ノ如キチノ勇敢日進ノ活氣ニ抵抗セシナルベシ加之貴族ハ
 現時廢滅ニ歸シタル惡ム可キ特權ヲモ維持セント勉メタ
 ルナル可シ故ニ貴族ハ勢ヒ下院出版輿論ニ抗セザルチ得
 ズシテ且其政局（按）上院ハ員數ニ制限アリテ不人望ナレバ

決シテ反對者ノ攻撃ニ當ルコト能ハサルベキナリ然ルニ議
 員ノ數絶ヘズ増加シテ其政局ノ組織廣且寛チ加ヘ又益々
 代理ノ性質チ有スルニ至リシガ故ニ幸ニシテ斯カル政治
 上ノ危險ヨリ上院チ救フチ得タリ而テ上院ハ人民ノ輿情
 ニ從フニ於テ下院ノ如ク速カナラザリシハ是レ貴族制度
 ノ精神ニ於テ宜シク然ルベキ所ニシテ理論上ニ於テ貴族制
 度チ政治ニ効用アリトスル所以ノ者亦實ニ茲ニアルナリ
 故ニ上院ハ往々一時ノ間ハ世ノ改進ノ政略チ牽制スルコ
 トナキニアラズト雖モ尙ホ下院ト同一ノ情誼ト勢力トニ支
 配セラル、ガ故ニ抗激ノ衝突アルニ至ラズシテ漸次ニ其
 守舊ノ說チ輿論ト協和セシムルニ至リタリ而シテ上院カ
 國家ノ福利ニ必要ナル處置チ有害ニ遲滯セシムルコト時ニ

上院ノ組織此
ノ如クナルハ
自由政体ノ發
達ニ適合セル
ト

之アリト雖モ其組織偉大ニシテ且協結シ又其議員中多クハ俊傑ノ士ニシテ討論ノ才ニ富ミ地方ニ對シテ大權ヲ有スルガ故ニ上院一體ノ勢力盛大ニシテ人民ノ喧囂ヲ以テ疎豪ニ之ヲ壓覆スルコト能ハザルナリ
下院ノ權力ノ増加シ出版ノ勢力ノ擴張スルト同時ニ上院ノ組織ノ斯ク大ニ增長セシコトハ我自由政体ノ發達ヲ安全ナラシムルニ於テ最モ必要ノ事ナリト思ハルハナリ蓋シ我自由政体中ニ於テハ民權ノ元素常ニ増進シテ止マザレハナリ又之ト同一ノ原因ニ由リ貴族ヲシテ益々王權ノ制束ヲ免レシムルノ傾向アリトス抑貴族ガ王權ノ爲メニ制束セラルハコトハ自然ノ勢ナリト雖モ其數ノ愈々増加シ其利害ノ益々分岐スルニ從ヒ有効ニ王權ヲ施行シテ貴族ヲ

政党ニ對スル
貴族ノ關係

制スルハ難キヲ加ヘザルヲ得ザルナリ況ンヤ一方ニ於テ國王ハ往時ノ如クニ土地官位年金等ヲ賜與シテ以テ貴族ノ情誼ヲ結ブコト能ハザルニ至リシヤ而シテ貴族中或ハ窮迫陋劣ナル者アリテ爲メニ其榮位ヲ汚スコトナキニアラズト雖モ多クハ領地ニ富ミ有名ノ系統ヲ有シ偉大ナル事業ヲ行ヒ博學ニシテ辯才ニ富ミ又社會ニ對シテ功德アル等ノ故ヲ以テ能ク威嚴ヲ保ツヲ得ルナリ
貴族院ノ組織ニ於テ以上論セシ所ノ變化ヲ更ニ貴族ノ政党ニ對スル關係上ヨリ觀察セザル可カラズ累代ノ諸宰相ガ貴族ヲ造ルニ於テ國家ニ對スル勳功ヲ賞スルコトノ外ニ其目的トスル所ハ自家ノ党友ニ恩典ヲ與ヘ議院内ニ於テ自家ノ党勢ヲ鞏固ニセントスルニ在リ故ニ上院ハ其政治

政党結合ノ時
ニ從ヒ全ク變
スルヲ

上ノ組織ニ於テ時々變更ヲ受ザルヲ得ザルナリ而シテ一
政党ニシテ久シク權力ヲ握ルトキハ此事殊トニ甚タシト
ス此ノ如キ場合ニ於テハ新貴族ヲ造ルコト多キガ爲メニ往
々政党ノ權衡ヲ覆ヘスニ至ルコトアリトス又佞令新貴族ヲ
造ルノ一事ノミテ以テ政党ノ權衡ヲ覆ヘスニ足ラストス
ルモ政治家ガ宰相ノ愛顧ヲ得ンガ爲メニ變説スル者アリ
テ之カ爲メニ大ニ政府党ニ多數ヲ得ルノ勢ヲ助クルコトア
リ此ノ如キコトハ宰相ノ權勢ノ盛赫ナルトキニ於テハ往々
現出スルノ結果ニシテ敢テ奇トスルニ足ラザルナリ又僧
正ノ如キモ自家ニ職位ヲ授ケシ所ノ政党ヲ贊助スルノ決
テ爲スヲ常トセリ左レバ夫ノシヨコトシ三世即位セシノ初
メ民權党ノ大家ガ殆ント五十年間其權力ヲ保持セシ時ニ

宰相カ自党ノ
人ヲ上院ニ舉
クルカ爲メニ
上下兩院ノ間
ニ激争ヲ發ス
ルノ危険アル
ヲ

當テ上院ノ重モニ民權党ヨリ成リシ者ハ則チ之ガ爲メナ
リウヰリアム四世ノ即位シ彼ノビニート公カ開始シノルス公
ガ助長シピット氏カ固定セシ所ノ王權主義ガ五十年以上
ノ間勢力ヲ占ムルニ當テ上院ノ重モニ王權党ヨリ成リシ
者ハ亦之カ爲メナリ
以上ノ如キ場合ニ於テ宰相ハ上院ニ在テハ確然多數ヲ制
スルヲ得タリト雖モ下院ニ於テ多數ヲ占ル所ノ反對党ノ
爲メニ壓倒セラル、コトアルキハ勢ヒ兩院ノ間ニ激争ヲ發
スルノ危険アルコト明ナリトス而シテ下院ニ於テハ解散ヲ
命ズルキハ爲メニ俄ニ其政治上ノ姿ヲ一變シ權力ヲ一党
ヨリ奪ヒテ之ヲ他党ニ移スコトヲ得ベシト雖モ上院ノ政治
上ノ組織ヲ變ゼンニハ五六年ノ歲月ヲ要ス可キナリ彼ノ

議院改革條例ノ施行後民權党ガ内閣ニ立チシ時ニ當リ上院ニ於テ自党ノ爲メニ多數ヲ得ルハ極メテ困難ノ事ナリシ也蓋シ貴族ガ守舊ノ情ヲ有スルハ勢ノ然ラシムル所ニシテ高齡積財情緣ノ爲メニ守舊ノ情ハ愈々強キヲ加ヘザルヲ得ズ左レハ最モ熱心ナル民權家ト雖モ一トクビ上院ニ登ルトキハ遲疑因循ニシテ且沈鬱ナル人トナリ或ハ缺席ヲ爲シ或ハ自家ノ党派ニ抗スルヲ往々ニ之アルヲ見ルナリ最早下院ニ在リシ時ノ如ク其投票ヲ爲スニ於テ自家ノ選舉人ニ責ヲ負フニアラズ又代議院ノ改進黨主義ノ交際ヲ離ル、ガ故ニ漸次ニ政治上ノ節義ヲ放棄シ假令従前ノ習慣ノ爲メ若クハ主義ノ變ゼサルヲ裝ハンガ爲メニ依然トシテ従前ト同一ノ党中ニ坐テ占メ若クハ中立党ノ間ニ坐

往時ニ於テハ國王ノ權力ヲ以テ上下兩院ノ激争ヲ和ラクルヲ得シ

チ占ルモ既ニ其子ニ至テハ恐クハ公然トシテ反對党ノ一員トナル可キナリ故ニ政党ノ親和ハ恩典ヲ施シテ之ヲ支持セサルモハ大ニ其力ヲ失ヒ容易ニ破ル、ニ至ルヲアリタリ

往時國王ノ權力盛大ニシテ能ク國家ノ政略ヲ支配シ下院ノ議員ハ多クハ貴族間接ノ薦舉ニ出デシ時ニ在テハ佞令ヒ兩院ノ激争ハ全ク之ヲ避クルヲ得ズトスルモ其發セシ後ニ至リ容易ニ之ヲ和順ニ歸セシムルヲ得タルナリ尤モ特權ノ事ニ關シテハ兩院ノ間ニ爭論ヲ生ゼシト屢々之アリテ下院ニ於テ公金ヲ供給シ租稅ヲ徵課スルノ特權ヲ確立スルトニ關シテモ久シキニ亘リタル爭論ナキニアラザリキ一千六百七十五年ニ於テ兩院ハ上院ノ最高裁判權ノ

事ニ關シテ激烈ナル爭論ヲ爲シ又一千百四年ニ於テモ兩院ハ選舉ニ關スル下院ノ裁判權ノ事ニ就テ激爭ヲ爲シ又一千七百七十年ニ於テ兩院ハ他人ノ議場ニ入り傍聽スルヲ拒ムトニ關シテ激烈ノ爭論ヲ爲セリ然レモ國家政署上ノ事ニ關シテハ兩院ノ相爭ヒシハ甚ダ稀レニシテ且緊要ノ事ニアラザリキヨ一三世ハ聯立内閣ヲ破壊センガ爲メニ上院ヲシテフックス氏ノ印度條例案ヲ破棄セシメントシテ公然上院ヲ下院ト爭ハシムルニ至リシト雖モ王ガ議院ヲ解散シテ下院内ニ於テ自党ノ爲メニ多數ヲ制スルニ及ビ速ニ兩院ノ間ニ協和ヲ復スルヲ得タリ更ニ近時ニ至リ上院ハ下院ノ可決セシ所ノ羅馬舊教黨ニ政權ヲ與フルノ事及ビ刑法改正ノ事ニ抗シタリ而シテ數年ノ間ハ下

上院ニ於テ一千八百三十一年ノ議院改革條例案ヲ廢棄セシ

院ニ於テモ人民ニ於テモ強ヒテ此等ノ處置ヲ實行セントスル程ノ熱心ナカリシト雖モ終ニ輿論ノ抗ス可カラザルニ至ルニ及ビ上院ハ今尙ホ自カラ非ナリトスル所ノ議ニ一致シテ以テ下院ト爭論ヲ開クトテ避ケタリ爾後下院ニ於テ益々憚ル所ナク輿論ヲ公表スルニ至リシヲ以テ兩院ノ間ニ激爭ヲ生ズルノ危險ハ大ニ増加セリ蓋シ下院ノ權力ハ直接ニ人民ヨリ生ズル所ニシテ愈々増加セシト雖モ往時ニ於テ下院ト上院トノ間ニ協和ヲ保タシメシ所ノ王權ハ反テ減ズルニ至リタレバナリ

一千八百三十一年及ビ同三十二年ニ於テ人民ノ撰舉區域ヲ擴張スルノ議案ヨリ生ゼシ所ノ記憶ス可キ事件ニ於テ上院ノ權力ハ激烈ノ攻撃ヲ受ケ加之其制度ヲ危殆ナラシ

メントスルニ至レリ貴重ナル此上院ニシテ此ノ如キ危殆ノ狀ニ陥リシコハクロムウヅルノ時以來未ダ曾テ之アラザルナリ蓋シ此時民權党ノ内閣ハ議院解散ノ手段ニ因リ下院内ニ於テハ自党ノ第二回ノ議院改革條例案ニ多數ノ賛成ヲ得タリト雖モ若シ反對党ニ在テ其勢力ヲ張ルニ於テハ上院ニテ此議案ヲ廢棄スルニ至ルコハ豫メ必ス可キナリ何トナレバ七十年ノ久キ常ニ王權党ヨリ上院議員ヲ補充セシテ以テ上院ハ議院改革條例案ニ反對スルノミナラス又齊シク民權党ノ内閣ニモ反對スルモノナレハナリ然ルニ人民ガ前回ノ議員選舉ニ於テ此改革議案ヲ可トスルノ判斷ヲ下シタルハ（按）民權党ハ改革案ヲ行ハントシ王權党ノ撰舉ニ多ク民權党ノ議員ニ投票シタルハ人民數月前案ヲ可トシタルコト見ルベシ故ニ之ヲ可トスルノ判斷ヲ下

セシト云 僅ニ數月前ニ在テ未ダ其心ヲ變ゼザル所ナルヲフナリ 以テ今ヤ上院ト下院トノ二者ニ於テ何レカ勝ヲ制ス可キ乎ハ一ノ疑問トナレリ而シテ此疑問ニ對スルノ答辨ハ殆ト定マレル者ナリト云ハザル可カラス蓋シ憤興セル人民ハ此大事件ノ爲メニ激シ加フルニ勇敢ニシテ熱心ナル首領ノ鼓舞ヲ受ルガ故ニ決シテ孤立スル所ノ一上院ニ服ス可シトハ思ハレザルナリ國王ノ宰相下院人民ハ皆此改革議案ノ可決セラレシコト願ヘリ勢此ノ如シ上院ハ能ク此議案ヲ廢棄スルコト肯ヘンズ可キ乎若シ夫レ上院ニ人ノ民ノ激動ニ從フニ於テハ上院ノ意見ハ壓覆セラレ其獨立ノ判斷ハ破壞セラレザルヲ得ズト雖モ爲メニ國家ノ危険ヲ避クルコトヲ得ヘシ若シ之ニ反シテ上院ニ於テ人民ノ激

動ヲ冒シ敢テ其烈勢ニ抗スルアルモ尙ホ國王ノ特權ヲ以
 テ上院ヲ壓倒スルヲ得ベキナリ
 此議案ノ未ダ第二讀會ニ達セザル前ニ既ニ十六名ノ新貴
 族ヲ造リ以テ上院ニ於テ兩政黨ノ著シク不平均ナルヲ幾
 分カ矯正セントセリ然レモ尙ホ多數ノ議員ハ議案ノ反對
 党ナルヲハ固ヨリ明ナリトス故ニ宰相ハ必ズ議案ヲ可決
 セシメンガ爲メニ更ニ新貴族ヲ造ラントテ計畫シタリト
 雖モ此目的ヲ達センガ爲メニハ非常ニ多數ノ貴族ヲ造ラ
 ザルヲ得ザルノミナラス此ノ如キノ處置ハ極テ粗暴ノ處
 置ト云ハザル可ラズ且ヤ貴族中多クハ世ノ風潮ニ從テ此
 議案ニ一致スルニ至ル可シトノ望ナキニアラザリキ故ニ
 諸相ハ此等ノ事ヲ思ヒシガ故ニ未ダ權力ヲ得可キ最後ノ

策即チ新貴族ヲ造ルヲ國王ニ助言スルニ至ラザリキ然
 ルニ其結果タルヤ甚ダ奇異ノ狀ヲ呈シタリ蓋シ貴族ハ狐
 疑シ猶豫シ躊躇セリ而シテ貴族中多クハ恐懼ノ情ニ制セ
 ラレ又ハ遠慮機擘公共心ニ刺勵セラレテ終ニ可否ノ投票
 ヲ爲サ、リキ然ルニ僧正ハ貴族ノ如ク此事ニ驚愕セザリ
 シカ又ハ十分ニ當時ノ危急ノ狀ヲ感ゼザリシカ此時却テ
 非常ノ勢力ヲ張テ出席シ而シテ此時出席シタル二十二名
 ノ僧正中二十一名ハ悉ク議案ニ反對スルノ決ヲ爲セリ若
 シ僧正ニシテ宰相ノ党ヲ贊助シタランニハ議案ハ廢棄セ
 ラル、ニ至ラザリシナル可シト雖モ今ヤ僧正ノ議案ニ抗
 シタルガ爲メニ可否ノ權衡ヲ覆ヘシ(ク)ノ一公ハ僧正ガ可
 否ノ權衡ヲ覆ヘスニ至ルアラントテ豫メ僧正ニ告ゲシガ

下院ニ於テ宰相ヲ贊助セシ

一千八百三十一年及び二十年ノ議院改革條例案

果シテ茲ニ至レリ(四十一名ノ多數ヲ以テ議案ハ廢棄セラレタリ)

下院ハ直ニ宰相ニ信任ヲ置ク旨ノ決ヲ爲シ以テ宰相ヲ贊助シタリ是ニ至リテ人民ハ益々憤興シ又改革議案ノ主唱者ハ飽クマテモ上院ノ抵抗ニ當リテ勝ヲ制セント決心セリ

政府ハ議院ニ延會ヲ命ジタリ是レ他ナシ再ビ改革條例ヲ提出スルヲ得セシメンガ爲メナルノミ而シテ此議案ヲ提出スルニ及び下院ニ於テハ大ニ善遇ヲ受ケ前回ヨリモ更ニ多數ヲ制スルヲ得タリ故ニ今ヤ兩院ノ爭論ハ更ニ一層ノ激烈ヲ加ヘタリ而シテ上院ヲ覆壓スヘシ(按新貴族ヲ造倒スベシトノ一語ハ民間ノ通語トナリタリト雖モ今回ハ

一貴族ヲモ造ルヲナカリキ然レモ此議案ノ第二讀會ヲ開クニ及ビグレ^一公ハ新貴族ヲ造ル如キ手段ニ出ヅルヲ好マザルヲ公言スルト同時ニ若シ止ムヲ得ザレハ此手段ニ出ルモ決シテ不可ナラザルヲ辨ミタリ而シテ人民ノ激騒ノ甚ダシカリシガ爲メニ上院多數議員ノ勇ヲ挫キ之ヲシテ震駭セシメタリ夫ノ兩端議員ト稱セラレタル諸議員ノ如キモ今回ハ概テ出席セシナシ以テ議案ノ通過スルト否トハ一ニ此等ノ議員ノ投票ノ如何ニ係ル所トナレリ而テ前回ニ出席セザリシ議員中或ル者(此中ニ五人ノ僧正ヲモ含メリ)ハ議案ヲ可トスノル決ヲ爲セリ又前回ノ議案ヲ不可トスルノ決ヲ爲セシ議員中或ハ今回ノ議案ニ關シテ可否ノ決ヲ爲サズリシ者アリ又現ニ前回ノ議案ニ反對セ

人民ノ激騒

シ所ノ十七名ノ議員ハ今回ノ議案ヲ可トスルノ決ヲ爲セ
 リ故ニ此等ノ事情ノ爲メニ今回ノ議案ハ九人ノ多數ヲ以
 テ第二讀會ヲ通過スルヲ得タリ
 然レモ此議案ヲシテ更ニ第三讀會ヲ通過セシムルノ極テ
 難キコトハ宰相及ビ人民ノ能ク知ル所ナルヲ以テ宰相ハ自
 カラ好マザルノミナラズ却テ私カニ懼ル、所ノ手段ニ出
 テ止ムヲ得ズシテ新貴族ヲ造ラザル可カラザルノ必要ア
 ルコトヲ計畫スルニ際シテ民間上院ヲ覆壓セザル可カラズ
 トノ聲ハ益々喧囂ヲ極ムルニ至レリ而シテ粗暴ニシテ責
 任ナキ政治家輩ハ濫リニ人民ノ喧囂ヲ煽動シタリト雖モ
 國家ヲシテ平和ニ此危急ヲ經過セシムルノ任ニ當ル所ノ
 憲法ヲ重ズル政治家ニ在テハ事情止ムヲ得ザルノ急ニ迫

ルニ非レバ容易ニ施ス可カラザル所ノ一ノ處置按新貴族ヲ造ルヲ
 云ニ出ルコトヲ深ク重シタリブルハム公公ハ蓋シ此等
 ノ事件ニ關係セル政治家中ノ最モ勇敢ナル人タルニモ拘
 ラスハ此事件ニ關シテ自家ノ所見ヲ述ベテ曰ク余ハグロ
 ー公ト共ニ「ウイングール」ノ王宮ニ拜候セシ時八十名ノ新貴
 族ノ名簿ヲ見タリ此等ノ八十名ノ人々ハ成ル可ク我上院
 議員ノ數及ビ貴族ノ數ヲ永久ニ増加スルコトナカラシメン
 トノ主意ヲ以テ選ビタル者ニシテ即チ貴族ノ長子若クハ
 後嗣タルベキ親族ナキ人々又ハ蘇格蘭及ビ愛爾蘭ノ貴族
 等ヲ選ビテ之ヲ新貴族トナシタル者ナリ余ハ吾人が今際
 會スル所ノ事情ノ極テ急ニシテ此處置ニ出ルノ必要ナル
 コトハ十分ニ之ヲ知ルナリ然レモ余ハ此事ノ恐ル可キ結果

宰相新貴族ヲ造ルヲ國王ニ助言スル

ヲ生ズルヲ深ク憂フルガ故ニ我憲法ヲ顛覆ノ危険ニ頻セシメシヨリハ寧ロ議案廢棄ノ爲メニ生ズル所ノ狂騒ノ忍ビ易キニ如カザル可キ乎トノ疑ナキヲ得ザルナリト
委員會ニ於テ議案ノ討議ニ着手スルヤ諸相ハ俄ニ自家ノ党ノ三十五名ノ少數トナリシヲ發見セリ故ニ若シ新貴族ヲ造ルトセシハ之ヲ爲ス實ニ此時ニアリトス是ヲ以テ内閣諸相ハ可否ノ權衡ヲ一轉シテ議案ニ多數ノ賛成ヲ得ンガ爲メニ十分ノ新貴族ヲ造ルヲ王ニ助言セン
ヲ異議ナク決議セリ而シテ万一王ノ此事ヲ拒ムトキハ諸相ハ自カラ職ヲ辭ス可シト決心セリ然ルニ王ハ果シテ之ヲ拒ミシヲ以テ諸相ハ直ニ辭表ヲ出シタリシニ王ハ其請ヒヲ許ルセリ是ニ於テウヱリントン公ハ一層穩當ナル改革

說ヲ執ル所ノ人ヲ舉ゲテ新内閣ヲ組織セント試ミタリト雖モ其事成ラズシテ下院及ビ人民ハ前宰相ヲ贊助シテ毫モ動カス可カラザリシヲ以テ最早上院ハ甘從スルカ然ラズンバ強壓セラル、平ノ外ナキニ至レリ而シテ王ハ止ムヲ得ズシテ一旦書ヲ以テ必要ノ新貴族ヲ造ルヲ認可スル旨ヲ通シタリト雖モ其後王ハ此ノ如ク其特權ヲ害川スルヲ忌ミシヲ以テ一身上ノ權勢ニ由リ貴族ヲシテ此議案ニ反對スルナカラシメント勉メタリシニ王ノ計畫能ク其効ヲ奏シタリ即チ反對貴族ノ多クハ王ノ説諭ニ服シテ議場ニ出席セザリシヲ以テ記臆ス可キ此改革議案ハ速ニ第二議會後ノ諸段ヲ通過スルヲ得タリ故ニ公然國王ノ特權ヲ施行セシニアラズト雖モ王權ヲ以テ上院ガ敢テ民

意ニ抵抗スルノ危険ヲ避クルヲ得シハ恰モ公然王ノ特
權ヲ施行シタル時ト異ナラザルナリ又上院ニ於テモ一時
ハ侮慢セラレテ其權勢ヲ毀害セラレタリト雖モ一撃ノ下
ニ其威嚴及ビ獨立ヲ破壞セラル、ノ危難ヲ免ル、ヲ得タ
リ

此時貴族ヲ造ラントセシ事ノ如ク憲法上ニ緊要ナル疑問
ハ我歴史中他ニ之アラザルナリ貴族及ビ王權党ハ此事ヲ
聞キテ戰慄セリウヰリントン公ノ演說ニ曰ク若シ國王輔佐
ノ宰相ニシテ此ノ如キ策ヲ實行シテ尙ホ無罪タルヲ得ハ
上院ノ制度及ビ我國ノ憲法ハ實ニ廢滅セリト云ハザル可
カラズ我貴族諸公ヨ余ハ諸公ニ問ハン若シ宰相ガ上院ノ
各疑問ヲ左右センカ爲メニ憲法ニ背違シテ王權ヲ施行セ

新貴族ヲ造ル
トニ關シテウヰ
リントン公ノ
說

ンコチ國王ニ助言スルモ尙ホ無罪タルヲ得ハ我上院ノ討
論ノ權及ビ討論ノ効用ハ爲メニ全ク湮滅シ又適正ナル判
斷ヲ下スノ方便ハ爲メニ悉ク廢損スルニ至ルハ必然ノ事
ニシテ斯ク賂易キノ事ヲモ見ル能ハザル程ノ盲目者流ア
ルヤ否ヤ我貴族諸公ニ余ノ見ル所ヲ以テスレハ新貴族ヲ
造ルノ處置ヲ實行セント威迫スルガ爲メニ若シ我貴族ヲ
シテ上院ヲ缺席セシムルニ至ルカ又ハ其他ノ舉動ヲ執ラ
シムルニ至ルコアラハ此事ハ則チ甚ダ有害ノ事ニシテ新
貴族ヲ造ルノ處置ヲ實行シタルト敢テ異ナラザルナリ何
トナレバ諸公ニ此事ハ我上院カ此ノ如キ決ヲ與フルヲ欲
セザル所ノ疑問ニ關シテ強迫ノ手段ヲ以テ敢テ其決ヲ動
カス者ナレバナリト

新貴族ヲ造ル
トニ關シテ
レノ公ノ説

然ルニクレノ公ハ巧ミニウヰリント公ノ説ニ答ヘタリク
レノ公ノ演説ニ曰ク余ハ諸公ニ問ハン吾人若シ此ノ如キ
特權ハ王ニ存セザル者ナリトナシ若クハ憲法上ニ於テ施
行ス可ラザル者ナリトナストキハ其結果タル果シテ如何
ゾヤ夫レ下院ハ非常ノ場合ニ際會セハ租税ノ供給ヲ拒ム
ノ特權アリ故ニ能ク王權ヲ制スルヲ得ルナリ又國王ハ下
院ヲ解散セシムルノ特權アリ故ニ能ク下院ノ放縱粗暴ノ
處置ニ出ルヲ制スルヲ得ルナリ然ルニ獨リ上院ニ至テハ
隨意ニ國王及ビ人民ノ公表セラレタル冀望ニ反對スルノ
權ヲ有シ而シテ他ニ其權ヲ制スル方便ナキ者トセン歟若
シ然ランニハ我國ハ全ク無制限ナル貴族政治ノ權勢ニ服
セザルヲ得ザルナリ余ハ憶フ若シ上院ノ多數党ハ國王及

新貴族ヲ造ル
トノ上院ニ於
ケルハ議院解
散ノ下院ニ於
ケルト同一ナ
ル

ビ下院ニ抵抗スルノ權力ヲ有シテ此權力ヲ實行セント決
心スルモ尙ホ其權力ヲ控制スルヲ得ザルニ於テハ嗚呼諸
公ヨ我國ノ政体ハ最早有限王政即チ國王上院下院ノ協同
政治ニアラズシテ獨リ獨立ノ寡人政府タル上院ニ於テ無
限ニ他ヲ制御スルニ至ル可シト意フナリト
議院ヲ解散スルト云フモ此事ハ單ニ下院ノミニ關スル所
ニシテ他ニ及バザル者タルコトハ之ヲ忘ル可カラザルナリ
蓋シ議員ヲ解散スルモ上院議員ハ敢テ其影響ヲ蒙ルニア
ラズシテ少數ノ蘇格蘭ノ代議貴族ヲ除ク外ハ上院ノ組
織上ニ毫モ變化ヲ生ズルモノニアラザルナリ故ニ解散ヲ
命シテ下院ノ議員ヲ一新スルヲ得ルト同一手段トシテ上
院ニ關シテ憲法ノ定ル所ハ唯非常ノ場合ニ會シテ國王ノ

特權ヲ以テ新貴族ヲ造ルノ一法アルノミ此ノ一法ヲ除ク
 外ハ他ニ上院ノ説ヲシテ人民ノ説ト一致セシムルノ方
 法アルナキナリ通常ノ時ニ在テハ漸次ニ新貴族ヲ造リテ
 以テ徐々ニ上院ノ説ヲ在官党ノ説ニ一致セシムルヲ得可
 シト雖モ若シ一朝激争ノ起ルコアリテ上院ニ權力ヲ占ル
 所ノ政黨ト下院及ビ人民ノ多數黨ト互ニ其意見ヲ異ニス
 ルニ於テハ上院ハ輿論ノ冀望ニ甘從スルカ若クハ一層急
 激ナル處置ヲ受ルノ危險ヲ冒サルヲ得サルナリ而シテ
 重大ニシテ且急迫ノ場合ニ非ザレハ此ノ如キ處置ニ出ル
 ハ各政黨政治家ノ共ニ之ヲ非トスル所ナリト雖モ苟モ事
 情ニ於テ之ヲ必要トスル如キ時ニ在テハ此ノ如キ處置ニ
 出ルモ之ヲ憲法ニ背違セリト云フ可カラザルナリ

議員改革條例
 ノ制定後上院
 ノ有様

此ノ如キ隱然タル強迫手段ノ爲メニ上院ノ正當ノ權力ヲ
 毀害シ如何ナル宰相タルヲ問ハズ若シ人民ノ愛ヲ博シ下
 院多數ノ贊助ヲ得ルニ於テハ隨意ニ上院ノ獨立ヲ破壊シ
 得ルニ至ラントシ憂ル者アリ其説ニ曰ク上院ハ今ヤ時ト
 シテハ無効ノ辯難ヲ爲シ時トシテハ微弱ナル修整ヲ加ル
 コアル可シト雖モ其主トスル所ハ唯下院ノ命令ヲ記録ス
 ルノ一卑職ニ止ル可シ上院ハ其會テ立法上ニ占メ來リシ
 所ノ高位ヨリ擯斥セラレ其昔時有セシ所ノ光榮ハ地ヲ掃
 テ消散セリト然レニ之ヲ爾後ノ事實ニ照ラスニ幸ニシテ
 此豫言ノ當ラザルコトヲ証ス可キナリ蓋シ上院ガ義ニ議院
 改革案ニ抵抗セシハ其位置ノ然ラシムル所ニシテ最早之
 ニ抵抗スル能ハザルニ至テ終ニ之ニ服從セリ若シ上院ニ

上院ノ獨立ナル

シテ強ヒテ之ヲ争フコトナク自ラ讓リテ早ク民權ニ服從セシナランニハ人民勝利ノ幾分ノ配當ニ與カルヲ得シナル可シ又下院ノ如キモ往時屢々國王ノ權力若クハ人民ノ輿論ニ抗シテ取テ取リヨリ然レモ下院ノ永久ノ權力ハ毫モ爲メニ毀損セララル、所アラザリキ上院ニ於ケルモ亦此ノ如キノミ蓋シ下院ハ解散ノ爲メニ壓服セララル、アル可ク上院ハ新貴族ヲ造ラントノ恐嚇ノ爲メニ壓服セララル、アル可ク又國王ハ租稅供給拒絕ノ爲メニ壓服セララル、アル可シ然リ而シテ若シ憲法ノ規定ニ從テ民意ヲ公表スルハ以上ノ三者齊シク之ニ服從セザルヲ得ザルナリ爾後上院ノ歴史ヲ見ルトキハ一千八百三十二年ノ議院改革條例制定後ト雖モ其權力ノ毫モ減ゼザリシヲ証ス可

キナリ此ノ條例ノ爲メニ下院ノ權力ヲ増加セシコトハ固ニリ疑フ可カラズト雖モ之ガ爲メニ上院ハ其判斷ノ獨立ヲ減シ若クハ其立法ノ自由ヲ減シタルノ實ヲ呈セシニアラザルナリ從來上院ハ法律ヲ起案シ國家ノ政畧ヲ左右スルヲ主トセズシテ重モニ下院ヨリ回付スル所ノ議案ヲ管理修整スル事ニ從事セリ而シテ改革條例制定後ト雖モ上院ガ自由ニ此職務ヲ行フコトハ毫モ往時ト異ナラザルナリ一千八百三十五年及ビ同三十六年ニ於テ下院ハ愛爾蘭ノ十分一稅ノ疑問ヲ定メシニハ同國寺院ノ剩餘歲入ヲ議院ニテ處分スルノ主議ヲ行フノ最モ必要ナルコトヲ論シタリ當時ノ諸相ハ此主義ヲ固執セルガ爲メニ内閣ニ入ルヲ得シ者ナリト雖モ上院ハ斷然此主義ニ反對シ終ニ下院及ビ諸

和テシテ其説ヲ擲棄セザルヲ得ザラシメタリ又上院ハ英
 蘭城市改正條例案ヲ修整スルニ於テ其獨立ノ判斷ヲ行ヒ
 下院ヲシテ止ムヲ得ズ其修整ニ一致セザルヲ得ザラシメ
 タリ又愛爾蘭ノ城市ヲ改正スル議案ニ關シテモ上院ハ同
 一ノ自由ヲ行ヒ四期ノ國會ノ間上院ハ續テ下院ニ於テ主
 張スル所ノ立法上ノ主義ト全ク兩立スル能ハザル修整説
 ヲ固守セシテ以テ終ニ此議案ヲ廢棄セシメ下院ヲシテ自
 院ノ説ニ反スル所ノ修整説ニ一致セザルヲ得ザラシメタ
 リ又「ジュ」人ノ政權剝奪ヲ免ズルノ議案ハ下院及ビ人民ノ
 定説ニ於テ可トスル所ナリシト雖モ上院ハ數年間之ニ抵
 抗シ終ニ信仰自由ノ主唱者ヲシテ不満足ナル商議ニ一致
 セザルヲ得ザラシメタリ然レモ上院ノ獨立ナルヲ証ス

可キ以上ノ實例ノ如キハ之ヲ一千八百六十年ノ上院ノ處
 置ニ比スレハ殆ド云フニ足ラザルナリ即チ此年上院ハ其
 權限ヲ超ヘテ租稅ノ部内ニ侵入シ下院カ該年度ノ財政經
 理法ノ一部トシテ議決セシ所ノ紙稅廢止ノ議案ヲ否決シ
 タリ上院ノ此決議ヨリ生ゼシ所ノ特權ノ事ニ關スル爭論
 ハ後篇ニ至テ之ヲ論ス可キガ故ニ茲ニ於テハ從來下院ガ
 公金給與及ビ租稅ノ徵課ニ關スル自家ノ特權ヲ最モ愛護
 シ又上院ニ於テモ下院ノ此特權ヲ貴重シテ敢テ之ヲ犯サ
 バリシトノ一事ヲ記シ置クヲ以テ足レリトス可シ然ルニ
 此時ニ於テハ上院ハ下院中ニ於テ強固ナル贊成者ヲ得タ
 ルト輿論ノ沈衰シテ敢テ此事ニ注意セザリシト勢力アル
 新聞紙ノ助勢ヲ得タルト當時政黨ノ有様ノ上院ニ利益ア

リシトノ故ヲ以テ孤立シテ政府及ビ下院ヲ挑ミタリ蓋シ
 此事ヲシテ往時ニ起ラシメバ上院ハ必ズ下院ノ怨恨ト復
 仇トテ受ザルヲ得ザリシナラント雖モ此時上院ハ正當ニ
 自家ノ權力ノ多少ヲ測算シ下院ニ於テ敢テ復仇ヲ行フヲ
 爲ササルノ理由ヲ察知セシガ故ニ終ニ財政上ノ疑問ニ關
 シテ諸相及ヒ下院ヲ壓倒シ自家ノ一ノ決議ヲ以テ從前ノ
 如ク人民ニ重大ノ負擔ヲ課スルコトヲシタリ一千八百三
 十二年ニ於テ最モ熱心ニ上院ノ獨立ヲ保護セシ人ト雖モ
 當時ニ在テ此ノ如キ冒險ノ處置ヲ試ミシコトヲ助言セザリ
 シナル可シ況ンヤ議院改革條例ノ制定後僅カニ三十年後
 ノ時ニ於テ斯カル處置ノ實際ニ奏功スルヲ見シコトハ決シ
 テ此等ノ人々ノ前見セザリシ所ナラン

之ヲ要スルニ上院ハ一千八百三十二年ニ於テハ其保持ス
 ベカラザル不當ノ本據ヲ失ヒシト雖モ爾來ハ立法上ノ事
 ニ關シテ常ニ適當ノ獨立ト威力トヲ維持スルヲ得シナリ
 グレンザル公曾テ云ヘルアリ曰ク我貴族諸公ニ卿等ハ權
 カヲ有スル者ナリ偉大ノ權力ヲ有スル者ナリ是レ國家ニ
 利アルノ事ナリ然レモ卿等カ有シ得ザルノ一權力アリ卿
 等ガ此權力ヲ有セザルハ下院ガ之ヲ有セサルニ同ジキナ
 リ我國ノ國王ガ之ヲ有セザルニ同ジキナリ余ハ重テ之
 テ云ハン卿等ガ此權力ヲ有セザルハ或ル文明諸國ノ擅制
 君主ガ之ヲ有セザルニ同ジキナリ即チ卿等ハ適當ニ憲法
 ノ規定ニ從テ公表セラレタル民意ヲ抑制スルノ權力ヲ有
 セザルナリト蓋シ簡ニシテ要ヲ得タルノ語ナリト云フヘ

上院ノ位置ノ
便益アルコ

シ
上院ハ立法院トシテ輿論ノ方針ト勢力トヲ察スルニ於テ
大ニ便益ノ位置ヲ占ル者ト云フ可シ何トナレバ上院ニ於
テ諸議案ヲ議セザル可カラザルニ至ル前ニ此等ノ諸議案
ハ殆ト皆民間及ビ下院ニ於テ討議セラレザルハアラザレ
バナリ故ニ上院ハ此間ニ於テ議案ノ効能其缺點及ビ其議
案ノ人民ノ輿論ニ適スルヤ否ヤヲ判スルヲ得ルナリ若シ
夫レ人民ニ於テ其議案ノ効能ヲ敢テ意トセザラン歟然ル
ルハ上院ハ全ク之ヲ廢棄シテ危險ナキナリ若シ又其議案
ノ主義人民ノ輿論ニ適シテ之ヲ廢棄スル能ハザラン歟尙
ホ上院ハ之ニ修整ヲ加ヘ以テ其主義ヲ制限シ若クハ之ヲ
控勒スルモ敢テ爲メニ輿論ニ衝擊ヲ與ルノ患アラザル可

キナリ

又之ト同時ニ上院ハ其討論ヲ以テ大ニ世人ニ感動ヲ與ル
イテ得ルナリ蓋シ上院ハ下院ニ於テ起案シタル議案ヲ批
判スル所ノ一ノ法院ノ如キ者ナルガ故ニ世ノ討議辨論中
ヨリ最良ノ議論ヲ撰取シ以テ最モ有効ニ世ノ識者ニ訴ル
ヲ得レバナリ況ンヤ上院議員中ニハ常ニ當代第一位ノ辨
論家ナキニ非ザルナヤ

議員ノ缺席ス
ル者多キカ爲
メニ上院ノ權
勢ヲ減ズルコ

上院ハ政治上ニ權勢ヲ振フ可キ此等ノ方便ヲ有スルニモ
拘ラズ通常立法上ノ事ニ敢テ意ヲ配セザルカ故ニ之ガ爲
メ大ニ其勢力ヲ減ズルノ實ナキ能ハザルナリ上院ノ組織
及ヒ其議員ノ位置ハ彼ノ代議院ニ見ル如キ精神ト活動ト
ヲ發セシムル能ハズシテ討論ニ出席スル所ノ議員ノ少數

ナルヲ見テモ之ヲ証ス可キナリ政黨上ニ關スル大疑問ヲ
 討議スルハ非ザルヨリハ上院ハ通常出席議員ノ數甚ダ
 寡少ニシテ殆ト特撰委員會（按委員會ニ二種アリ全体ヨリ
 成ル者ヲ閣院委員ト云ヒ數名
 ヲ撰出シテ特ニ某ノ事件ヲ調
 査セシムルヲ特撰委員ト云フ
 ノ議員ニシテ能ク至會ノ權ヲ左右スルヲ得ルノミナラズ
 三名以下ノ議員ト雖モ若シ互ニ其說ヲ同フスルガ爲メニ
 可否ノ分裂ヲ生ズルコトナク又ハ之ヲ犯則ナリトスル說ノ
 出ルコトナキニ於テハ能ク法律ヲ可決シ若クハ之ヲ廢棄ス
 ルヲ得ベキナリ（按英國議院ノ制下院ニ於テハ四十ヲ滿數
 トナシ四十人以上ノ議員出席スルニ非ザ
 レハ議事ヲ開クヲ得ズト雖モ上院ハ三ヲ滿數トナシ三人
 以上ノ議員出席スルトキハ議事ヲ開クヲ得ルナリ而シテ
 本文云フ所ハ出席議員ノ三名以下ノ時ト雖モ若シ互ニ相
 一致シテ其犯則ナルコトニ蔽フニ於テハ能ク議決ヲ左
 右スルヲ得ベシ現ニ全會ト云ハシヨリハ寧ロ委員會ト稱
 ト云フニアリ

ス可キ程ノ少數議員ニ於テ法律ヲ可決セシコト屢々之アル
 ナリ而シテ此ノ如キ少數ノ議員ノ判斷ハ下院ニ群集スル
 所ノ多數議員ノ判斷ト同一ノ尊敬ヲ受ク可シトハ思ハレ
 ザルナリ
 三人ヲ滿數トスルハ裁判上ノ事務ニ取テハ則チ可ナラン
 又往昔議員ノ數ノ少ナカリシ時ニ於テハ三人ヲ滿數トス
 ルモ全會ニ對シテ敢テ甚シク比例ヲ失ヒタリト云ハザル
 可シ然レモ現時ノ如ク議員ノ大ニ増加セル時ニ於テ尙ホ
 三人ヲ滿數トスルハ之ヲ不十分ナリト云ハザル可カラズ
 且又上院議員ハ選舉人ニ對シテ責ヲ負フ者ニ非ザルガ故
 ニ其道德上ノ責任ハ爲メニ一層ノ重キヲ加ヘ憲法ヲ以テ
 之ニ委托スル所ノ大權ヲ濫用スルノ患ナカラシムコト要ス

上院ノ公務ニ
注意セザル

ルナリ
上院議員ハ多クハ公務ニ注意セズシテ出席者ノ數甚々少
ナキガ故ニ議員中ノ有力ニシテ名譽心アル者ト雖ヒ亦隨
テ其勤勉ノ心ヲ殺ガレ爲メニ更ニ上院ノ權勢ヲ害セザル
ヲ得ザルナリ下院ニ於テ名ヲ揚ゲシ所ノ政治家ニシテ上
院ニ於テ最モ痛切ナル論辨ヲ爲スモ議員ノ冷淡無情ニシ
テ毫モ之ニ感動セザルガ爲メニ大ニ其氣勢ヲ挫傷セラレ
ルハ此等政治家ノ屢々歎息スル所ナリ蓋シ出席員ノ數
多ク容易ニ議論ニ感動シ熱心ニ喝采ヲ表スルハ爲メニ
討論ヲ獎勵スルト雖モ上院ニ於テハ此等ノ事一モ之アラ
ザルナリ故ニ辨論家ハ氣勢ヲ挫傷セラレ聽聞者ノ冷情ナ
ルニ應ジテ安ンシテ自家辨論ノ音調ヲ弱ハメ敢テ憤勵セ

上院議員ノ其
首領ニ服從シ
易キ

ザルナリ此ノ如ク政治上ノ大事件ニ關シテ愛國心ト熱心
トヲ挫傷スルガ故ニ勢ヒ上院ノ政治上ノ權勢ヲ減セザル
ヲ得ザルナリ
上院議員ノ活潑ナラザルガ爲メニ上院ヲシテ公務上ニ適
當ノ權勢ヲ占メシムルニ有害ナル他ノ一結果ヲ生ジタリ
即チ上院議員ノ怠慢ニシテ一ニ強憤ナル議員ノ威力ニ
容易ニ服從スルコト是ナリサルロウ公ニルドン公ウヰリン
ン公リンドハリスト公ノ如キハ各々其時代ニ於テ上院ヲ
左右シ總督タルノ權カチ有シタリ蓋シ以上諸公ノ如キハ
世襲貴族ノ集會所トハ異ナル所ノ一ツ學校即チ下院ニ於
テ其活潑果斷ノ氣象ヲ養成シタル者ナリ又世襲貴族中ニ
於テモ例セバデルビト公ノ如ク以上諸公ト同様ノ權カチ

貴族ノ社會ニ對スルノ關係

振ヒシ者ナキニアラスト雖モ此等ノ人々ハ繁劇ナル下院ニ在テ如何ニ人ヲ指揮ス可キカノ術ヲ學ビタルガ故ニ然ルヲ得タルナリ抑議會ニハ各々領袖ナカラザル可カラズト雖モ全會ノ意見ヲ悉ク一人ノ指揮ニ任ズルニ至テハ爲メニ議會ノ權力ヲ害セザルヲ得ザルナリ況ンヤ其領袖タルモノ或ハ心志鄙劣ニシテ徒ラニ僻說ヲ固執スルノ人タルノ恐レアルニ於テチヤ

上院ノ政治上ノ位置ト立法院ノ一部トシテ上院ガ有スベキ權力ヲ増減スルノ原因トハ以上ニ於テ論ズル所ノ如シ而シテ更ニ他ノ點即チ上等社會ノ首位ヲ占ル者トシテ貴族ヲ論ゼザル可ラズ貴族ハ一般上等社會ノ利害ト感情ト冀望トヲ代表スル者ニシテ之ト甚ダシク懸隔セザルノミ

貴族社會

ナラズ社交上ノ關係ニ因リテ互ニ相親和セリ故ニ貴族ハ國家ノ政治ニ於テモ行政及ビ裁判ノ事務ニ於テモ地方ノ政務ニ於テモ公利及ビ慈善ノ事業ニ於テモ遊獵宴席玉突場ニ於テモ常ニ上等社會ノ首位ニ立テ之ヲ導ケリ

貴族ノ増加スルニ從ヒ其枝葉チ社會ニ廣ムルハ固ヨリ自然ノ勢ナリ貴族ノ尊爵ヲ得タル者ハ六百家ニシテ其諸子各々貴族ノ稱ヲ有シ血縁若クハ結婚ニ因リ地方第一位ノ豪族若クハ他ノ諸階級ノ富有ナル平民ト相親和スルガ故ニ貴族ノ根基ハ我英國社會ノ土地ニ益々深入セザルヲ得ザルナリ各地方ニ於テ貴族ノ權勢ハ甚ダ大ニシテ加之貴族ガ最高ノ權ヲ有スルノ地方亦多シトス

貴族ノ稱ヲ得ザル地主紳士ノ如キモ嫡子相續ノ守舊主義

地主紳士

ランデットシエンツリー

法律ノ爲メ各々其家門ヲ維持セリ此等ノ地主紳士ノ家門ハ昔時ニ在テハ貴族中ニ列セシノミナラズ現時ニ於テモ此等ノ地主紳士ハ貴族ヲ補充ス可キ人ヲ出スノ泉源ナリトス而シテ此等ノ地主紳士ハ貴族ノ性質ト人民ノ性質ト兼有シ中間ニ立テ貴族ト平民トヲ連結スル者ニシテ此ノ如キ一種ノ階級ハ外國ニ之アルヲ見ザルナリ

「バロン」ノ階級ニ屬スルノ人ハ多クハ貴族ヨリモ劣等ナル世襲ノ尊稱ヲ有スル者ニシテ爲メニ政治上ノ特許ヲ得ルニアラズト雖モ尙ホ社交上ノ位格トシテ人々ノ大ニ欲スル所ナリトス「バロン」ノ爵位ハ貴族ノ爵位ノ如ク前百年間ニ於テ大ニ増加セリジヨトシ三世ノ即位ノ時ニ於テ「バロン」ノ爵位ヲ有スル者ハ約シ五百人ナリシニ一千八百六十

「バロン」ノ階級

年ニ於テハ八百六十八人ニ下ラザルノ數ニ増加セリ而シテ六十年ノ一治世（按シヨトシ三世間ニ於テ四百九十四人ノ「バロン」ヲ造リタリ此中政治上ノ勤勞ヲ賞セシガ爲メニ之ヲ與ヘシ者多シト雖モ大族富豪ノ人々ノ之ヲ得シコ更ニ大ナリトス然レモ尙ホ世人ノ爵位ヲ欲スルノ情ヲ飽カシムルニ足ラザルナリ

「ナイト」ノ爵ハ舊古ニシテ且尊重ノ爵ナリト雖モシヨトシ三世カ功勞ナキ常人ニ之ヲ濫與セシガ爲メニ此爵ハ殆ド其位格ヲ失フニ至レリ王ガマルガレット、ニコルソンノ階級ヲ免レシ後王ハ之ヲ祝賀セシ者ニ濫リニ「ナイト」ノ爵ヲ與ヘシヲ以テ世人ハ之ヲベグ、ニコルソンノ「ナイト」（按「ベグ」トハ卑小ノ義ナリト通稱スルニ至レリ而シテ國王ガ「ナイト」ノ爵ヲ濫與

「ナイト」ノ階級

シテ其位格ヲ失墮セシムルノ事ハ近時ニ至ルマデ尙ホ行
 ハレタリ
 然レモ尙ホ之ヲ以テ十分ナリトセズシテ一千七百八十三
 年王ハセント、パトリックト稱スル一種ノ「ナイト」ノ爵ヲ新興
 セリ蓋シ蘇格蘭ニ於テハ古來「チヌ、ル」ト稱スル一種ノ「ナ
 イト」ノ爵アリシト雖モ此時ニ至ルマデハ別ニ愛爾蘭ニ適
 用ス可キ「ナイト」ノ爵アラザリケレバナリ又英蘭人ノ爲メ
 「ハノ、ウ、リ、ア、ン、ゲ、ル、フ、ツ、ク、ナ、ル、ダ、リ、ナ、フ、ナ、イ、ト」ト稱ス
 ル一種ノ「ナイト」ノ爵ヲ興セリ而シテウヰリアム四世ハ其在
 位間ニ於テ英蘭ノ「ナイト」ノ爵ヲ有スル者ヲ多ク擧ゲテ此
 新爵ニ就ケタリ
 「バス」ト稱スル階級ハ原ト軍爵ニシテ一千八百十五年ニ於

貴族ト親接セ
 ル他ノ諸階級

テ其ノ區域ヲ廣メ一千八百四十七年ニ至リ更ニ我女王陛
 下ハ此爵名ヲ文事ニモ用ユルコトナシ國王ニ一身上ノ勤
 務ヲ爲シ國家ニ義務ヲ尽セシ等ノ爲メニ國王ノ賞ヲ得ベ
 キ人々ヲモ亦此階級中ニ包入スルニ至レリ
 以上諸種ノ尊稱ヲ有スル所ノ階級ノ外ニ陸海ノ軍爵ヲ有
 スル所ノ士官ノ如キモ亦之ヲ記セザル可カラズ此等ノ士
 官ノ數ハ佛國トノ長久ナル戰爭ノ爲メニ大ニ増加シ又海
 外ニ英國ノ領地ノ擴張セルガ爲メニ大ニ増加セリ其他政
 府、教會、司法、大學校、諸種ノ大協會等ニ於テ高位ヲ占ル所ノ
 人々ハ皆貴族ト其權勢ヲ共ニセリ
 我國財産ノ絶ヘズ増加累積スルコトハ貴族ノ權勢ヲ増加ス
 ルノ一源泉ナリトス蓋シ富其物ハ一種ノ貴族ナリ而シテ

富有者ト貴族
 トノ親和

外國ニ於テハ富ハ貴爵ト相競ハント加_レ之貴爵ノ光榮ヲ害セシトスルコト然レモ舊樣社交ノ遺風アル我國ニ於テハ富貴貴爵ノ笑樂ト愛顧トヲ買ハシコト是レ勉メ只管貴爵ノ社會ニ入りテ之ト交際セシコト欲望シ又大ニ其光榮ヲ欣羨セリ高等ノ學藝、商賣、製造、政府ノ職業等ヲ爲メニ獨立ノ資産ヲ有スル所ノ無數ノ人ヲ生シ此等ノ人々ハ或ハ地主紳士ト親和シ或ハ富豪大商ト親和セリ此等ノ人々ハ皆獨立ナル紳士ノ一部ヲ組成スル者ニシテ我國ノ最美ノ地方ニ散居シ此等ノ人々ノ住所ニ供センガ爲メニ壯麗ナル市府ヲ築造セリ

ハステルテナムリトミントライトンノ諸市街ヲ見ルトキハ此等ノ人々ノ多數ニシテ富有ナルコト先証ス可キナリ此等ノ人々ハ社會ニ對シテ威勢

高等學藝ノ業

ヲ有シ政治上ニ對シテ權力ヲ有シ貴族ノ爲メニ強固ナル外郭トナリ社交上及ビ政治上ノ贊助ヲ以テ貴族ノ權力ヲ保護セリ

高等學藝ノ業ヲ修ムル者（按）學者、僧侶、代人、醫師等ヲ云フハ全体ノ上ニヨリ

之ヲ云フキハ概テ心ヲ上等社會ニ傾クル者ト云フ可シ僧侶ハ特ニ地主ト相親和セリ蓋シ僧侶ガ權力ヲ渴望スルコトハ各所然ラザルナク而シテ地主ハ巨大ノ富ヲ有スルガ故ニ勢ヒ二者相親和スルニ至ルナリ又法律家及ビ醫師ノ如キモ富豪ナル恩人ノ保護ニ浴スルガ故ニ政治上及ビ社交上ニ於テ之ト其利害ヲ共ニセザルヲ得ザルナリ

左レバ此等ノ諸階級ヲ合スルキハ貴爵ト財產ト智識トヨリ集成スル所ノ極メテ廣大ナル一社團ノ存スルコト見ル

下院ノ議員が
其被任ノ職ヲ
尽サヨリシト

債ヲ募リ富講ヲ催フシ及ビ政府ノ事業ヲ請負ムル
ハルコトニ關シテ偏頗ノ行ハル、ヨ○一千八百三十
年前ノ數次ノ議院改革案○一千八百三十年及ビ三
十二年、一千八百三十一年、一千八百三十一年及ビ三
十二年ノ議院改革條例案○一千八百三十二年ノ議
院改革條例ノ爲メニ代議院ノ制度ヲ改革セシム○
一千八百三十二年後ニ行ハレタル賄賂及ビ之ヲ匡
正セシムカ爲メニ施シタル處置○議院ノ改選期限○
暗投票ノ事○被選權制限ノ事○後代ノ議院改革案
國王及ビ上院が享有スル所ノ政治上ノ權力ヲ生ズ可キ諸
泉源ハ前編ニ於テ之ヲ論シタリ而シテ國王及ビ上院ハ互
ニ其權力ヲ合シテ以テ久シテ國家ノ評議上及ビ施政上ニ

下院ノ從順ニ
シテ且弊習ノ
行ハレシト

大勢力ヲ逞クスルヲ得タリ然レモ國王及ビ上院ノ固有ノ
權力ハ大ニ則チ大ナリト雖モ其能ク大勢力ヲ逞クスルヲ
得シ所以ノ者ハ重モニ下院ニ出席スル所ノ人民代議士ノ
贊助ニ因ラズンバアラサルナリ若シ夫ノ下院ニシテ真正
ニ人民ヲ代表シテ其委任ヲ尽セシナラシムハ下院ノ權力
ハ假令ヒ國王及ビ上院ノ聯合セル權力ヲ凌駕スルコト能ハ
ズトスルモ之ト同一ノ權力ヲ享有シ得ベキコトハ必然ナリ
トス
然ルニ我立法院ニ於テ三力鼎立シテ互ニ其平均ヲ維持ス
ルノ理論ハ往時ハ實際ニ行ハルコト能ハズシテ下院ハ從
順ニシテ且腐敗シタル者ナリキ國王及ビ國王ノ權力ヲ左
右スル所ノ大權アル政治家ハ容易ニ下院ヲ多數ヲ制スル

一ヲ得タリ城市ヨリ出ヅル所ノ議員ノ過半ハ貴族及ビ大地主ノ指名ニ係リ重モ此等ノ貴族及ビ大地主ノ政治上ノ勢力ニ因リテ選舉セラレタル者ナリトス又議員中國王ノ指名ニ係リ政府ノ權勢ニ因リテ其議院ノ席ヲ得タル者甚ダ多カリシナリ而シテ富有ナル候補者ハ城市ノ所有主ニ就テ議院ノ席ヲ購買シ若クハ賄賂ヲ行テ自家ヲ選舉セシメ以テ榮位ト恩典ト朝廷ノ愛顧トヲ博センガ爲メニ時ノ宰相ヲ贊助セリ(按城市トハ國王ヨリ代議士ヲ選出スルノ宰相ヲ贊助セリ等ノ免許ヲ得タル市邑ニシテ其免許ノ賣買行ハレ數人若クハ一人ノ所有ニ歸スルコト多ク之アリ此等ノ城市ニ於テハ代議士ヲ選出スルノ權ハ一ニ其所有主ニ屬ス州郡ノ議員ハ概テ地方ノ貴族ト利害共ニスルルナリ)者ニシテ其他官位及ビ年金ヲ與ヘ公債富講請負事業ノ事ニ關シテ偏頗ヲ行ヒ甚ダシキハ金錢上ノ賄賂等ノ手段ニ

代議制度ノ缺點

因リ更ニ政府ノ贊成者ヲ増スコトヲ得タルナリ
 以上ノ諸勢力ノ如何ナル度ニマデ行ハレシカ又立法院ノ制度上ニ如何ナル結果ヲ生ゼシカハ歷史上ノ最モ有用ナル疑問ノ一ナリトス
 我代議制度ハ原ト決シテ理論上ノ完全ノ点ニ達スルヲ目的トセズシテ其一般ニ計畫スル所ハ國王ノ爲メニ最モ多額ノ租稅ヲ納メ得ベキ地方ヨリ代議士ヲ招集セントスルニアリキ其目的トスル所此ノ如クナリシテ以テ勢其人口財產ノ多少及ビ其商業ノ繁閑ニ應シテ各州各都府各城市ニ議員ノ數ヲ配當スルコトナレリ而シテ此計畫ハ縱カニ其幾分カタ實行セシニ過キズト雖モ是レ實ニ往時ノ我代議制度ノ基礎ヲ成スニ至レリ然レモ當時大市府ノ數ハ甚

其僅少ニシテ人口ハ諸方ニ散在シ事業ハ各地ニ於テ大ニ
 其盛衰ヲ異ニシ壓制ニ苦ミタル市民ハ代議士ヲ出スベシ
 自家ノ正當ノ權利ヲ要求セザルツミナラズ議院ニ代議士
 ヲ出スガ爲メニ自家ノ負擔ヲ増加スルヲ愛ハタリ如何
 ナル地方ニ於テ代議士ヲ出スノ榮譽ヲ有スベキカハ國王
 隨意ニ之ヲ定メ甚キハ州長ヲ獨斷テ以テ之ヲ定メタルコ
 アリ(按)本州長トハ各州最高ノ官吏ニシテ法令ヲ州内ニ
 施行シテ治安ヲ維持シ又諸法廷ノ判決ヲ實行スル等
 ノコトヲ司ル往時ハ民選ナリト雖モ現時ハ國王ノ任ス
 ルナリ其方法ハ習慣律裁判所ト諸判事ト大法官ト納局長ト
 毎年十一月三日ヲ以テウェストミンスターノ出納事件裁判所
 ニ集會シ各州ニ付キ三名ノ候補者ヲ選ミテ之ヲ國王ニ奏
 ス而シテ國王ハ右三名中ノ一名ヲ擇ミテ之ヲ州長ニ任ス
 ルナリ獨リ倫敦府ニ於テハ人民之ヲ選舉スルノ法行ハル
 リナリ而シテ代議士ヲ出スコニ定マリタル地方ト雖モ往々
 其代議士ヲ召集ヲ受ケザリシコアリ又小市府ノ如キハ或

ハ國家ノ繁榮ニ應ジテ共ニ進歩スル能ハザル者アリ或ハ
 衰廢ニ歸セシ者アリ而シテ此際代議士ヲ出ダスノ權ヲ有
 セザル村落ニシテ却テ重要ノ地位ニ進ミシ者アリ是ノ如
 クニシテ代議士ノ配當公平ヲ失フコトハ益々甚シキヲ加ヘ
 タリ蓋シ城市ヲ新造シ若クハ其免許ヲ剝奪スルノ權ハ昔
 時ヨリ國王ニ屬スルノ特權ニシテ國王ニ於テ若シ適當ニ
 此特權ヲ行フトキハ以テ以上ノ不公平ヲ匡正スルヲ得シ
 ナル可シト雖モヘンリト八世ノ時ヨリチャールズ二世ノ時
 ニ至ルマテ新タニ免許ヲ與ヘシ所ノ城市ノ過半ハ悉ク微
 小ノ城市ニシテ此等ノ城市ハ爾後指名選舉ノ城市トシテ
 著明ナル者トナルニ至レリ(按)指名選舉ノ城市トハ國王若
 名スル所ニ從テ議員ヲ選而シテチャールズ二世ノ時以來國
 舉スル所ノ城市ヲ云フ

王ノ此特權ハ廢セラレシヲ以テ代議ノ不公平ハ益々甚シキヲ加ヘタリト雖モ遂ニ之ヲ匡救スルノ方法アラザリシナリ此ノ如キ理由ニ因リ全ク代議制度ノ正當ノ理論ト相合ハザル所ノ一種ノ代議制度ヲ立ルニ至レリ故ニ我代議制度ノ缺点ハ初ヨリ甚ダ大ニシテ歲月ト變遷トチ經過スルニ從ヒ益々甚シキヲ加ヘ前世紀ノ中葉ニ至テハ其不公平ナルヲ實ニ驚ク可キ者アリキ

市 指名選舉ノ城

我代議制度ニ付着スル所ノ缺点ノ最モ大ナル者ハ夫ノ指名選舉ノ城市ニ在リトス此等ノ城市中或ル者ハ初メ免許ヲ受シ時ヨリ既ニ微小ナリシヲ以テ到底其獨立ヲ冀望スルコト能ハザリシナリ而シテ自家ニ於テ權勢ヲ有セザルカ故ニ隨テ國王若シクハ近隣ノ貴族ノ恩愛ト保護トチ仰ク

ニ至レリ左レバ此等ノ城市ニ對シテ大貴族ガ其權勢ヲ擅ニスルコトハ世ノ公認スル所ニシテ往時十五世紀ノ頃ヨリ此事既ニ行ハレタリ女王エリサベスノ世ニ於テ下院ハ今後ハ貴族ノ書狀ヲ以テ万事ヲ支配スルニ至ル可シトノ忠告ヲ受ケ此事ハ大ニ世ノ公論スル所トナレリ而テ斯カル代議制度ノ愈々發達スルニ從ヒ此等ノ權勢ハ貴族及ビ大地主ニ取リテ益々緊要トナルガ故ニ貴族及ビ大地主ハ其權勢ヲ擴張センコトヲ勉メテ勞ヲ惜ムコトナク又城市ノ過半ハ微力ニシテ其選舉權モ狹隘且不定ナルヲ以テ貴族及ビ大地主ハ容易ニ勝ヲ制スルコトヲ得シナリオールドサルムノ如キ地方ハ人口寡少ニシテ通常ノ村落ニモ及バザル程ナレバ公然地主ノ指名スル所ニ從ヒテ議員ヲ選舉シ敢テ

諸種ノ狹隘ナル撰舉權

蔽フコトヲ許シテ稍々人口及ヒ財産ニ富ム所ノ他ノ城市ニ於テモ選舉權ヲ有スル所ノ人民ノ少キガ爲メニ議員ノ選舉ハ其城市ニ對シテ權力ヲ有スル所ノ一人ニ於テ之ヲ左右セシナリ

選舉人ノ數ノ少キノ爲ニ止ラズシテ或ル城市ニ於テハ狹隘ニシテ且不定ノ選舉權行ハルハアリトス蓋シ慣習律ニ據レバ選舉權ハ城市内ニ住スル所ノ家主ニ存スルモノナリト雖モ城市中多クハ特別ノ制度ヲ行ハルハアリテ爲メニ大ニ此廣濶ナル選舉權ヲ制限セリ或ル城市ニ於テハ習慣ニ從ヒテ人民一般ニ選舉權ヲ有スル者ナキニアラズシテ此等ノ城市ニ於テハ地方費若クハ區稅ヲ拂フ者又ハ家主タルト寄宿者タルト其間ハズ自カラ活計ヲ立ル者ハ皆

下院ニ於テ選舉ノ權ヲ定メシ

選舉權ヲ有セリ然レモ或ル他ノ城市ニ於テハボルゲイジテニ「ア」ト稱スル借地法ニ從テ土地ヲ借有スル者ニアラザレバ選舉權ヲ有セザルアリ（按）ボルゲイジテニ「ア」トハ國王又ハ其他ノ地主ニ對シテ年々若干ノ借地料ヲ拂ヒ若クハ商業上及ヒ藝業上ノ對シテ服役ヲ爲シ以テ市内ノ土地ヲ借有スルノ方法ヲ云フ又或ル地方ニ於テハ國王ヨリ市民タルノ特許ヲ受シ者ノ外ハ選舉權ヲ有スル能ハザルノ習慣行ハルハアリ又此等ノ諸種ノ選舉權ヲ共行シ若クハ之ニ特別ノ制限ヲ立ルノ城市多ク之アリキ

選舉權ノ斯ク不定ニシテ且混雜ナル所以ノ者ハ下院ノ終決ニ因リテ然ル者ナリトス下院ノ政畧ハ常ニ變轉シテ一定ノ主義ナシト雖モ要スルニ古代ニ行ハレタル選舉權ヲ制限シテ之ヲ少數ノ人ニ與ルノ傾向アリキ

或ル城市ニ於テハ地方費ヲ拂フ所ノ人民及ビ自由市民ハ皆選舉權ヲ有シ又或ル城市ニ於テハ唯自由市民ノミ之ヲ有シ又多クノ城市ニ於テハ其城市ノ市政會員ノ外ハ何人モ選舉權ヲ有セザル者アリ（按）城市ノ市政會員トハ市長長ニシテ市長及長老役ハ市政會員中ヨリ之ヲ選舉スル者ナリ而シテ多クノ城市ニ於テハ獨リ是等ノ會員ノミニ於テ選舉權ヲ有スル者アルナリ又後文ニ城市協同ホツキンガトアルハ此等會員ヲ總稱スル者ト知ルベシ

ム及ビベドリーニ於テハ市長ト十三人ノ市政會員ノ外ハ何人モ選舉權ヲ有セズバスニ於テハ選舉權ハ市長ト十人ノ長老役ト二十四人ノ市政會員ニ於テ之ヲ有スルノミ又サリスブリーニ於テハ市長ト五十六人ノ市政會員ニ於テ之ヲ有スルノミナリ而シテ更ニ廣濶ナル選舉權ノ行ハル

地方ト雖モ此權ヲ實用ス可キ人民ノ數ノ甚ダ少ナキト

小城市ノ數

屢々之アリガットンノ如キハ寛大ナル選舉權ノ行ハルハアリテ土地ヲ借有スル者及ビ地方費ヲ拂フ者ハ皆選舉權ヲ有スルト雖モ此ノ如キ資格ヲ有スル人ハ僅ニ七名ニ過キザリキタインストックニ於テハ土地ヲ借有スル者ハ皆選舉權ヲ有スルヲ以テ自ガラ祝シタリト雖モ其數ハ僅ニ十名ニ過キズ又セントミチールニ於テモ地方費ヲ拂フ所ノ人民ハ皆選舉權ヲ有スルト雖モ其數ハ僅ニ七名ニ過キザリシナリ

一千七百九十三年ニ於テ人民ノ朋友ノ社團ト稱スル一協會ヨリ報ゼシ所ニ據ンバ當時英蘭及ビウェールスニ於テ殆ド二人ノ選舉者ヲモ有セザル城市ノ數ハ三十五ニシテ之ヨリ七十八ノ國會議員ヲ出シ又選舉人ノ數五十八ニ下ル

所ノ城市ノ數ハ四十六ニシテ之ヨリ九十八ノ國會議員ヲ
 出シ又選舉人ノ數百人ニ下ル所ノ城市ノ數ハ十九ニシテ
 之ヨリ三十七人ノ國會議員ヲ出ダセシト云フ此ノ如キ微
 小ノ城市ニシテ尙ホ代議士ヲ出スニ却テリッヅ、ボルミン
 ガム、マンチエスター等ノ地方ハ代議士ヲ出ササルナリ而シ
 テ此等ノ城市ニ於テ代議士ナリトシテ國會ニ出ス所ノ議
 員ハ貴族及富人ノ指名ニ係ル者ニシテ其命令ニ從テ選舉
 ナ行フナリ蓋シ下院議員ノ選舉上ニ貴族ノ權力ヲ行ハル
 ハ、トホド弊害ノ甚シキハアラザルナリ而シテ下院議員中
 ノルフルク公ヲ代表スル者十一名ランスデール公ヲ代表
 スル者九名ダーリントン公ヲ代表スル者七名ルツトラン
 ド公、ボツキンガム公、カトリントン公ヲ代表スル者各々六

議員ノ選舉上
 ニ賄賂ノ行ハ
 ルハ、

名アリシト云フ故ニ下院ノ坐席ハ上院ノ坐席ノ如ク殆ド
 世襲ノ權ニ因テ之ヲ有スルノ狀アリト言ハ可キナリ
 選舉者ノ數多クシテ自由ニ選舉權ヲ行ハシムルニ足ル如
 キ城市ニ於テハ選舉者速ニ其選舉權ヲ賣リテ利ヲ博シ得
 ルトテ覺ルシガ故ニ此等ノ城市ニ於テハ指名選舉ノ害初
 メテ止ミタルモ賄賂ノ弊習之レニ繼テ行ハル、ニ至レリ
 選舉上ニ賄賂ノ行ハル、ヨハ我憲法政治ニ關スル最モ羞
 辱スヘキ弊害ノ一ナリトシ世人ノ久シク認ムル所ナリ憶
 フニ賄賂ノ事ハ以前ニ於テモ全ク行ハレザリシニアラズ
 ト雖ドモ他ノ弊習モ多クハ然ルガ如ク此弊習ノ如キモ亦
 チトシス三世ノ時ニ至テ始テ常ニ行ハル、所トナリシモ
 ノ、如シ革命(按)一千六百八十八ノ後下院ノ權力増加セシ

夫以テ爲メニ選舉上ニ賄賂ノ行ハル、コ一層ノ甚キヲ加ヘタリ當時如何ナル度ニマデ賄賂ノ行ハレシ乎ヲ証スルノ一例トシテ左ノ事實ヲ舉ゲシ者アリ曰ク一千六百九十五年ウエストミンスターノ選舉ニ於テ一人ノ候補者タルウルト、クライジス氏ハ賄賂ヲ行ハンガ爲メニ僅ニ數時ノ間ニ二千磅ヲ費シタリト雖モ尙ホ其冀望ヲ遂グルコトヲ得ザリシト

此ノ如ク破廉耻ノ事類ニ行ハレシヲ以テ遂ニウリアム三世即位第七年第四號ノ條例ヲ制定スルニ至レリ是ヨリ先キ慣習律ニ於テハ既ニ賄賂ヲ受授スルコトヲ以テ一ノ罪犯トナシ又下院ニ於テモ之ヲ非難スルノ決議ヲ爲セシメアリシト雖モ公然條例ヲ以テ之ヲ禁止シ及び其罰ヲ定メ

ウリアム三世ノ賄賂條例

タルハ以上ウリアムノ條例ヲ以テ其嚆矢トナス然レモ此條例ノ目的ハ一般ニ賄賂ヲ制禁セントスルニ在リト云ハシヨリハ寧ロ富有ナル外來人ガ内國ニ入りテ地主ノ政權ノ泉源ヲ侵蝕スルアルヲ防ガシコトヲ目的トシテ計畫セル者ナリト云フ可シ（按）外來人トハ殖民地又ハ外國ニ居留セシ（英）英人ノ内國ニ來リテ選舉ヲ争フヲ云フ而シテ此條例ハ十分ニ其實効ヲ奏セザリシ者ト見ヘタリ何トナレバデーヴナント氏ハ此條例ノ制定後ニ著シタル書ニ於テ左ノ事ヲ記シタルナリ曰ク外來人ハ益々英國内地ニ侵入シ巨額ノ貨幣ヲ散シテ自家ヲ撰擧セシメシコトヲ謀レリ又聞ク所ニ據レバ某々ノ手形仲買人ノ如キハ議員ノ株ヲ賣買シ其相場ヲ立テント試ミタル者アリト又多クノ城市ノ如キハ之ヲ賣買スルニ一定ノ相場アリト云

スリト蓋シ國會ノ條例ヲ以テスルモ能ク賄賂ノ原因ヲ除ク不能ハザルベシ國家ノ富ノ漸次ニ増進スルニ從ヒ人民中ニ一種ノ階級ヲ生シ此階級ニ屬スルノ人々ハ地方ニ對シテ舊縁ヲ有セザルガ故ニ財ヲ散シテ之ヲ補ハンコトヲ勉ムルナリ抑々政治上ノ德義ハ自由ノ擴張スルニ隨ヒ益々進ム者ナリト雖モ富ノ増進スルニ隨ヒ之ノト共ニ賄賂ノ弊習ヲ發スルニ至ルコトハ各國皆免ル、能ハザル所ナリトウオルポール氏及ビベルハム氏ノ執政ノ間ハ政治腐敗シテ國會議員トナルトキハ爲メニ大ニ利スル所アリシヲ以テ賄賂ノ事益々行ハル、ニ至レリ而シテジョージ三世即位ノ初年ヨリ賄賂ノ頻リニ行ハレシコトハ著明ノ事實ニシテ世人喋々其非ヲ論ゼリ

一千七百六十一年ノ議員總選舉

「チーボブ」

蓋シ此治世間ノ最始ノ議員選舉ハ一千七百六十一年ニアリテ此時賄賂ヲ行ヒシコトハ實ニ非常ニシテ斯ク濫リニ賄賂ヲ行ヒシコトハ曾テ其例アラザル可シト思ハルハナリ東印度及ビ西印度ニ於テ富ヲ蓄積セシ所ノ人々ハ一階級ノ議員候補者ヲ成シ此階級ノ人々ハ益々増加シ世ニ此等ノ人々ヲ通稱シテ「チーボブ」按此語ハ印度ノ太守ト云フノ義也者ナリチーボブト云ヘリ而シテ此等ノ人々ハ其名譽云フニ至リシナリト云ヘリ而シテ此等ノ人々ハ其名譽心ニ刺勵セラシテ只管立法院ニ坐席ヲ得ンコトヲ熱望シ其富ハ以テ賄賂ヲ行フヲ得テ且此等ノ人々ハ商人ノ位置ヲ以テ政治ヲ學ビシ法以テ曲手段ヲ行フコトヲ毫モ猶豫セザルナリ而シテ議院ノ坐席ハ地面ノ如クニ其實實行ハルハガ故ニ此輩ノ人々ハ直チニ之ヲ購買シテ敢テ遲疑セザル

ナリチヤダム公ハ曾テ此階級ノ人々ノ事ヲ論ジテ曰ク外
 國ヨリ金ヲ輸入スル所ノ此等ノ人々ハ人民ニ對シテ緣故
 ナ有セズ又我國ニ於テ生來ノ勢力ヲ有セザルガ故ニ一私
 人ノ世襲ノ財産ヲ以テ能ク拮抗スル能ハザルホドノ賄賂
 ナ濫リニ行ヒ以テ敢テ議院ノ坐席ヲ占領セントセリト
 此階級ノ人々ハ地主ノ爲メニ久シク惡マレタリ蓋シ地方
 ノ紳士ハ其地ノ人民ニ對シテ如何ニ大勢力ヲ有スルトモ
 此等ノ富裕ナル外來人ノ濫費ノ爲メニ常ニ壓倒セラレザ
 ルヲ得ズ大權アル貴族ノ如キモ東西印度ヨリ携ヘ來リタ
 ル富チ散シテ選舉ヲ得ントスル所ノ此等ノ人々ニ能ク頷
 頷スルコト能ハザルナリ又此等ノ外來人ハ政黨ノ領袖ノ愛
 ナモ得ルコト能ハザルナリ何トナレバ此等ノ人々ハ巨額ノ

金錢ヲ以テ其議院ノ坐席ヲ購買シタル者ナレバ固ヨリ政
 黨ノ領袖ニ對シテ誠實チ尽サレバナリ此等ノ人々ハ政
 黨ノ信誼ノ爲メニ約束セラル、者ニアラズシテ其議院ニ
 入ラントチ欲スル所以ノ者ハ政治上ノ立身ヲ目的トセズ
 シテ單ニ自家一身ノ利慾ヲ達センガ爲メナルノミ即チ自
 家ノ商業上ノ企計ヲ營ミ自家ノ朋友ヲ増加シ自家ノ交際
 上ノ冀望ヲ満足セシメンガ爲メナルノミ然レモ斯ク政黨
 外ニ獨立シテ且利慾ノ心ヲ有スルガ故ニ此等ノ人々ハ朝
 廷ノ政界ヲ贊助スルニハ最モ適當ノ人々ナリトス國王ハ
 常ニ政黨ノ首領ノ管制ヲ免レシコト勉ルニ際シテ恰モ好
 シ其要スル所ノ贊助者ヲ此階級中ニ求ムルヲ得タリ即チ
 此等ノ人々ハ政黨ノ外ニ立テ政治上一定ノ主義アルコト

加ルニ其員數ト勢力トハ日ニ益々増加シ且其最モ熱望
 スル所ノ褒賞即チ爵位官職等ヲ得ンガ爲メニ容易ニ國王
 之党ニ左袒スルガ故ニ國王ニ取リテ最モ有用ノ機關ナリ
 下ス是ヲ以テ此輩ノ人々ハ速ニ王ノ党友中ニ列シ自由ヲ
 頓覆スル所ノ朝廷ノ政界ト雖モ下院内ニ贊助ヲ博スルコ
 ト得タリ
 一千七百六十一年ニ於テ此ノ如ク選舉上ニ賄賂ヲ行ハレ
 シガ故ニ翌年ニ至リニ條例ヲ制定シ初テ賄賂ノ罪科ニ對
 シテ罰金ヲ課スルコトナセリ然レモ此條例ヲ以テ制禁セ
 シト欲スル所ノ弊害ハ依然トシテ愈々行ハレタリ
 少數ニシテ而カモ獨立ナル選舉者ニ於テ國會議員ヲ選舉
 スル如キ場合ニ於テハ賄賂ヲ行テ以テ各自選舉者ノ選舉

一千七百六十
 二年ノ賄賂條
 例
 城市ノ販賣

ヲ購買シ若シ又城市ノ所有主又ハ城市協同ニ於テ選舉權
 ナ有スル如キ場合ニ於テハ直ニ之ニ就テ議院ノ坐席ヲ購
 買スルナリ而シテ城市ヲ販賣スルコトノ如キモ稍々昔時ニ
 リ行ハル、弊害ニシテチャールズ二世ノ時以來屢々行ハ
 ル、所トナリ終ニジョージ三世即位ノ初年ニ至リ一般ニ
 行ハル、所ノ著明ノ弊害トナレリ蓋シ城市ノ所有權ノ如
 キモ公認セラレシ所ノ者ニシテ他ノ所有權ト同シク之ヲ
 賣買讓與スルヲ得タリ一千七百六十六年ニ於テハトフ
 ルド公ハチャタム公ノ内閣ニ説キテ從前國王ニ屬セシ所
 ノオルフォードノ城市ヲ自家ニ讓ラシメタリ又サツドビユリ
 一ノ城市ハ斯カル弊害ノ行ハル、ガ爲メニ醜聲高ク終ニ
 其免許ヲ剝奪セラル、ニ至リシガ其以前ニ於テハ此城市

公然其販賣ヲ廣告セシヨアリキ
 若シ又政府ニ於テ或ル議員ノ占有セル坐席ヲ他ノ候補者
 ニ與ヘンコトヲ要スルコトアルトキハ相互ノ協議ヲ以テ相場
 ナ定メテ其議院ノ坐席ヲ賣買スルコトナリタリ左レハ吾
 人ハ一千七百六十四年ニ於テチヌスターフィールド公ガ議院
 開會ノ初メニ於テ二千磅ヲ費ヤシテ購買シ得タル議院ノ
 坐席ヲ政府ニ販賣セバ今尙ホ固ク一千「ポンド」ヲ得ベシト
 其子ニ助言セシコアルヲ見ルナリ
 一千七百六十八年ノ議員總選舉ノ時ニ於テモ賄賂ノ行ハ
 レシコトハ少ナクモ一千七百六十一年ノ總選舉ノ時ト同一
 ノ甚シキ狀ヲ呈シ坐席ノ賣買ハ之ヲ公行シテ殆ド慣ル所
 アラザリキ此時議院ノ坐席ハ大藏省ニ於テ之ヲ購買シ又

一千七百六十
 八年ノ議員總
 選舉

大貴族ハ己シノ眷顧スル人ノ爲メニ之ヲ購買シ其他利益
 ナ賭セントスル人及ビ富資ヲ擁スル人ニシテ他ニ議院ノ
 坐席ヲ得ルノ手段ナキ者ハ總テ之ヲ購買セリ而シテ或ル
 場合ニ於テハ弊習ノ行ハル、コト極メテ甚シクシテ當時ノ
 衰敗セル道德心ト雖モ尙ホ爲メニ衝擊ヲ感ゼザルヲ得ザ
 リシホドナリキチヌフィールドノ城市協同ハ大ニ負債ニ苦
 ミシチ以テ若シ其負債五万六千七百磅ヲ仕拂フニ於テハ
 其報酬トシテ該城市ノ議員トーマスステピルトン氏及ヒ
 リー氏ヲ再選センコトヲ二氏ニ申込ミタリ然ルニ二氏ハ此
 申込ミヲ拒ミ言テ曰ク余輩ハ我城市協同ヲ賣ランコトヲ欲
 セザルガ故ニ又之ヲ買フコトヲ肯ンズル能ハザルナリト而
 シテ二氏ハ終ニ此事ヲ下院ニ告訴セシチ以テ該城市ノ市

長及ビ十人ノ長老役ハニウゲードノ牢獄ニ投セラレタリ
 然レモ暫時ノ禁錮ヲ蒙ルノ後唯下院議長ヨリ警戒ヲ受シ
 ノミニテ速ニ放免セラレタリ而シテ市長等ハ之ガ爲メニ
 其計畫ノ必氣ヲ挫カズシテニウゲードノ牢獄ニ在ルノ間
 ニ於テ其既ニ計畫セシ所ノ交易ノ談判ヲ整ヘタリ即チオ
 キスフォルドノ代議士タルノ株チマールボロ公及ビアピ
 ドン公ニ販賣セリ該市廳ノ書記ハ此交易ノ証ヲ記スル所
 ノ帳簿ヲ一時他所ニ隱藏シ而シテ世人モ此事ヲ一笑ニ付
 シテ敢テ其罪ヲ問ハザリキ
 プールノ城市ノ代議士タラントテ欲スル所ノ三人ノ候補
 者アリテ其一人ナルマウゲル氏ハ其目的ヲ達シタルノ人
 ニシテ氏ハ公共ノ事業ニ充用センガ爲メニ一千磅ヲ該協

同ニ寄賦シ他ノ一人ナルガルストン氏ハ曩ニ其父ノ議員
 ニ選舉セラレシコアルヲ感謝スルノ証トシテ七百五十磅
 ナ贈リ又他ノ一人ナルカルクラフト氏ハ一千五百磅ノ贈
 與ヲ爲サンコチ申込ミタリト雖モ故アリテ選舉セラレズ
 而シテ此時選舉セラレタルマウゲル氏ハ終ニ無効ノ當撰
 ナリト公定セラレタリ

ラツジユルスホールノ選舉ハ該城市ノ所有主ナル有名ナル
 ジョーシセルウン氏九千磅ノ價格ヲ以テ之ヲ販賣セリ當
 時諸城市ノ選舉ノ平均ノ相場ハ二千五百磅ナリシニ東西
 印度ノ人民ノ競争ニ因リ四五千磅ニ騰貴セリ而シテ小城
 市ノ或ル者ノ如キハ其選舉ヲ最高價ノ購買者ニ賣ランガ
 爲メニ此事ヲ代辦人即チ選舉仲買人ニ依托セシ者アルコ

ハ當時ニ著明ナリシ事實ナリトス此等ノ選舉仲買人中リ
 一ノルツ及ヒツキート稱スル二名ノ者ハ下院ノ命ヲ以テ
 之ヲ禁錮ニ付シ其他數名ノ者ハニウゲートノ牢獄ニ投ゼ
 ラレタリ此ノ如ク或ル城市ニ於テハ一束ニ其城市ヲ賣買
 シ又他ノ城市ニ於テハ各自ノ撰舉者ニ巨額ノ賄賂ヲ行テ
 其撰舉ヲ賣買セリノルサムプトンノ代議士トナラントノ
 競争ノ爲メニ其候補者ハ各々少ナクモ三万磅ヲ費ヤシタ
 リト云フ加之スベンセル公ノ如キモ該城市ノ代議士タラ
 ンコト勉メ且之ヨリ起リシ所ノ撰舉上ノ裁判費等ノ爲メ
 ニ都合七万磅ノ驚クベキ巨額ノ金ヲ費シタリト云ヘリ
 ニウ、シ、ヨールハムニ於テハ久シク賄賂行ハレシガ一千七
 百七十一年ニ至リグレンヅナルノ内閣ニテ制定セル條例ニ

一千七百七十
 一年ニウ、シ、
 ヨールハムノ

訴訟事件

遵據シテ初メテ撰任セシ所ノ選舉調査委員ニ於テ終ニ此
 事ヲ表發セリ蓋シ該城市ニ於テハ選舉者ノ多數ヨリ組成
 セル「耶蘇教徒ノ社團」ト自稱スル所ノ一協會アリテ此協會
 ハ外部ニ慈善ノ假面ヲ覆フト雖モ實ハ該城市ノ選舉ヲ最
 高價ノ購買者ニ競賣シテ其利益ヲ社員ニ分配スルコトヲ
 常ニ行ヒタリ此協會ニ於テハ委員ヲ置キ此等ノ委員ハ自
 カラ代議士ヲ選舉スルヲ爲サザル者トナシ而シテ此等ノ
 委員ニ於テ選舉賣買ノ談判ヲ決定スルトキハ社員ハ皆大
 膽ニモ賄賂ノ約ニ從ヒ選舉ヲ爲ス旨ノ誓約ヲ爲シ且其利
 益ハ選舉ヲ終リタル後マデハ之ヲ分配セザルノ法ナリト
 ス然ルニ該城市ノ選舉事務官ハ自カラ此協會ノ社員トナ
 リテ能ク如何ナル選舉者ノ該協會ノ社員トナリ居ル乎

知ルカ故ニ此等ノ選舉者ノ選舉ヲ無効ノ者ナリトシテ廢棄セリ此ノ事件ノ如キハ實ニ不正ノ甚シキ者ニシテ固ヨリ之ヲ不問ニ付ス可カラザルヲ以テ一條例ヲ發シテ該協會ノ會員八十一名ノ選舉權ヲ剝奪シ而シテブラムバー區ニ於テ四十志ノ借地料ヲ拂フ所ノ借地者ニ代議士選舉ノ權ヲ與ヘタリ又斯カル不正ノ隱謀ヲ行ヒシ所ノ五名ノ委員ヲ刑ニ處センコトヲ王ニ奏請ス可シト決議シタリ

ヒンドン及ヒシエフトスブリノ訴訟事件

ヒンドンニ於テモ賄賂ノ行ハル、ト甚シクシテ終ニ一千七百七十五年ニ至リ選舉調査委員ハ該城市ノ免許ヲ剝奪センコトヲ懲惡スルニ至レリ而シテシエフトスブリニ於テモ賄賂ノ行ハル、ト同様ニ著ルシカリキ

クリツクレード

クリツクレードニ於テモ選舉者ハ一般ニ賄賂ヲ受納セシ

ドノ訴訟事件

ガ一千七百八十二年ニ至リ此事選舉調査委員ニ告發セラレタリ該城市ニ於テハ二百四十八ノ選舉者中八十三人ハ賄賂ヲ受納セシコトノ罪証既ニ分明ニシテ其他四十三名ノ選舉者ニ對シテ告訴ヲ爲シタレト是レハ罪証未タ決セザリキ故ニ此弊ヲ救ハンガ爲メニ其近郡ノ「フリーホルド」借地人按「フリーホルド」借地人トハ永世若クハ終身土地ヲ借有スル者ニシテ英國諸種ノ借地人中之ヲ以テ最モ權大ナル者トナス故ニ之ヲ土地ノ私ニ選舉權ヲ與ヘント有者ト見做シテ殆ド不可ナキナリニ選舉權ヲ與ヘントノ議案出デタリ然ルニ此寬和ナル處置ノ如キモ尙ホ大ニ攻撃ヲ受ル所トナリ上院ニ於テハ反對論ノ勢力特ニ強大ニシテマンズフィールド公及ビ大法官サルロウ公ノ如キハ口ヲ極メテ不正ナル選舉者ヲ回護セリ此議案ハ一モ選舉權ヲ剝奪セント欲スル者ニ非スト雖モ尙ホ之ヲ稱シテ刑

爵ヲ課スルノ議案ナリトナシ法律家中之ヲ非トスルノ助
 言ヲ爲セシ者アリキ然レモ選舉者ノ不正ヲ行ヒシハ蔽フ
 可カラザルノ事ニシテ此ノ如キ辨護者アリシニモ拘ラズ
 選舉者ノ党ハ敗ヲ取リテ此議案ハ終ニ可決セラレタリ
 王ニ於テモ亦賄賂ノ行ハル、ヲ知了セシトハ疑フ可カラ
 ザルノ事實ニシテ當時王ハ議院ノ贊助ヲ得ンカ爲メニ常
 ニ此等ノ處置ニ出デタリ加之王ハ自ラ賄賂ヲ行ハンコト
 德愆シ且獎勵セリ一千七百七十九年十月十六日王ハノル
 ス公ニ書ヲ與ヘテ曰クノルサムベルランド公ガ若シ選舉
 上ノ事ノ爲メニ金錢ヲ要スルコトアレハ之ヲ公ニ與フルモ
 不可ナルコトナシト
 此等ノ費用ハ凡テ王室年俸金中ヨリ之ヲ支辨セサル可カ

王ノ賄賂ヲ獎勵セシコト

ラザルガ故ニ王ハ自党ノ利益ヲ謀ルニ熱心ナリト雖モ尙
 ホ自家ノ財産中ヨリ此等ノ費用ヲ支辨スルノ甚ダ堪ヘ難
 キコト感シタリ一千七百八十二年四月十八日王ハノルス
 公ニ書ヲ與ヘテ曰ク今回ノ總選舉ノ時ニ要シタル費用ノ
 巨額ナルヲ見テ朕ハ實ニ之ニ驚愕セリ今回ノ費用ハ朕ガ
 王位ニ登リシ以來何レノ總選舉ノ時ノ費用ニ比スルモ少
 クモ之ニ一倍セリト而シテノルス公ハ斯ク多額ノ費用ヲ
 要セシ所以ノ理由ヲ辨解シテ其委細ヲ報道セリ公ノ辨解
 ヲ見ルトギハ王及ビ公ガ大ニ毎回ノ選舉ニ干涉セシコトヲ
 證ス可キナリノルス公ノ言ニ曰ク若シ臣ニシテ一千七百
 七十九年、一千七百八十年、一千七百八十二年ノ議員總選舉
 及ビ議員改選ノ時ニ要シタル費用ノ七万二千磅ノ巨額ニ

違スルコトヲ豫メ思惟セシナランニハ臣ハ決シテ斯カル巨
 大ノ金額ヲ費ヤサンコトヲ陛下ニ助言セザリシナラント而
 シテ公ハ今回ノ選舉ニ於テプリストルニ於テ五千磅ウエス
 トミンスターニ於テ八千磅サルリーニ於テ四千磅ロンド
 ン府ニ於テ四千磅ヲ費シ其他ノ費用ヲ合シ總計ニ於テ五
 万磅ノ金額ト別ニ若干ノ年金トヲ費ヤシタル所以ノ理由
 ナ辨解シタリ

一千七百六十八年ノ總選舉前ニ當リ諸所ノ城市ニ於テ選
 舉買賣ノ弊習ノ行ハル、コトヲ下院ニ於テ告發セシ時長老
 役ベツクフォルド氏ハ各議員ヲシテ其賄賂ヲ行ハザリシト
 ノ誓約ヲ爲サシメントノ議案ヲ提出セリホレーズ、ウールボ
 ール氏ノ説ニ據レハ此議案ハ大貴族「チーボブ」王党候補者

一千七百六十
 八年ヨリ一千
 七百八十六年
 ニ至ルマデ賄
 賂ノ弊ヲ矯正
 セントセシメ

西印度人按此ニ印度人ト云フハ東西印度ニテ身代ヲ造リ
 タル英人ヲ云フ前條東西印度ヨリ來レル者等ヲ
 外來人ト云フノ等ニ對シテ地方ノ紳士ヲ保護スルノ効ア
 ル者ナレバ地方ノ紳士ハ大ニ之ヲ贊シタリト云ヘリ然レ
 凡誓約ハ嚴ニ失シテ爲メニ偽誓ノ罪ヲ増加スルニ至ル可
 シトノ説アリ又此議案ノ或ル箇條ニ據レバ法廷ノ爲メニ
 下院ノ特權ヲ蹂躪セラル、コトアラントノ恐レアリ殊ト
 ニ賄賂ノ事ハ各議員ノ行フ所ニシテ之ヲ制禁スルハ其欲
 セザル所ナルヲ以テ此議案ハ終ニ廢棄セラレタリ一千七
 百八十二年及び同八十三年ニ於テメーホン公ハ再度選舉
 上ニ賄賂ヲ行フヲ禁ズル所ノ議案ヲ提出シタリト雖モ何
 レモ廢棄セラレタリ一千七百八十六年ニ至リ公ハ更ニ地
 方ノ選舉法ヲ改良スルノ議案ヲ提出シタリシニピット氏

議院ノ坐席ヲ
販賣スルヲ
○
此事ノ利益

ハ之ヲ賛成シ下院ヲ通過スルヲ得タリト雖モ上院ニ於テ
之ヲ廢棄セリ故ニ賄賂ノ弊習ハ依然トシテ行ハレ法律ハ
之ヲ制禁セズ政治家ハ之ヲ默許シ輿論ハ之ヲ容忍セリ
議院ノ坐席ヲ販賣スルヲ如キモ理論上ニ於テハ固ヨリ
是認ス可カラザル所ナリト雖モ之ヲ選舉者ニ賄賂ヲ行フ
ノ弊習ニ比スレバ尙ホ取ルベキ者アリトス又或ル點ニ於
テハ指命選舉ノ習慣ヨリモ大ニ可ナル者アリトス蓋シ獨
立ナル議員ハ議院ノ坐席ヲ購買スルニ非ザレバ他ニ議院
ニ入ルベキノ手段ナキヲ往々ニシテ之アリ彼レ若シ恩人
ノ力ニ依テ議院ノ坐席ヲ得ルアラシク歟然ルキハ彼レ幾分
カ其獨立ヲ失ハザルヲ得ズ然ルニ彼レ若シ其坐席ヲ買フ
ヲ得バ自家ノ意見ト良心トニ從ヒ自由ノ投票ヲ爲スヲ

得ベシ左レバサミュエル、ロミリー氏ノ如キハ最モ公正有徳
ノ政治家ニシテウエールス太子ハ之ニ議院ノ坐席ヲ與ヘン
トシタレトモ氏ハ自家ノ獨立ト國家ノ利益トヲ謀リテ之
ヲ拒ミ却テ自カラ議院ノ一坐席ヲ購買セリ一千八百五年
九月ノ氏ノ書ニ曰ク我代議士ノ單ニ二種類ノミニ止ル間
ハ即チ議院ノ坐席ヲ購買スル所ノ代議士ト殆ド他人ノ從
者トシテ最モ神聖ナル代議ノ職任ヲ氣隨ニ勤ムル所ノ代
議士トノ二種ノミニ止ル間ハ人々ガ此二種中ノ何レニ屬
センヲ欲スル乎ニ關シテ毫モ疑ナキナリ茲ニ人アリ彼レ
代議士トナリテ國家ニ尽スヲ得ルホドノ資質ヲ有スルト
雖モ尙ホ正義ヲ重ズルノ故ヲ以テ憲法ノ理論ニ悖戾シテ
金錢ヲ以テ議院ノ坐席ヲ購買スル如キ手段ヲ取ランヨリ

ハ寧ロ全ク議院ニ出デザルノ優レルニ如カズト思惟スル者アラシク歟果シテ然ラバ此等ノ人ハ道德心ニ惑溺スル者ナラザルヲ得ザルナリ而シテ斯ク道德心ニ惑溺スルトキハ彼レ全ク公務ニ從事スルコト能ハザルニ至ル可キナリト議院ノ坐席ヲ販賣スルコトハ如何ナル度ニマテ行ハレシ乎又此事ハ下院ノ組織上ニ如何ナル影響ヲ生セシ乎ハサミエニル、ロミリー氏ノ一千八百七年ノ日記中ニ書スル所ヲ以テ之ヲ徴ス可キナリ氏ノ言ニ曰クチイルニ一氏ハ前内閣ノ党友ノ爲メニ坐席賣買ノ事務ヲ司リシ人ニシテ氏ノ余ニ確言セシ所ニ據レバ氏ハ一坐席ノ賣物アルヲ聞カザリシト云ヘリ前回議院ノ如キハ僅ニ四ヶ月餘ニシテ解散セラレシコトナレバ隨テ所有主ガ例年常ニ販賣スル所ノ坐席

ノ相場ハ甚ダ低落シテ廉價ナラント思ハル可シト雖モ實際ハ然ラズシテ現今其相場ハ大ニ騰貴シテ曾テ其例ヲ見ザルホドノ高價ヲ以テ之ヲ賣買スルコトナレリチイルニ一氏ノ余ニ云ヒシ所ニ據レバウエストブリーノ城市ニ属スル二ノ坐席ハ故アピンドン公ノ所有ニシテ其引受人ハ公ノ債主ニ負債ヲ拂ハンガ爲メニ成ルベク之ヲ高價ニ賣ラントセリ而シテチイルニ一氏ハ一萬磅ヲ以テ之ヲ買ハンコト申込ミタレヒ拒絕セラレタリ終ニ右ノ坐席ハ一ハ六千磅ヲ以テ之ヲ賣リ一ハ五千五百磅ヲ以テ之ヲ賣リタリ而シテ此等ノ賣買ハ期限ヲ定メズシテ之ヲ爲セシ者ニシテ王ノ殞落ノ爲メ若クハ内閣ノ更迭ノ爲メニ若シ議院ノ速ニ解散セラル、コトアル場合ニハ如何ニス可キカト云フ

「ノ豫定ノ約束ナカリシト云ヘリ斯クノ如ク坐席ノ相場
ノ騰貴セシ所以ノ者ハ新宰相ガ價格ノ高下ヲ顧ミズシテ
苟モ坐席ノ賣物アレバ悉ク之ヲ買占メタルガ故ナリ就中
某氏ノ如キハ坐席ノ賣買ニ從事スル大商人ニシテ其所有
スル所ノ坐席ヲ悉ク新宰相ニ賣却セリ斯ク坐席ヲ購買セ
ンガ爲メニ費用セシ資金ハ何レノ所ヨリ之ヲ支出セシ乎
ハ余之ヲ知ラズト雖モ王ハ自家ノ舉ゲタル新宰相ヲ維持
セシトニ最モ焦慮シ其金庫ヨリ巨額ノ通貨ヲ辨貸シテ坐
席ヲ購買セシメタルナルヘシト思ハル、ナリ」ト

ロミリー氏ノ日記中又曰ク斯ク坐席ヲ購買スルハ固ヨリ
惡ム可キノ處置ナリト雖モ余ノ如ク獨立ノ議員タラント
決心セル者ニ取テハ此手段ニ出ルニ非ザレハ他ニ議院ノ

坐席ヲ得ルノ方法ナキナリ代議制度ノ現今ノ有様ニ於テ
ハ人民ノ爲メニ選舉セラレテ代議士トナルコトハ到底期
圖ス可カラザルノ事ナリ大貴族ノ力ニ依リテ代議士トナ
リ其指揮ヲ奉シテ投票ヲ爲ストキハ全ク附從者タルノ有
様ニ陥ラザルヲ得ズ故ニ自家財產ノ一部ヲ散シテ坐席ヲ
購買スルノ外一手段アルナキナリ尤モ斯ク坐席ヲ購買ス
ル者ノ中ニハ其通貨ヲ利用スルノ策トシテ營利上ノ目的
ヲ以テ之ヲ購買スル者甚ダ多シトス即チ此輩ノ人ハ政治
上ノ商賣ヲ行フ者ニシテ議院ノ坐席ヲ買入レ而シテ自家
ノ投票ヲ販賣スルナリト而シテロミリー氏ハ其後二千磅
ノ價格ヲ以テノルフオルク公ノ所有ニ屬スル所ノホルシヤ
ムノ坐席ヲ購買セリ

年料ヲ拂テ議院ノ坐席ヲ借有スルコト

一千八百九年ノ條例ヲ以テ坐席ノ賣買ヲ禁ゼシコト

議院ノ坐席ヲ賣買スルハ常行ノ事トナリシヲ以テ候補者ノ一時ニ其代價ヲ拂フコト欲セザル者ハ年々若干ノ料金を拂テ之ヲ借有スルヲ得ルニ至レリ而シテ坐席ヲ賣買スルガ如キハ固ヨリ不正ノ事ニシテ唯其不正ヲ償フ可キノ點トスル所ハ坐席ヲ賣買スルニ於テ多クハ城市ノ所有主ト同一ノ政治主義ヲ公唱スル所ノ人ニ之ヲ賣ルヲ常トスルノ一事ニアルノミ而シテ此等ノ被選者ハ選舉人ノ知ル所ノ人ニアラズシテ時トシテハ此事ヲ選舉人ニ通知スベカラストノ約束ヲ爲スコトアリトス

坐席ヲ販賣シ若シクハ之ヲ貸渡スノ事ハ常ニ行ハレ宰相ノ如キモ往々之ヲ行ヒ終ニ其弊害愈々甚シキヲ加ヘ最早議院ニ於テ之ヲ許容スル能ハザルニ至レリ是ヲ以テ一千

以上ノ條例ノ實効ナカリシコト

八百九年ニ於テカルウエン氏ハ不正ノ手段ヲ以テ議院ノ坐席ヲ購得スルコトヲ禁スルノ議案ヲ提出セシニ此議案ハ而院ニ於テ種々ノ討論ノ後終ニ可決セラレタリ此條例ニ因リ金錢官位若クハ其他ノ報酬ヲ行テ不正ニ議員ヲ選舉スルノ約束ヲ爲ス者ハ之ヲ刑罰ニ處ス可キコトナシ又斯カル不正ノ手段ヲ以テ選舉セラレタルノ議員ニ對シテハ此刑罰ヲ加ヘ併セテ其坐席ヲ剝奪スルコトナセリ

然レモ我代議制度ノ缺點ノ一トシテ彼ノ指名選舉ノ城市ト稱スル微小ナル城市ノ存セシ間ハ以上ノ條例ヲ以テ刑罰ヲ設ケシニモ拘ハラズ坐席ノ賣買ハ依然トシテ行ハレ唯少シク秘密ニ之ヲ行ヒテ從前ノ如クニ之ヲ公行セザルニ至リシノミヘースチングスノ選舉ハ全ク其城市協同ノ

權ニ屬シ且其協同ニハ毫モ新會員ヲ入レザルノ制ナルガ故ニ議院改革條例ヲ以テ選舉權ノ制限ヲ廣メシ時マデ其坐席ハ常ニ六千磅ノ相場ヲ以テ之ヲ賣買シタリキ而シテ一千八百三十二年ニ至ルマデハ他ノ小城市ノ坐席ノ如キモ常ニ其賣買行ハンテ大藏長官政府反對党ノ党務整理者、城市協同城市ノ所有主等ハ常ニ其賣買ニ從事セリ而シテ賣買シ得ベキ小城市ノ存セシ間ハ賣買者ハ常ニ市上ニ徘徊シテ已マザリキ

政府ノ權勢大
城市ニ行ハル

指名選舉ノ行ハン公然市場ニ於テ坐席ヲ賣買シ濫リニ賄賂ノ行ハル、如キ城市ニ於テハ決シテ正當ニ人民選舉ト稱スル能ハザルナリ此ノ如キ城市ノ代議士ハ人民ヲ代表スルノ名アリト雖モ實ハ人民ニハ毫モ關係アラザルナリ

然レモ以上微小ナル城市ノ外ニ人口ニ富メル城市繁華ナル開港場製造ノ盛ニ行ハル、市邑等アリテ此等ノ場所ノ代議士コソハ人民ノ自由ノ選舉ニ因リテ議院ニ出ル者ナラント思ハル可シト雖モ實際ハ然ラズシテ此等ノ場所ハ都テ政府党ノ候補者ガ頼ンデ自家ノ本據トスル所ナリトス七年戦争ノ爲メニ大ニ公債ト租稅トヲ増加シ隨テ收稅官ノ數大ニ増加セリ而シテ此等ノ收稅官ハ政府ノ從屬者タルヲ以テ宰相党ノ候補者ヲ選舉スルナリ實ニ時ノ宰相ノ旗章ヲ立ル所ノ候補者ヲ選舉スルハ此等ノ收稅官ノ職務ノ一部ナリト認メラレシナリ而シテ此等ノ收稅官ハ政府ニ於テ撰舉ヲ左右スルガ爲メニ最モ必要ナル場所ニ最モ多ク之レアリトス蓋シ小城市ノ選舉ハ既ニ金錢若クハ

權勢ヲ以テ之ヲ左右スルヲ得タリ然レモ都府及ビ開港場
 三至テハ多少獨立ノ行ハル、アリテ小城市ノ如クニ容易
 二左右セラレザルベキガ如シ然ルニ恰モ好シ此等ノ場所
 二於テハ海關稅及ビ内地稅ノ徵收ニ從事スル所ノ數多ノ
 小官吏アルヲ以テ之ヲ驅テ選舉場ニ出ダシ加フルニ貪利
 ナル市民ノ之ヲ援助スルアルガ故ニ以テ獨立ナル選舉者
 ナリ壓倒スルヲ得タリ

収稅官ノ選舉
 權ヲ剝奪スル

一千七百六十八年ニ於テドウデスウェル氏ハ長老役ベツク
 フォルド氏ノ賄賂罪犯條例案中ニ收稅官ノ選舉權ヲ剝奪ス
 ル所ノ一條ヲ加ヘントシタレモ其說行ハレズ一千七百七
 十年ニ至リ氏ハ再ビ收稅官ノ選舉權ヲ剝奪スルノ議案ヲ
 提出シタリシニグレンヅル氏ハ之ヲ贊成シタリ然レモ之

ニ反スル者ハ曰ク收稅官ハ議員ヲ選舉スルノ權ヲ有スル
 ト雖モ其他選舉上ノ事ニ關涉スルハ既ニ法律ヲ以テ之ヲ
 禁スル所ナリ故ニ此外ニ更ニ禁制ヲ設ケザル可カラザル
 ノ理由アルナシト然レモ實ハ當時ノルス公ノ内閣ハ其緊
 要ナル權力ノ泉源ヲ失フヲ欲セザリシナリ故ニ此議案
 ハ廢棄セラレタリ
 然レモ此議案ハ唯一時之ヲ延期セシニ過キザルノミノル
 ス公ノ執政ノ時朝廷ノ政界極メテ危險ニシテ國王ノ特權
 ト威權トヲ以テ國家ヲ支配セント勉メタリシガ故ニ改進
 主義ノ政治家ヲシテ有効ナル策ヲ立テ、人民ノ自由ヲ保
 護スルノ必要ナルヲ確知セシメタリ而シテ此際不幸ナル
 亞米利加戰爭ノ起リシヲ以テ租稅ノ害ト收稅官ノ弊トハ

共ニ愈々増加セリ
 一千七百八十年ニ至リクリュー氏ハ収税官ノ選舉權ヲ剝奪スルノ議案ヲ出ダセシニ此議案ハ第二讀會ニ於テ廢棄セラレタリト雖モ前回ドウデスウェル氏ガ其議案ヲ出ダセシ時ニ比スレバ大ニ賛成者ノ數ヲ増加セリ翌八十一年再ビ同一ノ議案ヲ出ダセシニ之ヲ賛成スル者却テ前年ヨリモ少數ナリキ然レモ國王ノ權力ニ十分ノ攻撃ヲ加ルノ期ハ既ニ迫リテ近キニアリ而シテ収税官ノ選舉權ヲ剝奪スルノ議案ハ從來常ニ政府反對党ノ提出セシ所ナリシニ一千七百八十二年ニ於テハロツキンガム公ノ内閣ニ於テ之ヲ提出スルニ至リ此條例ノ最モ必要ナルコトハロツキンガム公自カラ之ヲ説明セリ公ノ説明中言ヘルアリ曰ク七

十人ノ代議士ハ此等ノ収税官ノ選舉ニ係ル者ナリ而シテ海關稅及ビ内地稅ノ徵收ニ從事セル官吏中選舉權ヲ有スル者ハ一万一千五百人ナリト又曰ク或ル城市ニ於テハ選舉人ノ總數五百人中二十八人ハ収税官ニ拜命シ且此等ノ収税官ハ皆一人ノ勢力ニヨリテ進退スル者ニ係レリト此必要ナル議案ハ今ヤ非常ノ多數ヲ以テ兩院ヲ通過スルヲ得タリト雖モ此議案ノ主義ヲ辨難セシ者ナキニアラズシテ就中マンスフィールド公ノ如キ之ヲ痛擊シタリキ蓋シ理論上ヨリ懸空ニ之ヲ考ルトキハ如何ナル種類ノ人タルヲ問ハズ之ニ選舉權ヲ拒ムハ自由ニ害アリテ改進ノ主義ニ反スル者タルヤ明カナリトス然レモ憲法上ニ非常ノ弊害ノ行ハレテ匡救セザル可カラザル者アリ故ニ數多ノ選

舉者ハ其市民タルノ權利ヲ剝奪セラレタリト雖モ是レ止
 ムヲ得ザルナリ蓋シ此等ノ収稅官等ハ其ノ權利ヲ隨意ニ
 行フ能ハズシテ實ハ他ノ有力者ニ指揮セララル、ガ故ニ之
 ニ選舉權ヲ與ルハ一般人民ノ自由ニ害アリ故テ以テ一般
 人民ノ自由ヲ保護センニハ此等ノ權利ヲ剝奪セザルヲ得
 ザルナリ
 若シ夫レ選舉權ノ區域廣濶ニシテ一般ノ選舉者ハ自由ニ
 其選舉ヲ行フテ得テ國王ノ從屬者ノ爲メニ壓制セララル、
 ノ患ナカラシムニハ斯クノ如ク選舉權ヲ剝奪スルコトハ決シ
 テ之ヲ是認ス可カラザルノ處置ナリトス然レモ選舉權ノ
 區域狹隘ニシテ一般ノ選舉者ハ代議士ヲ選舉スルニ於テ
 國王ノ爲メニ左右セラル、如キ事情ニ於テハ以上ノ議案

人口ニ富ミタ
 ル都府ニ於テ
 煩厭スベキ事
 論ノ起ルコト

ハ人民自由ノ爲メニ必要ナリト云ハザル可カラズ
 小城市ノ從屬ニシテ弊習ノ行ハル、コト彼レノ如ク又大城
 市ニ於テ政府ノ權勢ノ行ハル、コト此ノ如シト雖モ尙ホ選
 舉權ヲ有スル所ノ二三ノ都府アリテ此等ノ都府ノ人民ハ
 地主ト雖モ政府ト雖モ之ヲ左右スルコト能ハズシテ又不正
 ノ誘惑ノ爲メニ動かサル、コトアラザルナリ故ニ少ナクモ
 此等ノ都府ノミニ於テハ自由ニ輿論ヲ公表スルヲ得ルナ
 ラント思ハルベシト雖モ實際ハ又然ル能ハザル者アリ蓋
 シ選舉ノ事ニ關スル我往時ノ法律ハ選舉權ヲ保護セント
 ノ目的ヲ以テ計畫セシニアラザルガ故ニ甚タ宜シキヲ得
 ザル者アリテ多數ノ選舉ヲ得タル人望アル候補者ノ如キ
 モ煩累ニシテ且壓抑ナル障害ニ逢遭シ爲メニ之ヲシテ人

民自由ノ選舉ヲ得ル能ハザラシムルニ至ルヲアリトス此
 等ノ候補者ハ投票場ニ於テ激騒ト暴行トノ爲ニ敗ヲ取ル
 ヲナシトスルモ又ハ選舉事務官ノ偏頗ト反對党ノ軍略ト
 ノ爲メニ其得タル選舉ヲ欺奪セラル、ヲナシトスルモ尙
 ホ其競争者ノ濫費ノ爲メニ壓倒セラレザルヲ得ザルナリ
 往時ニ於テハ投票場ハ四十日間之ヲ公開スルヲ得タルガ
 故ニ之カ爲メニ候補者ハ非常ニ財ヲ費ヤシ賄賂内約激騒
 ナ生ズルノ原因トナリタリ此時限ノ間ハ酒樓ハ雜沓シ市
 街及ビ投票場ニ於テハ醉狂ト混乱トノ狀ヲ呈セリ又惡徒
 ナ雇使スル者アリテ此等ノ惡徒ハ棍棒ヲ携ヘ酒氣ノ爲メ
 ニ激セラレ揚々列ヲ立テ、街衢ヲ往來シ以テ選舉人ヲ脅
 迫シ其投票場ニ赴クヲ妨害セリ候補者ハ單ニ有害ナルノ

一千七百八十
 四年ウエストミ
 ンスターノ選
 舉

ミナラズ往々危険ナル飛道具ヲ以テ狙撃セラル、ヲアル
 ガ故ニ一命ヲ失フノ危険ヲ冒ザマルヲ得ズ又候補者ヲ贊
 助スル者ハ醉狂セル惡徒ノ暴行ヲ受ザルヲ得ザルナリ今
 日ニ於テハ投票場ノ開期ハ僅ニ一日ナリト雖モ尙ホ非常
 ニ選舉ヲ爭フテ開化セル人民ニ於テハ恥ヂザルベカラザ
 ルノ舉動ヲ呈スルヲアリトス然ラバ則チ往時最惡ノ不善
 ナ匡正スルノ制度未ダ立タズ加ルニ投票場開期ノ一ヶ月
 以上ノ久シキニ亘リシ日ニ在テハ此事ノ極テ甚シキ者ア
 リシハ亦宜ナリト謂フ可シ
 往時ノ選舉制度ニ於テ行ハレタル諸弊害ノ最モ著明ナル
 實例ハ一千七百八十四年ノウエストミンスターノ選舉ニ在
 リトスフオックス氏ハ彙ニピット氏及ビ朝廷党ニ反對シタ

リシヲ以テ政府ノ爲メニ最モ怨恨セラレタリ故ニ政府ニ於テハ聯立内閣ヲ贊助セシ所ノ議員ハ今回ノ総撰擧ニ於テ悉ク壓倒セント決心セリ而シテフックス氏ハ則テ此等ノ議員中ノ最モ有力ナル領袖ナルガ故ニ先ツ第一ニ氏ヲ攻撃セザル可カラズ此等ノ選舉ハ四十日間ニ亘リ此間終始醉狂ト激騒ト暴行トノ醜狀ヲ極メ又最モ甚シキ譏毀罵詈訾ヲ爲セリ投票場ヲ閉ルニ及ビフックス氏ノ被選点数ハ政府党ノ候補者ノ一人ナルセシルレト氏ノ被選点数ニ比シテ二百三十六点ノ多数ナリシコトヲ發見セリ然レモ氏ハ選舉事務官按ウエストミンスターノ爲メニ其勝利ノ結果ヲ横奪セラレタリ蓋シ選舉事務官ハフックス氏ノ當選ノ報告ヲ遅延シテ氏ヲ選舉セル投票ノ調査ニ着手セリ此ノ如

クニシテ召集狀發付ノ定日ノ後ニ至ルマデ氏ノ當選ノ報告ヲ遅延セシテ以テ爲メニ氏ヲシテ議院ニ出席スルノ權ヲ失ハシメタリ而シテ選舉ノ有効ナルト否トニ關シテ爭論ノ起リシキ之ヲ判決スルハ獨リ下院ノ權ニ存スル所ナリト雖モ選舉事務官ハ故サラニ其報告ヲ遅延シテ下院ヲシテ其裁判ヲ行フ能ハザラシメタリフックス氏ハ斯カル不正ノ手段ノ爲メニ氏ガ正常ニ博シ得タル議院ノ坐席ヲ奪ハレタリト雖モ氏ハ別ニキルクワールノ市城ノ爲メニ選舉セラレテ既ニ其當選報告ノ手續ヲモ完了シタルヲ以テ議院開會ノ時ニ至リ氏ハ該城市ノ議員トシテ其坐席ヲ占メタリ

此等ノ處置ニ因リフックス氏ヲシテ苦難ト不正トノ害ヲ

受ケシメシノミナラズ氏ヲ選舉シタル投票ヲ調査センガ爲メニ一萬八千磅ノ費用ヲ要シタリト云フ氏ノ党友ハ下院ヲシテ速ニ氏ノ當選ノ報告ヲ爲ス可キ旨ヲ選舉事務官ニ命令セシメンコトヲ勉メタリト雖モ此事行ハル、ヲ得ザリキ此時ピット氏ハ選舉事務官ノ處置ヲ辨護シタリシニ當初ニ於テハ氏ノ説ニ多數ノ賛成ヲ得タリ是ニ於テフォックス氏ハ忿懣ニ堪ユル能ハスシテ大呼シテ曰ク余ハ固ヨリ寛宥ノ處置ヲ期望ス可キノ理由アルナシ又余ハ我下院ニ於テ單ニ公平ノ取扱ヲ受クベシトモ覺ヘザルナリト而シテ撰舉事務官ヨリノ報告ナキが故ニ此事ヲ撰舉調査委員ノ審判ニ付スルニ由ナクメフォックス氏ノ命運ハ多數ノ敵党ノ意志如何ニ係ル所トナレリ尤モ下院ニ於テ成ルベ

ク速ニ選舉調査ノ事務ヲ完了センコトヲ選舉事務官ニ命令シタリト雖モ次回ノ議院開會ノ時ニ至リ既ニ調査ノ事務ニ着手セシヨリ八ヶ月ヲ經タルニモ拘ラズ尙ホ一區ニ係ル分ノミ其調査ヲ終ヘシニ過ギザリシが故ニ未ダ投票ノ數ヲ比較シテ選舉ノ何レノ候補者ニ歸ス可キ乎ヲ判スルヲ能ハザルナリ此ノ如ク撰舉調査ヲ行ヒシコトノ不正ナルハ露出シテ蔽フ可ラザル所ナリト雖モピット氏ハ尙ホ頑トシテ速ニ報告ヲ出サンコトヲ選舉事務官ニ命ズ可シトノ動議ニ抗シタリ然レモピット氏ガ固ク執リテ保持スル所ノ説ハ固ヨリ不公平ノ説ニシテ是マデハ多數議員ハ思慮モナク妄リニ氏ノ説ヲ贊シタリト雖モ今ヤピット氏ノ權勢ヲ以テスルモ九人以上ノ多數ヲ制スルヲ能ハザルニ至

レリ而シテ終ニ三月三日ニ至リ氏ノ説ハ三十八名ノ多數
 テ以テ否決セラレタリピット氏ハ實ニ其政敵ニ對シテ小
 量ナル舉動ヲ行ヒ且法律ヲ蔑視セシ者ナレバ其失敗ヲ取
 リシハ固ヨリ然ルベキ所ナリトスフオックス氏ハ怒テピッ
 ト氏ガ此ノ如キ舉動ニ出デシ所以ヲ述テ曰ク是レ全ク彼
 レガ怨恨ノ情ヲ満足セシメントノ惡意ニ出デシ者ナリト
 而シテ我國大都會ノ一ニ於テ人望アル候補者ヲシテ此ノ
 如ク敵黨ノ暴行ト宰相ノ壓制トヲ受ケシムル如キ制度ハ
 實ニ自由ニ取リテ非常ノ大害アル者ト云フ可シ故ニ議院
 ニ於テハ召集狀發付ノ日ヨリ必ズ十五日前ニ各投票場ヲ
 閉ヂ又六日前ニ選舉調査ヲ完了セザル可カラズト定メ以
 テ以上ノ處置ヲ非認スルノ意ヲ公表シタリ

州郡ニ於テ貴
 族ノ權勢ノ行
 ハル、ト

州郡ニ於テハ都府及ビ城市ニ比スレバ概テ選舉權廣濶ニ
 シテ且自由ニ之ヲ使用セリ四十志以上ノ借地料ヲ拂フ所
 ノフリーホルド借地人ハ凡テ選舉權ヲ享有スル者ニシテ
 地方ノ紳士及ビ英國ノ獨立ナル郷士ト稱セラル、所ノ人
 ヲハ皆此階級中ニ屬スルナリ故ニ州郡ノ選舉區ニ於テハ
 選舉者ノ數最モ多ク其責任最モ重ク又弊習ノ行ハル、最
 モ少ナクシテ他ノ選舉區ヨリモ誠實ニ輿論ヲ代表シ又屢
 々人民ノ福利ヲ進歩セシムルニ於テ大勢力アリシナリ州
 郡ノ選舉人ハ恭敬ス可クシテ且公共心ニ富ミシテ以テ議
 院改革ノ策ヲ立ル者ハ常ニ城市ノ免許ヲ剝奪シテ州郡ノ
 議員ノ數ヲ増加センコトヲ計畫セザルハ非ザリシナリ此ノ
 如ク州郡選舉者ノ功德アルコトハ疑フ可ラザル所ナリト雖

臣尙ホ大貴族ノ殆ンド封建的ノ權力ヲ有スル者アリテ就
 中州郡ノ選舉者ハ此等ノ貴族ノ威勢ニ制セラル、ト多シ
 トス蓋シ此等ノ貴族ハ家系舊ク且貴クシテ鉅万ノ財產ヲ
 有シ身高官ヲ占メテ政治上ニ特功ヲ奏シ且朋友ニ富ムガ
 故ニ各々其州郡ニ於テ人民ノ首位ニ立チ其地方人民ニ對
 シテ有スル所ノ權勢ト英人ノ貴族ヲ尊信スルノ情ト相合
 シテ遂ニ此等ノ貴族ヲシテ地方紳士及ビ郷士ノ政治上ノ
 領袖トナラシムルニ至ルナリ尤モ或ル州郡ニ於テ平民ノ
 大權ヲ有シテ貴族ニ劣ラザル者ナキニアラズト雖モ英蘭
 及ビウエールスノ過半ノ州郡ノ代議士ハ此等ノ貴族及ビ其
 信任ト保護トヲ受ル所ノ地方紳士ヨリ成ル者トス
 左ノ選舉上ノ競爭ハ異主義ノ選舉者ノ競爭ナリト云ハ

ンヨリハ寧ロ大貴族相互ノ競爭ニ出ルチ多シトセリ然リ
 ト雖モ其候補者ハ概チ甲乙反對ノ政黨ニ屬スルガ故ニ爲
 メニ政治上ノ論爭ト研磨トヲ生ズルナリ而シテ競爭ハ精
 神ト氣力トヲ發揮スル者ナルガ故ニ此等ノ選舉上ノ競爭
 ノ如キモ非常ノ精神ト氣力トヲ以テ之ヲ行ヒ且財貨ヲ濫
 費スルヲ極メテ甚クシテ王族ノ富チ有スルニアラザル
 ヨリハ其費用ヲ支ユルヲ能ハザルナリ故ニ其狀宛モ小國
 ガ互ニ戰爭ヲ行フニ濟シキナリ一千七百六十八年ニ於テ
 ポルトランド公ハゼームス、ロウサー氏トウエストモールラ
 ンド及ビカムベルランドノ選舉ヲ爭ヒ爲メニ四万磅ヲ費
 ヤシ又ロウサー氏モ少ナクモ同額ノ財ヲ費ヤシタリト云
 フ又一千七百九十九年ニ於テ彼ノグロウセスカーノ選舉

競争ノ時ニチエスター公ハ二三万磅ノ金額ヲ費ヤシ公ノ死
後尙ホ仕拂未済ノ金額三四千磅アリテ此中二千磅ハ王ニ
於テ其王室年俸金中ヨリ之ヲ仕拂ヒタリト云フ又ヨリク
ノ選舉競争ハ今人中或ハ之ヲ記憶スル者アル所ニシテ総
計ニ於テ十五万磅ノ金額ヲ費ヤシタリト云フ

蘇格蘭ノ代議
制度

英蘭ノ代議制度ノ缺点ハ極メテ大ナリト雖モ蘇格蘭代議
制度ノ缺点ハ更ニ之ヨリ甚シキ者アリテ且其弊害ハ一般
ニ行ハレタリ蘇格蘭ニ於テハ州郡ノ選舉權ハ優等借地權
〔按優等借地權トハ國王ヨリ直接ニ借受ケタル土地ノ所有
權ヲ更ニ他ニ貸付シテ其地稅ヲ納シムルノ領主ノ如キ
者ヲ云フ〕ヲ有スル者ノ手ニ屬シ此優等借地權ナル者ハ市
場ニ於テ賣買行ハレ之ヲ有スル者ハ財產ノ多少住所ノ定
不定ヲ問ハズ凡テ選舉權ヲ享有スルヲ得ル者トス又城市

ノ選舉權ハ自選ノ市會議員ノ手ニ屬セリ〔按自選ノ市會議
員トハ一般人民
ノ選舉ニ係ルニアラズシテ初メ國王ヲ以テ之ヲ指定シ爾
後ハ毎回議員ニ於テ自カラ其相續者ヲ選舉スル者ヲ云フ〕
故ニ選舉人ハ人口ヲ代表スルニモアラズ財產ヲ代表スル
ニモアラズシテ唯地方一部ノ最少數ノ利害ヲ代表スル者
ニ過キズ一千八百二十三年ニ於テ該國選舉權ヲ有スル者
ノ總數ハ三千人ニ下リシト云ヘリ而シテ如何ナル州郡ニ
於テモ其選舉者ノ數二百四十人ニ越ユル者ナクシテ或ル
州郡ノ如キハ僅ニ九人ノ選舉者ヲ有スルニ過キサル者ア
リキ加之此等ノ選舉者中多クハ財產ヲ有セズ又國內ニ住
所ヲモ有セズシテ全ク有名無實ノ選舉者ナリト云ハザル
ヲ得ザリキ
一千八百三十一年ニ於テ該國州郡ノ選舉者ノ總數ハ二千

五百人ニ超ヘズ又六十六ノ城市ノ選舉人ノ總數ハ二千四百四十人ナリシト云ヘリ故ニ蘇格蘭選舉人ノ總數ハ四千人ニ超ヘザルナリアル州ノ如キハ人口十万人ニシテ選舉者ノ數ハ僅ニ一百十五人ナリ而シテ此中八十四名ハ州内ニ一地ヲモ有セスノ實際ニ選舉權ヲ施行スル能ハザル者ナリトスケイスデス州ハ人口三万人ニシテ四十七人ノフリーホルド舊地人アリテ中三十六人ハ實際ニ於テ選舉權ヲ施行スル能ハザル者ナリトスイングブーテス區ニ於テハ人口九万人ニシテ八十八人ノ選舉者ヲ有シ中五十人ハ實際ニ於テ選舉權ヲ施行スル能ハザル者ナリトス又該國ノ二大都府ナルエデンボロー及ヒグラスゴーノ如キモ各々三十三名ノ選舉者ヲ有スルニ過ヤザルナリ

選舉權ノ狹隘ニシテ公平ヲ失スルコト此ノ如クナルガ故ニ各州郡及ビ各城市ハ何レモ悉ク政治上ノ恩人ノ威勢ニ服セザルハアラザルナリ故ニ二億餘万ノ才能ニ富ミ教育ヲ受ケ勤勉ニシテ且平和ナル人口ヲ有スル所ノ一大國ニ於テ實ハ殆ド選舉權ヲ有セザル者ト云フ可キナリ而シテ代議士ヲ國會ニ選出スル所ノ有權者ハ其同胞ナル英蘭人ノ如クニ互ニ相爭テ甲乙反對ノ党ニ入ルヲ爲サズノ却テ相結ビテ宰相ト密約ヲ爲シ其党ヲ翼クルヲ常トナセリ故ニ全國ノ選舉ハ巧ミナル策畧ニ因リ悉ク政府ノ党友及ビ代理者ニ於テ之ヲ占ムル也然レモ斯ク政府党ノ爲メニ選舉ヲ得ンコトハ恩典ヲ施スニアラザレハ能ハズ而シテ恩典ヲ施スニ於テ其法ヲ失ハザリシヲ以テ爲メニトウエード以北

ノ國會議員ヲシテ久シク政府ニ忠誠ナラシムルヲ得タリ
 コツクバルン公ハ當時代ノ人ニシテ公ハ蘇格蘭ニ於テ選
 舉ヲ行ヒシ方法ニ關シテ快活ナル說話ヲ爲セリ氏ノ言ニ
 曰ク政府反對黨ノ議員ハ一人タリト選舉セラル、アラソ
 ナ豫期ス可カラザル也(中略)若シ政府反對黨ノ候補者中三
 人若クハ四人ノ選舉セラル、トアラソ歟是レ非常ニ奇異
 ノ事ニソ斯カル例外ノ事ハ地方ノ事情ニヨリ偶然ニ出デ
 シニアラザルハナキナリ(中略)此制度ハ當初ハ如何ナル者
 ニテアリシニモセヨ今日ニ於テハ人民ニ關スルノ点ヨリ
 之ヲ考察スル時ハ全ク一ノ戲擬ノ外觀法ニシテ恰モ人民
 ナ慢侮センガ爲メニ之ヲ工夫セシ者カト思ハル、ナリ人
 民ハ毫モ選舉ニ與カサルヲ得ズシテ各市僅ニ三十三名ニ超

ヘザル市會議員ニ於テ万事ヲ左右シ且各市會ハ皆自選ノ
 制ナルヲ以テ常ニ自家ノ利益ヲノミ是レ謀ルナリ城市議
 員ノ選舉モ州郡議員ノ選舉モ人民ハ毫モ之ニ關係セズシ
 テ鐘ノ響ト翌日新聞紙ニ記スル所トニ就テ始テ議員ノ選
 舉アリシヲ知ルヲ往々ニシテ之アリトス蓋シ此戲擬ノ外
 觀法ハ通常他人ノ入ルヲ禁ジ得ベキ如キ室ニ於テ之ヲ行
 フ者ニシテ公衆ノ前ニ於テ之ヲ行フ者ニアラザレハナリ
 ト
 又聯合城市ニ於テハ其聯合組合ニ屬スル各城市ノ市會ニ
 於テ一名ノ代人ヲ選舉シ而シテ此等ノ四五名ノ代人ニ於
 テ國會議員ヲ選舉スルナリ故ニ聯合組合ノ行ハル、地方
 ニ於テハ市會議員ニ向テ賄賂ヲ行ハズシテ唯此等ノ代人

ニ向テ賄賂ヲ行フノ習慣ナリトス而シテ一名ノ代人ニ賄賂ヲ行テ以テ多數ヲ制シ得ベキトキニハ此一名ノ代人ノミニ賄賂ヲ行フコナリトス

一千八百卅一年王室附屬ノ蘇格蘭法士ハ選舉ノ事ニ關シテ實ニ笑フニ堪ヘタル一珍話ヲ記セリ蓋シビュート州ニ於テハ人口一萬四千人ニシテ二十一人ノ選舉人中該州ニ住スル者ハ唯一人ノミ而シテ該州ノ事ニ關シテ法士ノ記セル珍話左ノ如シ

曰ク尙ホ今人ノ記憶ニ存スル所ノビュート州ノ或ル時ノ選舉ニ於テ選舉會ニ出席セシ者ハ州長ト選舉事務官トノ外ニ唯一人アリシノミ故ニ彼レ獨リ坐ニ就テ一人ニシテ選舉會ヲ組織セリ而シテ彼レ各選舉人ノ名ヲ呼ビ自カラ自

一千八百十八年及ヒ一千八百二十三年ニ於テアーチバルドハミルトン公ノ動議

家ノ名ヲ呼ビテ自カラ之ニ答ヘタリ彼レプレセスノ議員ヲ投票シテ自カラ自家ヲ選舉シ然ル後自カラ自家ヲ議員ニ指名セントノ動議ヲ起シテ自カラ之ヲ賛成シ而テ此事ノ可否ヲ問ヒ異議ナク自己ヲ選舉スルコト定メタリト

斯カル自選ノ選舉制度ハ英蘇ノ合併前ニ於テモ行ハレシ所ニシテ世ニ著明ナルノ事實ナリシト雖モ英國議院ニ於テ毫モ此等ノ弊害ニ注意セザリシナリ

一千八百十八年及ビ一千八百二十三年ニ於テアーチバルドハミルトン公ハ蘇格蘭ノ免許ヲ享有スル城市ノ實狀ヲ説キ自選ノ選舉制度ノ行ハル、コ市會議員ノ全ク責任ナキ、市會議員ガ地方ノ公金ニ對シテ無限ノ權力ヲ有スルコト等ヲ論示セリ此ノ時ニ起リシ議論ハ議院改革ノ事ヲ目

的トスルニ非ズノ重モニ地方制度ノ改良ニ係ル者ナリシト雖モ尙ホ偶然ニ議院改革ノ事ニ論及スルニ至レリ而シテ蘇格蘭ニ於テハ人民選舉ノ行ハレサルノミナラズ人民選舉ヲ行ハレタリトスルノ口實モナキコトハ此時公認セラレタリ一千八百二十三年ニ於テアーチバルド公ハ州郡ノ選舉ノ實狀及ビ蘇國一般ノ選舉制度ヲ論難シタリシニ百十七人ノ賛成者ヲ得タリ

一千八百二十四年アピルクロムビー氏ハ蘇國代議制度ノ事ニ關スルノ議ヲ提出セリエヂンボロイ府ノ人民ハ請願書ヲ出シ北部ノ都會ナル此首府ニ於テハ人口十万以上ノ多キアリト雖モ其代議士ハ僅ニ三十三人ノ選舉者ニ於テ之ヲ選舉スル者ニシテ且此等ノ選舉者中十九人ハ每次前

一千八百二十六年エヂンボロイ府ノ代議制度ノ改良ノ議

愛蘭ノ代議制度

市會議員ノ選舉ニ係ル者タルコトヲ告訴シタリアピルクロムビー氏ハ蘇國ノ議院改革ノ第一着手トシテエヂンボロイ府ノ代議制度ヲ改良スルノ議案ヲ提出スルノ許可ヲ得ンコトヲ動議セリ然ルニ氏ノ動議ハ行ハレズシテ一千八百二十六年再ビ此動議ヲ出シタリト雖モ復タ行ハレザリキ爾後斯カル説ヲ出ダセシ者アリト雖モ常ニ行ハレザリキ蓋シ蘇國全体ノ代議制度ヲ改革セントノ議ヲ出ス者アルトハ其事ノ大變革タルノ故テ以テ廢棄セラレ又斯カル駁論ヲ避ケンガ爲メニ一部ノ改革ヲ行ハントノ議ヲ出ス者アルトキハ其事ノ特別ノ變革タルノ故テ以テ廢棄セラレタルナリ

一千八百一年前ニハ英國議院ハ毫モ愛蘭人民ノ代議ノ事

ニ關涉セザリキ然レモ該國ノ英ト合併スルニ及ビ合同議院ノ組織上ニ於テ既ニ英蘭及ビ蘇格蘭ノ代議制度ノ弊害アル上ニ更ニ愛蘭ノ代議制度ノ弊害ヲ加ルニ至レリ愛蘭ノ州郡及ビ城市ニ於テハ有權者ノ威力ノ行ハル、コハ少ナクモ英蘭ニ於ケルト異ナラザルナリ尤モ英愛合併ノ約ヲ爲セシ時ピット氏ハ此時ヲ機トシテ微小ナル指名選舉ノ城市ヲ廢シタリキ然レモ此時廢セラレザリシ城市中殆ド同様ニ貴族若クハ地主ノ權勢ニ服スル者多ク之アリテ又稍々大ナル地方ノ如キモ選舉權ノ狹隘ナルガ爲メニ齊シク服從ノ有様ヲ呈セリベルフスト、カローウ、ウエキスフォルド、スリゴ一等ノ地方ニ於テハ選舉權ヲ有スル者ハ唯十二名ノ自選ノ市民ノミナリキリメリツク、キルケンニー等ノ

地方ニ於テハ選舉權ハ城市協同ト自由市民トニ屬セリ又州郡ニ於テモ地主貴族ノ權勢ハ齊シク行ハレタリ此等ノ地主ハ政治上ニ權力ヲ得ンガ爲メニ其地面ヲ小分シテ四十志ノ借地料ヲ拂フ所ノ數多ノフリーホルド借地トナシ而シテ此等ノ土地ヲ借有スル所ノフリーホルド借地者ハ僧侶ノ權ニ服スルニ至リシ前ハ自家ノ新敎主義ノ恩人即チ地主ニ對シテ忠誠ヲ尽シタリキ愛蘭ノ法律ニ於テハ現ニ土地ヲ有セザルモ尙ホフリーホルド借地者トナルコトヲ得ル者ニシテ地主ハ此等ノフリーホルド借地者ノ投票ヲ左右スベキ無限ノ權力ヲ有スル者ナリト認メラレタリ故ニ英愛合併後愛蘭議員ノ三分ノ二ハ人民ノ之ヲ選舉セシ者ニアラズシテ實ハ五六十人ノ有權地主ニ於テ之ヲ選

過半ノ議員ハ
有權者ノ指名
ニ係ルヲ

舉セシモノニ過キザリキ
合同王國ノ代議ノ實狀ハ此ノ如クナルガ故ニ下院議員ノ
過半ハ僅少ノ人々ニ於テ之ヲ選舉セシ者ニ過キザルナリ
一千七百八十年リチモンド公ノ記セシ所ニ據レバ下院過
半ノ議員ハ僅ニ六千人ニ超ヘザルノ人々ニ於テ之ヲ選舉
セシ者ナリト云ヘリ一千七百九十三年グレイ氏ガ傳達シ
テ提出セシ所ノ「人民ノ朋友ノ社團」ト稱スル協會ヨリノ請
願書中ニ記スル所ニ據レバ八十四人ニシテ百五十七人ノ國
會議員ヲ選舉シ又七十人ノ有權者ニシテ百五十人ノ國會議
員ヲ選舉シ此ノ如クニシテ愛蘭ト合併前ニ下院ノ過半数
ヲ成ス所ノ三百五十七人ノ議員ハ僅ニ百五十四人ノ有權
者ニ於テ之ヲ選舉セシ者ニ過キズシテ此等ノ有權者中四

十人ハ貴族ナリト云ヘリ一千八百二十一年ラムトン氏ハ
言テ曰ク余ハ百八十八人ノ人々ガ指名若クハ其他ノ方法ヲ
以テ三百五十人ノ國會議員ヲ選舉シタルコトヲ下院ニ証明
セント欲スルナリト

テールドフィールド氏ノ代議制度史中ニ議員ノ選舉上ニ有
權者ノ權勢ノ行ハル、コノ更ニ詳細ナル統計ヲ掲ケタリ
此統計ニ據ルルハ英蘭及ヒウエールズニ於テ催ニ八十七名
ノ貴族ノ指名若クハ權勢ニ因リ二百十八人ニ下ラザルノ
議員ヲ選舉シ九十人ノ平民ニ於テ百三十七人ノ議員ヲ選
舉シ政府ニ於テ十六人ノ議員ヲ選舉セリ即チ斯ク指名ヲ
以テ選舉セシ議員ノ總數ハ三百七十一人ニ登リシト云ヒ
又蘇格蘭ノ四十五人ノ議員中三十一人ハ二十一人ノ貴族

ニ於テ之ヲ選舉シ殘餘ノ議員ハ十四人ノ平民ニ於テ之ヲ
 選舉シタリト云ヒ又愛爾蘭ノ百人ノ議員中五十一人ハ三
 十六人ノ貴族ニ於テ之ヲ選舉シ二十八人ハ十九人ノ平民ニ
 於テ之ヲ選舉シタリト云ヘリ故ニ此ノ驚クベキ統計ヲ合
 算スルトキハ下院議員六百五十八人中四百八十七人ハ指
 名ニ因リ選舉セラレシ者ニシテ獨立ナル選舉者ノ代議士
 タル者ハ僅ニ百七十一人ニ過ギザルナリ蓋シ此等ノ事實
 ハ之ヲ確証スルコト能ハザル所ニシテ議院ニ於テ之ヲ調査
 シ得可キノ限リニ非ザリシナリ然レニ其証據ノ不十分ニ
 シテ事實ヲ過言セシコトハ十分ニ之ヲ斟酌スルモ尙ホ當時
 選舉權ヲ有セシ所ノ少數ノ選舉者ガ自由ニ選舉セシ所ノ
 議員ノ數ハ下院全議員ノ三分ノ一ニ過ギストノ説ニ對シ

選舉ニ關スル
 請願ヲ裁判ス
 ルニ於テ不公
 平ノ行ハレシ
 ト

テハ決シテ之ニ抗スルコト能ハザルナリ
 往時法律上及ビ習慣上ニ於テ默許セシ所ノ選舉ノ事ニ關
 シテ行ハレタル弊害ハ實ニ惡ム可キ者ナリト雖モ選舉ニ
 關スル請願ヲ裁判スルニ於テ下院ノ處置ハ更ニ惡ム可キ
 者アリタリ城市ノ賣買行ハレ選舉者ハ相合シ若クハ各自
 ニ賄賂ヲ受ケ選舉事務官ハ偏頗ニシテ不正ノ處置ヲ行ヒ
 タリ然ルニ下院ノ多數議員ハ正道ト徳義トヲ顧ミズ若シ
 自家ノ党中ノ人が此等ノ不正ノ處置ヲ行フ時ハ全ク之ヲ
 不問ニ付シ唯反對党ノ人が告發セラレタル時ニノミ此事
 ナ非責セリ古諺ニ狡鴉ヲ赦ルンテ良鳩ヲ苦シムト云フ者
 移シテ以テ下院ノ此狀ヲ形容スベキナリ（按鴉ハ以テ自党
 ノ議員ニ譬ヘ鳩
 ハ以テ反對党ノ議員ニ比ス自党ハ不良ナルモ之ヲ保護シ
 テ其非ヲ責メズ反對者ハ非ナキモ尙ホ之ヲ陷ルハノ非舉

テ評スルヲ語ニ
 使用シタルナリ下院ハ自家ノ獨立ヲ支持センガ爲メニ選
 舉ノ事ニ關スル裁判ヲ爲スハ自家ノ特權ナルヲ主張シ
 タリト雖モ尙ホ其裁判權ヲ党派上ノ事ニ私用シテ毫モ之
 ナ愧ヂザルナリ下院ハ重要ノ委任ヲ受ケテ却テ之ヲ濫用
 セリ即チ自カラ敢テ裁判ノ職權ヲ取り而シテ此職權ヲ汚
 シタリ若シ夫レ公正ナル裁判所ナラシムニハ選舉上ノ弊害
 ナ匡正センヲ勉ム可キ筈ナルニ下院ハ則チ然ラズシテ
 其裁判權ヲ濫用スルヲハ選舉上ノ諸弊害ト共ニ益々甚シ
 キヲ加ヘ終ニジョージ二世及ビジョージ三世ノ時ニ至リ
 實ニ其弊害ノ極点ニ達セリ
 往時ニ於テ選舉ノ事ニ關シテ爭論ノ起リシトキハ特別ニ
 選任セシ所ノ特選委員ニ於テ之ヲ審判シタリト雖モ後此

事ハ特許及ビ選舉調査委員ヲ置キ常ニ之ニ托シテ審判セ
 シメタリ蓋シ此特許及ビ選舉調査委員ハ下院ニ於テ之ヲ
 選任スル者ニシテ樞密會員及ビ有名ナル法律家中ニ於テ
 其委任セラレタル裁判上ノ事務ヲ取扱フニ十分ナル學問
 ナ有スル人々ヨリ成ル所ナリトス一千六百三年ニハ此委
 員中ニフランシス、ペーコン氏トーマス、フレミング氏ノ如
 キ有名ナル人々アリ又一千六百二十三年ニハエドワード
 コーク氏ヘニージ、フィンチ氏、ピイム氏、グレンヴル氏、ロ
 トジェル、ノルス氏セルデン氏ノ如キ有名ナル人々アリキ當
 時此委員ハ下院ニ於テ選任セシ所ノ人々ノミヨリ成リシ
 ト雖モ後樞密會員及ビ「ロング、ローグ」ノ紳士（按）判事等ニシ
 シ顧問タルハ悉ク此委員會ニ列スルヲ得ルヲトナリシガ
 者ナ云フ

故ニ一千六百七十三年後ハ全ク公開ノ委員會トナリ之ニ
 出席スル者ハ何人タリトモ發言ノ權ヲ有スルコトナレリ
 抑々人數ノ衆多不定ニシテ責任ナキトハ必ス弊害ヲ生ズ
 ル者ニシテ爾後此委員會ニ於テモ此等ノ百般ノ弊害ヲ生
 ズルニ至レリ而シテ終ニ議長ナンズクウ氏ノ時ニ至リ此
 委員ノ裁判ハ十分ニ公然ナラズシテ責任ノ薄キガ故ニ寧
 ロ下院ニ於テ自カラ裁判ヲ行フヲ可トスルニ至レリ斯ク
 下院ニ於テ自カラ裁判ヲ行ヒシコトハ從前ト雖ヒ格別ノ場
 合ニ於テハ往々行ハレシ所ナリトス此ノ如ク下院自カラ
 裁判ヲ行フノ制ニ改メタリシモ尙ホ其議員ノ偏頗ニシテ不
 公平ナルコトハ速ニ世ニ著明ナルノ事實トナレリ下院ハ選
 舉上ノ訴訟ノ正否ヲ判決スルト自稱スルト雖モ毫モ此等

ノ事ヲ調査セザリシナリグレンヅル氏ノ語ヲ以テ之ヲ云
 ヘバ下院ハ訴訟ヲ審問スル時ニハ出席者少ナク之ヲ判決
 スル時ニハ出席者多カリシナリ諸政党ハ其力ヲ張リテ強
 弱ヲ試ミ競争セル候補者ノ朋友ハ各々党勢ヲ整ヘ隱謀ヲ
 行ヘリ故ニ不正ニ博シ得タル議院ノ坐席ハ不正ニ之ヲ保
 護シ若クハ不正ニ之ヲ廢棄セリ此ノ如クニシテ選舉者ハ
 選舉權ヲ奪ハレ下院ニ於テ之ヲ僭有シ下院自カラ議員ヲ
 選舉スルノ弊ヲ實際ニ生ズルニ至レリ時ノ宰相若シ下院
 ノ多數ヲ制シ得ルニ於テハ容易ニ自家ノ党友ヲ庇護シ反
 對党ニ對シテ十分ニ自家ノ勢力ヲ張ルコトヲ得ルナリ蓋シ
 此極惡ナル弊習ノ如キモ亦國王及ビ宰相ノ權力ヲ維持セ
 ンガ爲メノ議院制度ノ一部ヲナス者トス而シテ内閣ノ弊

レンドスルニ至ラザル間ハ内閣ノ党友ハ決シテ其議院ノ
坐席ヲ失フノ患ヲキナリ左レバ一千七百四十一年ニ於テ
ロベルト・ウオルポール氏ト氏ノ敵トノ爭論ノ勝敗ヲ決セシ
ガ如キモ國家ノ政畧ニ關スルノ疑問ニ因ルニ非ズシテ唯
宰相ガチツペンハムノ選舉上ノ請願ニ關シテ敗ヲ取リシニ
因ルノミ

一千七百七十
年グレンヅ
氏ノ議案

以上ノ弊害ヲ匡正シ此著明ナル不正テ下院ヨリ除カンガ
爲メニ一千七百七十年グレンヅ氏ハ二議案ヲ提出セリ
此議案ハ爾後グレンヅ氏條例ト稱シ實ニ我議院歴史中ニ
於テ一ノ界線ヲ爲ス者ナリトス氏ハ選舉上ノ訴訟ヲ裁判
スルノ權ヲ委員ニ托センコトヲ主張セリ而シテ其委員ノ組
織ノ方法ハ先ヅ暗投票ニ因リ下院議員中ヨリ四十九名ノ

人々ヲ選ビ置キ下院議員ト選舉訴訟者トニ於テ此等ノ四
十九人中ヨリ十三人ヲ選抜シテ之ヲ委員トナシ且双方ノ
訴訟者ハ各自ノ利益ヲ辨護セシメンガ爲メニ各々一名ヲ
出シテ之ヲ右ノ委員中ニ加ルヲ得ルノ方法ナリキ此法院
ハ國會ノ條例ヲ以テ之ヲ組織スル者ニ選舉上ノ訴訟ニ
關シテ終審ノ裁判權ヲ有スル者ナリ故ニ此法院ハ下院議
員ヲ以テ之ヲ組織スルト雖モ實際ニ於テハ全ク下院ニ對
シテ獨立スル者ナリトス此議案ヲ非トスル駁論ノ重モナ
ル者ハ此ノ如クナレバ條例ノ檢束ヲ爲メニ下院ノ特權ヲ
讓與シ其裁判權ヲ制限スル者ナリト云フニ在リ蓋シ下院
ガ自家ノ權ヲ以テ之ヲ行テ敢テ不可ナキノ件ト雖モ尙ホ
條例ヲ以テ之ヲ規制セシ者多ク之アルハ相違ナキノ事實

ニシテ原來此等ノ件ハ別ニ條例ヲ以テ之ヲ規制セザルモ
 單ニ議院ヲシテ誓約ヲ行ハシメハ以テ足ルベキノミ然レ
 且クグレンヅル氏ハ十分ニ信ヲ下院ニ置カズシテ自家ノ計
 畫セル新制度ヲ永續セシメ且其利害ヲ公正ニ試ミンガ爲
 メニハ下院ガ自カラ動シ得ザル所ノ法律ヲ立テ、此新制
 度ヲ保持セザル可カラズト思惟シタリ
 當初此條例ノ期限ハ之ヲ一ケ年間ニ限リタリ故ニホレ
 ス、ウォルポール氏ハ言テ曰クグレンヅル氏ハ自カラ政府反
 對党ノ位置ニ立ツ間ハ國王ノ權力ニ痛劇ナル傷害ヲ蒙ラ
 シメントキ欲スルト雖モ尙ホ自家ノ再ビ内閣ニ入ル可キ
 コトヲ豫期セシガ故ニ將來自家ノ宰相タルノ權力ヲ弱ムル
 ナカラシコトニ注意セリト然レ且此條例ノ期限ヲ一ケ年間

グレンヅル氏
 ノ條例ヲ永久
 ノ法律トナス
 コト

ニ限ルベシトノ説ハ原トクレニア公ノ發議ニ係リテグレ
 ンヅル氏ノ説ニ非ザルナリ氏ハ唯自家ノ條例ニ制限ヲ立
 テザルトキハ終ニ人民ノ自由ヲ破壞スルニ至ル可シトノ
 旨趣ヲ誠實ニ信ゼシ者ニシテ決シテ私意アリシニ非ザル
 ナリ而シテ此時氏ノ健康及ビ氣力ハ益々衰へ自家ノ議案
 ノ可決セラレシ後僅ニ數月ニシテ死セリ
 爾後グレンヅル氏ノ條例ハ時々之ヲ延續シ終ニ一千七百
 七十四年ニ至リエドウィン、サンデー、ス氏ハ此條例ヲ永久ノ
 法律トナサントノ議ヲ提出セリ此議ハ劇烈ナル攻撃ヲ受
 ケ就中フックス氏ノ如キハ爲ニ下院ノ特權ヲ滅殺センコ
 トヲ懼レテ痛ク之ヲ論難セリ然レ是マテ此條例ニ從テ訴訟
 ヲ裁判セシコト五回アリテ常ニ此條例ノ美果ヲ奏セシコトハ

一般ニ公認セラレタリシヲ以テ終ニサンヂーヌ氏ノ議ハ
 非常ノ多數ヲ以テ之ヲ可決セリ此事ニ關シテチャム公言
 ヘルアリ曰ク此至幸ナル事件ハ將來ニ祥瑞ナル日ヲ見ル
 ノ曙光ニシテ實ニ議院ノ最後ノ支柱ト云フ可シ若シ此議
 案ヲシテ廢棄セラレシメナハ我立法院ハ爲メニ國民ノ輕
 侮ト怨恨トヲ受ケテ又之ヲ醫ス可ラザリシナラント又曰
 ク此條例ハ我法典ニ榮譽ヲ與ヘ其起案者ノ芳名ヲ千載ニ
 流ス可シト

此條例ヲ可決セシハ議員總選舉ノ將サニ始ラントスルノ
 際ニアリテ此時ノ總選舉ニ於テハ蒐集シ得ベキ丈ケノ事
 實ニ徴メ之ヲ考ルニ弊習ノ行ハレシコハ彼ノ一千七百六
 十八年ノ總選舉ノ時ノ如クニ甚シカラザリシ者ト見ヘタ

グレンジナル氏
 ノ條例ノ十分
 ノ實効ナキニ
 至リシヲ

リ然レモガツトンノ城市ハ七万五千磅ノ相場ヲ以テ賣買
 セラレシヲ見レハ此時ト雖モ城市ノ相場ノ下落セザリシ
 ト明カナリトス
 此條例ノ爲メニ一時下院ノ裁判權ニ著大ノ改良ヲ加ヘタ
 ルコトハ疑フ可ラザルナリ當時ニ在テハ通常ノ黨派ノ結合
 一時破レタルノ際ナリシヲ以テ爲メニ此條例ヲシテ美果
 ヲ奏スルヲ得セシメタリ又從來選舉ノ事ニ關シテ行ハレ
 シ所ノ弊習露白セシヲ以テ儆ニ他ノ手段ヲ以テ再ビ此等
 ノ弊習ヲ行フハ流石ニ爲シ得ザリシナリ然レモ尙ホ十分
 ニ弊習ト党派心トヲ消滅シ得ザリシコトハ後幾時ナラズ
 蔽フ可ラザル所トナレリ蓋シ從前ニ於テハ各党派ハ議員
 選舉ノ時ニ際シテ其勢力ヲ争ヒヨリシガ今ヤ暗投票ヲ行

フノ時ニ當リテ互ニ其勢力ヲ争フコトナレリ其然ル所以ノ者ハ正義ヲ維持センガ爲メニアラズシテ唯各自ノ政治上ノ朋友ヲ援助センガ爲メナルノミ而シテ暗投票ヲ行フノ時ニ當リテ最モ多數相會シテ其勢力ヲ張りシ所ノ党派ハ彼ノ四十九名ノ人々ヲ選舉スルニ於テ必ズヤ多數ヲ制シ得ベキナリ而シテ此四十九人ノ名簿中ヨリ十三名ノ選舉調査委員ヲ選抜スル者ニシテ双方互ニ争フテ此名簿中ヨリ自家ノ敵党ニ屬スル十三名ノ者ヲ選舉セザラシメンコトテ勉ルガ故ニ最強ノ党派ハ必ズ委員中ニ權勢ヲ擅ニスルコトヲ得可キナリ然レモ弊尙ホ茲ニ止マラザルナリ何トナレバ最モ有力ナル人ハ其敵党ノ最モ恐ル、所ニシテ此等ノ人ハ委員中ヨリ除去セラル、コト殆ンド必ズ可ケンバ

ナリ世人此事ヲ通稱シテ委員中ヨリ臆除スルコト云ヘリ故ニ委員ハ唯ニ偏頗ナルノミナラズ又無力ナラザルヲ得ザルナリ此等ノ委員ハ甲乙候補者ノ訴訟ヲ公正ニ裁判センコトヲ誓約スルト雖モ初メ委員ヲ選舉スルノ際ニ於テ不正ノ行ハル、コト此ノ如クニシテ委員ハ各々党派心ヲ有シ道德心ノ腐敗セルノミナラズ加ルニ選舉ニ關スルノ法律ハ曖昧不定ニシテ相撞着シ又無力ナル諸裁判所ノ判決ハ互ニ相抵牾セル者アルガ故ニ委員ハ容易ニ不正ノ處置ヲ行フヲ得ルナリ故ニ委員中ノ多數党ト同一ノ政治主義ヲ有スル所ノ候補者ハ必ズ常ニ訴訟ニ勝ヲ制セズンハアラザルナリ若シ委員ノ多數ハ王權党ナラン歟民權党ノ候補者ハ決シテ正當ノ裁判ヲ望ム可ラザルナリ若シ又

選舉調査委員
ノ組織ヲ改良
スル

委員ノ多數ハ民權党ナラン歟王權党ノ候補者ハ決シテ正當ノ裁判ヲ望ム可ラザルナリ

此等ノ手段ニ因リ下院ノ多數党ハグレンヂル條例ノ制定後ト雖モ依然トシテ自党ノ人ヲ議員ニ指名スルヲ得タリ唯之ヲ以前ノ狀ニ比スルニ其爲ス所間接ニシテ不定ナリシト稍々醜醜ヲ蔽ヒシトノ異ナルアルノミ而シテ此條例ハ五十年間ハ唯訴訟審理ノ手續ニ小變革アリシノミニテ續テ行ハレシガ終ニ一千八百三十九年ニ至リロベルトピール氏ノ條例ヲ以テ暗投票ノ方法ヲ廢止シ委員ノ數ヲ減ジテ六人トナシ而シテ此六人ノ委員ハ偏頗ナキ一體即チ下院全体ニ於テ之ヲ指名スルコト、ナセリ後年ノ諸條例ニ於テモ之ト同一ノ主義ヲ取リ更ニ偏頗ヲ防グノ方

官位及ヒ年金
ヲ授與スル

法ヲ立テ且委員ノ數ヲ減ジテ終ニ五名トナセリ此ノ如クニシテ大ニ弊害ヲ減ズルヲ得タリト雖モ尙ホ党派上ノ偏私ノ權勢ヲ全ク一掃スルヲ得ザリキ蓋シ選舉調査委員ヲ指名スルニ於テ甲乙ノ政党中何レカ必ス一名ノ多數ヲ制セザル可カラサレハナリ而シテ此法廷ハ之ヲ從前ノ者ニ比スルニ遙カニ有力ニシテ且裁判ノ法ヲ得ルニ至リシトハ疑フ可ラザル所ナリト雖モ尙ホ其組織ト其處置トノ然ラシムル所ニ由リ此等ノ委員ハ屢々政治上ノ偏頗心ニ支配セラル、トノ非難ヲ受ケタリキ

我選舉制度ノ弊害ト缺點トハ夫レ此ノ如シ然ラバ則チ之カ爲メニ果シテ如何ナル結果ヲ我下院ノ上ニ生セシ乎蓋シ下院議員ハ不正ナル選舉制度ニ因リテ自家ノ坐席ヲ博

シ得タル者ナレバ此等ノ議員其人モ亦不正ナラザルヲ得
 ザルナリ議員ハ其坐席ヲ購買セシ者ニシテ又容易ニ其意
 見ヲ賣ランコトヲ欲スルナリ議員ノ可否決ヲ買ハンガ爲メ
 ニ其代償トシテ示サレタル褒賞ハ何ゾ其レ美ナルヤ即チ
 富有ナル者ハ爲メニ貴族ノ爵「バロン」ノ爵其他ノ榮爵恩典
 及ビ朝廷ノ愛ヲ得ヘク貧困ナル者ハ爲メニ官位、年金、苞苴
 ナ得ベク蓋シ政府ノ願與シ得ル者ハ議員ノ欲スル所ニ隨
 テ之ヲ得ザルコトナカリシナリ而シテ爵位ノ増加極テ速ナ
 リシヲ見レバ以テ政治上ノ服務ニ報ニルノ寛大ナリシコ
 ト証ス可ク又當時ノ日記及ビ書信等ヲ見ルキハ以テ此手
 段ニ因リテ貴族ノ爵位ヲ得タル者ノ甚ダ多カリシヲ知ル
 可ベキナリ

官位及ビ年金
 ナ授與スルコ
 ト禁スルコ

革命ノ時以來(按革命トハ一千六百八十八年ノ革命ヲ云)官
 位及ヒ年金ヲ以テ政治上ノ服従ニ報ニルノ代償トシテ之
 ナ授與セシガ故ニ此トキヨリ議院ニ於テハ下院ニ出席シ
 得ベキ官吏ノ數ヲ制限スルヲ以テ常ニ其政界トセリ而シ
 テ憲法政治ノ此困難ナル問題ヲ決スルノ事ハ實ニウヰリア
 ム三世ノトキニ起リタリ王ハ議院ヲ管制センガ爲メノ諸
 手段ノ一トシテ濫リニ官位ヲ増加セリ故ニ内國黨ハ藝キ
 ニ折角ニ回復シ得タル自由モ王ノ此手段ノ爲メニ再ビ之
 ナ失フノ危険アルコトヲ覺知シ百方之ヲ避ケント勉メタリ
(按ウヰリアムノ和蘭ヨリ英國ニ入リテ王位ニ即クヤ外人ノ
 英廷ニ入リテ顯要ノ位置ヲ占ル者甚タ多クシテ英人大ニ
 之ヲ憎ミ外人ヲ朝廷ヨリ除カンコトヲ主張セ一千六百九十
 リ本文内國黨トハ蓋シ此輩ノ者ヲ云フナリ)
 三年ニ至リ下院ハ自今選舉セラレタル議員ヲシテ國王ヨ